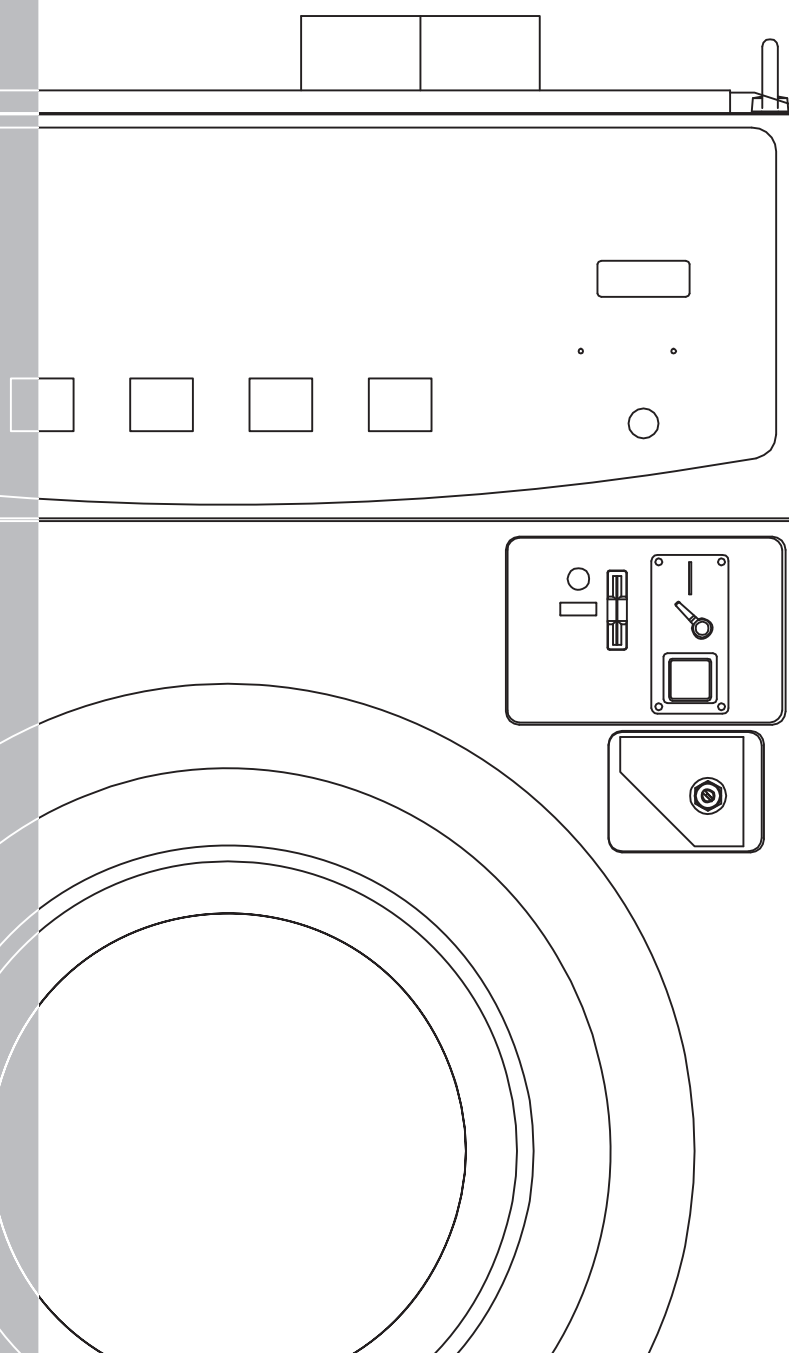


コイン式 洗濯乾燥機 取扱説明書

- このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- ご使用前に必ず本書「取扱説明書」をよくお読みください。
- お読みになった後は必ず手元に保管してください。

SF-124C SF-224C SF-324C



重要なお知らせ	1
安全上のご注意	2
1. 機械の仕様	
1.1 SF-124C	7
1.2 SF-224C	8
1.3 SF-324C	9
2. 据付工事について	
2.1 運搬・搬入	10
2.2 機械の据付	11
2.3 電気工事について	15
2.4 配管工事について	17
2.5 ガス配管工事について	21
2.6 給気口（ガラリ）	23
2.7 排気筒工事	24
2.8 付属品	31
2.9 オートグリス取付方法	31
2.10 洗剤・柔軟剤 取付方法	32
2.11 排油ホースについて	32
3. お使いになる前に	33
4. 取扱上の注意	34
5. 機械の概要	
5.1 主要構成部の名称	35
5.2 「ナノイーX」ユニットについて	41
6. 運転操作方法	
6.1 運転操作方法	42
6.2 オーナー様の操作設定方法	48
6.3 日時の設定方法	51
6.4 1～3コースの金額、 4コースの運転時間変更方法	53
6.5 機能ボタンの設定方法	56
6.6 プログラム設定方法	59
7. 標準プログラム	
7.1 標準プログラム（SF-124C）	68
7.2 標準プログラム（SF-224C）	69
7.3 標準プログラム（SF-324C）	70
8. トラブル表示について	
8.1 トラブルモニター表示	71
8.2 エラーの内容と解除方法	71
8.3 停電時の処置	74
9. 点検・整備	
9.1 日常点検	75
9.2 定期点検	78
保守・点検項目（日常点検）	81
保守・点検項目（定期点検）	81
10. 保証	82
11. アフターサービスについて	83

●● 重要なお知らせ ●●

■ 本製品について

- 本製品は『火災予防条例準則第 44 条、第 6 号』に該当します。
最寄りの消防署に届けを出してください。
- 本製品をお使いになるときは、必ず本書に従ってください。
本書の記載内容を守らない事により生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- 製品本来の使用目的以外に使用して生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なしに変更することがあります。
- 本製品は日本国内仕様であり、国外の規格などには適合していません。
本製品を国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いません。また、当社は本製品に関する国外での保守サービス、および技術サポートなどは行っていません。

■ 本書について

- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容については万全を期しておりますが万一、不審な点や誤り、お気づきの点等がございましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。
- その他、本書に記載している商品名は商標登録または商標になっている場合があります。




■ 移設・廃棄・譲渡について

- 本製品を移設する場合は、専門業者またはお買い上げの販売店までご相談ください。
据付不備があると感電・火災の原因になります。
- 本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物として扱われます。専門の廃棄業者へご依頼ください。
詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本製品を転売・譲渡する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

■表示の意味




表示	表示の意味
 危険	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(※1)を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(※1)を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害(※2)を負うことが想定されるか、または物的傷害(※3)の発生が想定されること”を示します。

※1：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。





■図記号の説明

図記号	記号の意味
 禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	△は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。


オーナー様へ

- ◆「安全上のご注意」の中でご使用になる方への項目は、本機の注意ラベルで表示してあります。お客様や他の人への危害や損害を未然に防止するため、注意事項を守り、使用するよう管理、指導してください。
- ◆本機に表示してある「安全上の注意ラベル」が破れたり、はがれた場合は新しい注意ラベルに必ず貼り換えてください。
- ◆本機は労働安全衛生法の「遠心機械」および「乾燥設備」に該当します。
「1年に1回の自主定期検査」が必要です。
また、その記録を3年間保管するよう義務付けられております。
(労働安全衛生法 第45条1項、労働安全衛生規則 第141条3項、第299条)
- ◆本機は『火災予防条例準則第44条 第6号』に該当します。
所管の消防署に届出をしてください。




危険

<ul style="list-style-type: none"> ◆引火物はドラムに入れない 『水洗い衣類専用』の洗濯乾燥機 『火災や爆発の危険性があります』 ●ガソリン・灯油・ベンジン・シンナー・アルコールなどや、それらの付着した洗濯物は入れない。 ●食用油・動物系油・機械油・アロマ・エステ系オイルなどが付着した衣類は乾燥しない。 ●石油系ドライ機および合成溶剤でドライクリーニングした衣類は乾燥しない。 ●ゴム製品などは絶対に乾燥しない。火災や有毒ガスが発生するおそれがあります。 	 引火物禁止
<ul style="list-style-type: none"> ◆子供など取り扱いに不慣れな方には使わせない 『やけど、感電、けがの危険性があります』 ●子供だけで操作、または取り扱いに不慣れな方に操作させない。 ●子供など、ドラム内に入って遊ばせない。 ●思わぬ不注意で、やけど、感電、けがをするおそれがあります。 	 禁止
<ul style="list-style-type: none"> ◆十分な換気をする 『ガス中毒・酸欠事故の危険性があります』 ●本機の設置状況に応じた給気口および排気口を行う。 ●室内に燃焼排ガスの充満や酸素不足によりガスの不完全燃焼、酸欠事故のおそれがあります。 	 換気実施
<ul style="list-style-type: none"> ◆機械の異常に気付いたらガス栓を閉めてから電源を切る 『火災や爆発の危険性があります』 ●煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、電源を切り、ガス栓を閉めて販売店に修理を依頼してください。 地震や火災発生時は運転を停止してください。 	 ガス栓閉める

警告

<ul style="list-style-type: none"> ◆周辺では『火気厳禁』 『火災の危険性があります』 ●本機の周辺にはボイラ、ストーブ、電熱器などの火気機器を絶対に置かない。 また、周辺では禁煙にし灰皿の設置や、火気を取り扱わない。 	 火気厳禁
--	---

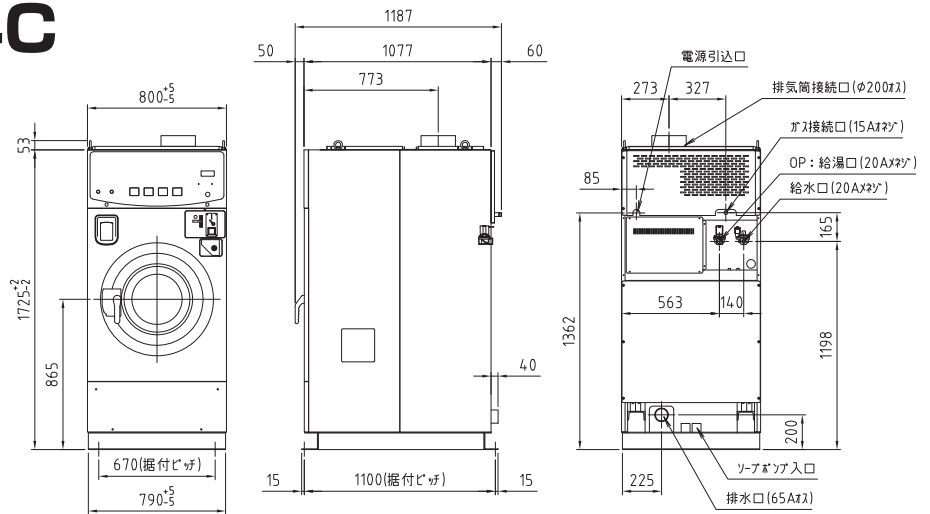
<p>◆周囲に引火物を近づけない</p> <p>『火災の危険性があります』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本機の周辺、上部には可燃物を置かない。また店内では本機の上に新聞・雑誌、衣類などを置かない。 ●本機の周辺にガソリン、シンナー、灯油、アルコール等の引火物を持ち込まない。 	 引火物禁止
<p>◆ガス漏れの点検</p> <p>『火災や爆発の危険性があります』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ガス配管の接続部の緩みなどによるガス漏れの点検を行う。 万が一ガス漏れした場合は、すぐに使用を中止し元栓を閉じ、窓を開け換気を行い、電源を切ってガス事業者に連絡してください。 	 ガス漏れ点検
<p>◆洗濯、乾燥以外の用途に使用しない</p> <p>『機械故障の危険性があります』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本機を衣類の洗濯や乾燥以外に使用すると、故障や事故につながるおそれがあります。 	 用途外使用禁止
<p>◆ドラム内に衣類以外の物はいれない</p> <p>『火災・感電・けがの危険性があります』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ドラム内には衣類以外の物や動物を入れて運転しない。 	 衣類以外は 運転禁止
<p>◆濡れた手で操作しない</p> <p>『感電・漏電の危険性があります』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●濡れた手で本機を操作したり、水をかけないでください。 	 水かけ禁止
<p>◆各ボタンやスイッチは指で操作する</p> <p>『機械故障の危険性があります』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各ボタンやスイッチを先のとがったもの（ボールペン等）で操作すると、故障や事故のおそれがあります。 	 禁止
<p>◆本機のカバーを開けたまま運転しない</p> <p>『やけど・けがの危険性があります』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本機のカバー（リントフィルタ・コインボックス等）を開けて運転をしない。 ●本機の前面カバー、後部のカバーを開けたまま、運転しない。 （お客様がけがを負うおそれがあります） ●「回転部」および「加熱部」に触れるとやけどやけがを負うおそれがあります。 	 カバーを開け 運転しない
<p>◆ドアまわりのすきまに手を入れない</p> <p>『やけど、けがの危険性があります』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高温部分や振動部分などへの接触による、やけどやけがのおそれがあります。 	 やけど、けが注意
<p>◆やけどに注意する</p> <p>『やけどの危険性があります』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●乾燥中はドラム、ドアなどの本体が高温になっています。乾燥中および乾燥終了直後に手などが触れるとやけどをするおそれがあります。 	 やけど注意

<p>◆衣類の取り出しはドラムが停止してから 『衣類が巻きつきけがの危険性があります』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●衣類の取り出しは、必ずドラムの回転が完全に停止したことを確認してから行ってください。 ●ドラム回転中は、ドアを開いて手を入れないでください。 	 回転中 取り出し禁止
<p>◆ドラム内の清掃に可燃物を使用しない 『爆発・火災の危険性があります』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ドラム内の清掃にシンナー、石油などの可燃物を使用しないでください。 	 可燃物使用禁止
<p>◆バーナおよび燃焼室の掃除 『火災の危険性があります』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●バーナおよび燃焼室の掃除は定期的（1年/1回）に行ってください。 ●燃焼室周辺や点火プラグにほこりが付着していると、バーナの炎やスパークでほこりが発火するおそれがあります。 	 燃焼室清掃
<p>◆排気筒の掃除 『火災の危険性があります』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災事故防止のため接続部分のゆるみ、外れ、および排気筒トップの破損などがないか、またそれらにほこりがたまっていないか毎日の始業前に点検してください。 ●排気筒の掃除は定期的（1年/1回）に行ってください。 排気筒周辺にほこりがたまり、乾燥性能が低下します。 たまったほこりを放置すると、排気の熱により発火のおそれがあります。 	 排気筒掃除
<p>◆分解・改造・修理をしない 『火災・感電・けがの危険性があります』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●お客様ご自身で本機の分解・改造・修理をしない。 ●修理はお買い上げの販売店にご連絡ください。 感電やショートによる火災、また異常動作によるけがのおそれがあります。 また、警告ラベルの取り外し、破損、改造はしない。 	 分解禁止
<p>◆長期間ご使用にならない時は 『火災・感電・けがの危険性があります』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源を切りガスの元栓を閉める。 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。また、ガス漏れ事故のおそれがあります。 	 ガス栓 電源点検
<p>◆廃棄処分するときは 『閉じ込め事故の危険性があります』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本機を廃棄される場合は、子供のいたずらによるとじ込め事故防止のためドアを取り外してください。 	 廃棄時ドア分解
<p>◆衣類を確認する 『火災や発煙の危険性があります』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ポケットの中を確認して、マッチやライター、ヘアピン、硬貨、くぎなどを取り出してください。 また薄手衣類、顔料プリント衣類など熱に弱い素材のものは乾燥しないでください。 	 衣類確認

<p>◆衣類は十分に脱水する 『感電・火災の危険性があります』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●しずくのたれるような衣類を入れない。 	 禁止
<p>◆洗濯物を入れすぎない 『洗濯物を痛めてしまうおそれがあります』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●衣類は洗濯乾燥機に表示している適量ライン以内で、ドアに衣類を挟まないように入れてください。 	 入れすぎ注意
<p>◆厚手の綿ふとんや大きすぎる布団は洗濯しない 『洗濯物が破れてしまう危険性があります』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●厚手のふとんは洗濯中に破れるおそれがあるので洗濯しないでください。 (キルティング加工したこたつふとんや化学繊維のふとんは洗濯できます。) 	 厚手の布団 洗濯禁止
<p>◆防水性のシート等を入れない 『機械の破損・洗濯物の損傷の危険性があります』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●防水シートや袋など、水が溜まるものは洗濯をしないでください。 	 防水物禁止
<p>◆水などが入った場合 『感電・火災の危険性があります』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●万一、本機内部または電装部に水が入った場合は運転を停止し、電源を切り販売店に連絡する。 	 電源を切る
<p>◆水（湯）が入ったままで停止したとき 『感電・漏電・やけどの危険性があります』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●水（湯）が入った状態で機械が停止したときは、ドアを開けずに電源を切り、お買い上げの販売店にご連絡ください。 	 電源を切る
<p>◆乾燥後の衣類は放置しない 『火災の危険性があります』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●乾燥した衣類は、速やかに本機ドラム内より取り出す。 ●取り出した乾燥衣類は、熱いまま積み置きしない。 ポリプロピレン系の衣類や油汚れが残っている衣類は、余熱により自然発火する場合があります。 	 乾燥後の衣類 を放置しない
<p>◆塩素系漂白剤は直接衣類にかけない 『衣類変色のおそれがあります』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●塩素系漂白剤は直接衣類にかけないでください。 	 塩素系漂白剤 使用禁止
<p>◆ドラム外周の掃除 『火災の危険性があります』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ドラム外周の掃除は定期的（半年 / 1 回）に行う。 ドラム周辺にほこりがたまり、能力が低下します。 たまったほこりを放置しますと、乾燥の熱により発火のおそれがあります。 	 ドラム外周掃除

機械の仕様

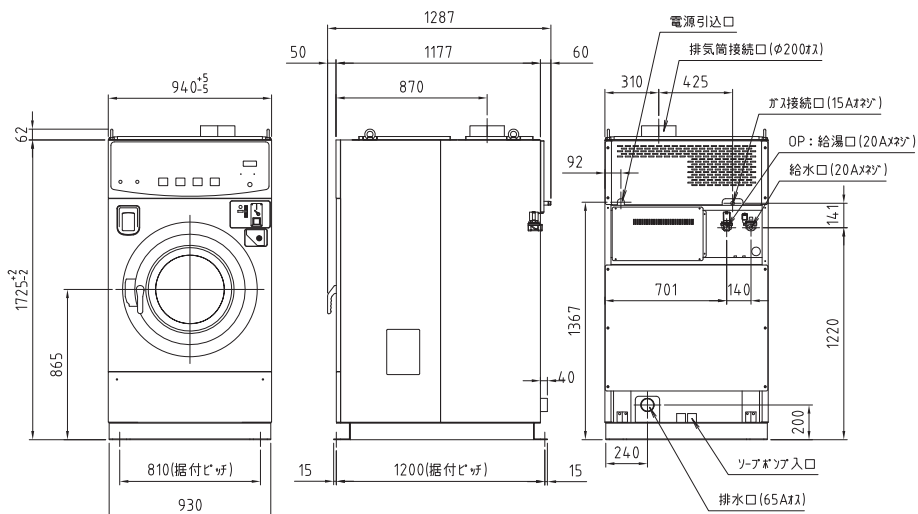
1.1 SF-124C



項目	単位	SF-124C	
1 電源		AC200V 三相 50/60Hz	
2 定格消費電力	洗濯	1250	
	乾燥	450	
3 電動機容量 (インバーター駆動)	ドラム	2.2/4	
	ファン	0.4/2	
4 負荷量 呼称/JIMS	洗濯	12/7.8	
	乾燥	8/4.9	
5 ドラム寸法 (径×奥行mm)	mm	φ630×389	
6 洗浄方式		ドラム回転による被洗物たたき洗い	
7 乾燥方式		オープン乾燥方式	
8 乾燥熱源		ガスバーナー加熱 (入口/出口温度制御)	
9 ガス消費量	LPG	kW/(kg/h)	12.8/0.92
	13A	kW/(kcal/h)	12.8/11000
	12A	kW/(kcal/h)	11.9/10200
10 ファン風量	m ³ /min	9	
11 排気筒径	mm	φ200	
12 制御マイコン		CL5 マイコン	
13 ドラム回転数	洗濯 (5段階)	rpm	44・46・48・50・52
	バランス		65～85
	予備洗濯		350
	脱水 (5段階)		600・700・750・800・850
	乾燥 (5段階)		53・55・57・59・61
14 配管口径	給水 (給湯)	20A/(20A)	
	ガス供給	15A	
	排水	65A	
15 機械寸法 (巾×奥×高)	mm	800×1187×1725	
16 機械質量	kg	550	
17 保存条件 (温度/湿度)	℃/%	-25～60/10～80	
18 運転条件 (温度/湿度)	℃/%	5～40/10～80	
19 安全装置	ドアSW / 自動ロック装置		近接スイッチ・電磁ソレノイドロック方式
	アンバランス検出		リミットスイッチ
	乾燥風温度過昇防止		サーミスタ検出
20 洗剤投入		液体洗剤用ポンプ3連	
21 コイン投入器仕様		つり銭なし・返却機能なし	
22 金額設定範囲		100～9900・100円単位	
		(100円・500円)	

※本仕様ならびにデザインは改良のため、予告なく変更することがあります。

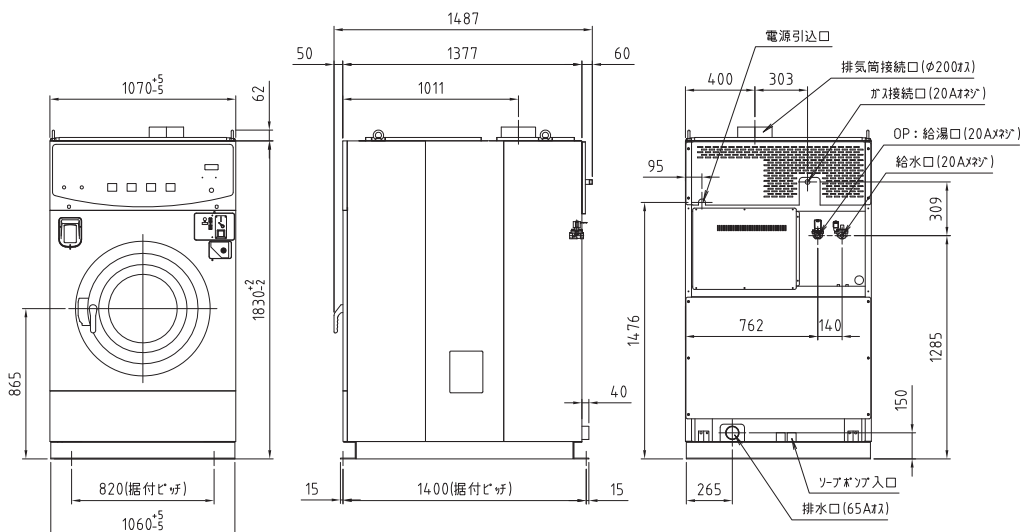
1.2 SF-224C



項目		単位	SF-224C
1	電源		AC200V 三相 50/60Hz
2	定格消費電力	洗濯	2100
		乾燥	1150
3	電動機容量 (インバーター駆動)	ドラム	3.7/4
		ファン	0.75/2
4	負荷量 呼称/JIMS	洗濯	22/15.7
		乾燥	15/9.3
5	ドラム寸法 (径×奥行mm)	mm	φ760×510
6	洗浄方式		ドラム回転による被洗物たたき洗い
7	乾燥方式		オープン乾燥方式
8	乾燥熱源		ガスバーナー加熱 (入口/出口温度制御)
9	ガス消費量	LPG	kW/(kg/h) 23.3/1.66
		13A	kW/(kcal/h) 23.3/20000
		12A	kW/(kcal/h) 21.6/18600
10	ファン風量	m³/min	13
11	排気筒径	mm	φ200
12	制御マイコン		CL5 マイコン
13	ドラム回転数	洗濯 (5段階)	rpm 37・39・41・43・45
		バランス	60～75
		予備洗濯	300
		脱水 (5段階)	550・650・680・730・770
		乾燥 (5段階)	45・47・49・51・53
14	配管口径	給水 (給湯)	20A/(20A)
		ガス供給	15A
		排水	65A
15	機械寸法 (巾×奥×高)	mm	940×1287×1725
16	機械質量	kg	770
17	保存条件 (温度/湿度)	℃/%	-25～60/10～80
18	運転条件 (温度/湿度)	℃/%	5～40/10～80
19	安全装置	ドアSW / 自動ロック装置	近接スイッチ・電磁ソレノイドロック方式
		アンバランス検出	リミットスイッチ
		乾燥風温度過昇防止	サーミスタ検出
20	洗剤投入		液体洗剤用ポンプ3連
21	コイン投入器仕様		つり銭なし・返却機能なし
22	金額設定範囲		100～9900・100円単位
			(100円・500円)

※本仕様ならびにデザインは改良のため、予告なく変更することがあります。

1.3 SF-324C



項目		単位	SF-324C
1	電源		AC200V 三相 50/60Hz
2	定格消費電力	洗濯	2800
		乾燥	1250
3	電動機容量 (インバーター駆動)	ドラム	5.5/4
		ファン	0.75/2
4	負荷量 呼称/JIMS	洗濯	32/22.0
		乾燥	22/12.5
5	ドラム寸法 (径×奥行mm)	mm	φ840×565
6	洗浄方式		ドラム回転による被洗物たたき洗い
7	乾燥方式		オープン乾燥方式
8	乾燥熱源		ガスバーナー加熱 (入口/出口温度制御)
9	ガス消費量	LPG	kW/(kg/h) 32.6/2.33
		13A	kW/(kcal/h) 32.6/28000
		12A	kW/(kcal/h) 30.3/26000
10	ファン風量	m ³ /min	16
11	排気筒径	mm	φ200
12	制御マイコン		CL5 マイコン
13	ドラム回転数	洗濯 (5段階)	39・41・43・47・49
		バランス	55～65
		予備洗濯	300
		脱水 (5段階)	500・600・650・700・730
		乾燥 (5段階)	45・47・49・51・53
14	配管口径	給水 (給湯)	20A/(20A)
		ガス供給	20A
		排水	65A
15	機械寸法 (巾×奥×高)	mm	1070×1487×1830
16	機械質量	kg	1200
17	保存条件 (温度/湿度)	℃/%	-25～60/10～80
18	運転条件 (温度/湿度)	℃/%	5～40/10～80
19	安全装置	ドアSW/自動ロック装置	近接スイッチ・電磁ソレノイドロック方式
		アンバランス検出	リミットスイッチ
		乾燥風温度過昇防止	サーミスタ検出
20	洗剤投入		液体洗剤用ポンプ3連
21	コイン投入器仕様		つり銭なし・返却機能なし
22	金額設定範囲		100～9900・100円単位
			(100円・500円)

※本仕様ならびにデザインは改良のため、予告なく変更することがあります。

2

● 据付工事について



警告

- 据付工事は、『専門の工事業者へ依頼してください』

感電やショートによる火災、本機や建物の破損のおそれがあります。



専門業者へ依頼

- 製品を安全に使用していただくために据付工事説明書をよくお読みいただき十分に理解してください。
- 本機は『火を使用する設備』に該当します。所轄の消防署の指導に従い『乾燥設備設置届け』を提出してください。



強制

2.1 運搬・搬入



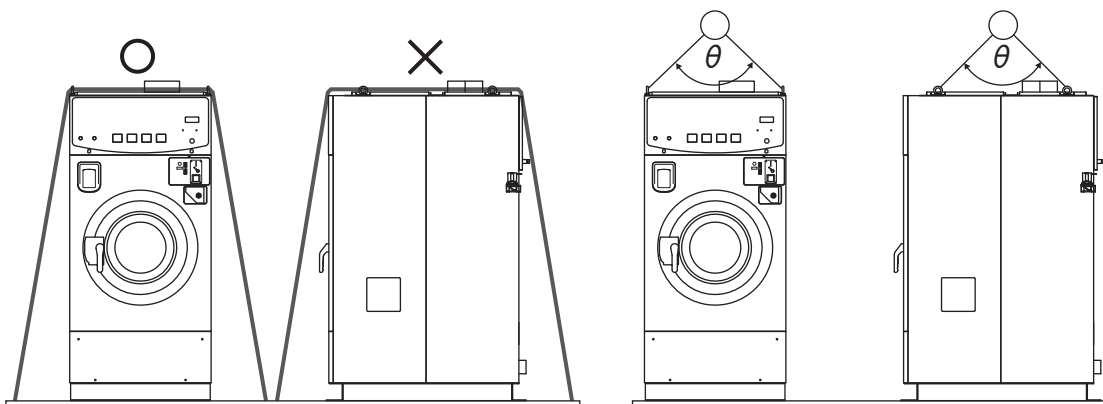
注意

- 運搬・搬入工事は、『専門の工事業者へ依頼してください』
本機が転倒してけがの危険性があります。



専門業者へ依頼

- (1) 本機への極度の衝撃や外装部に損傷を与えないよう取り扱ってください。
- (2) 降雨の場合は、必ず本機にビニールシート類を掛けて、雨水が機械内（特に制御ボックスの中）に入らないよう注意してください。
- (3) クレーン等で機械を吊り上げる場合には、機械上部の「吊上げフック」に掛けてください。
- (4) 玉掛作業は、資格習得者が行ってください。
- (5) 機械重量に見合ったワイヤ類を選定して玉掛作業を行ってください。
- (6) ワイヤを使用する場合は「玉掛用」ワイヤを使用してください。
- (7) 吊り上げの際は、4本吊り、吊り角度 θ は60度未満にて行ってください。



- (8) 輸送する際、ロープ掛けし本体が傷まないように注意してください。
特に、ロープの締めすぎには十分注意してください。

※ ロープは左右から掛けてください。【前後に掛けないでください。】

2.2 機械の据付



- 本機の据付工事は、『専門の工事業者へ依頼してください』
据付工事をされる方は本機の据付工事説明書に従って工事を行ってください。



専門業者へ依頼

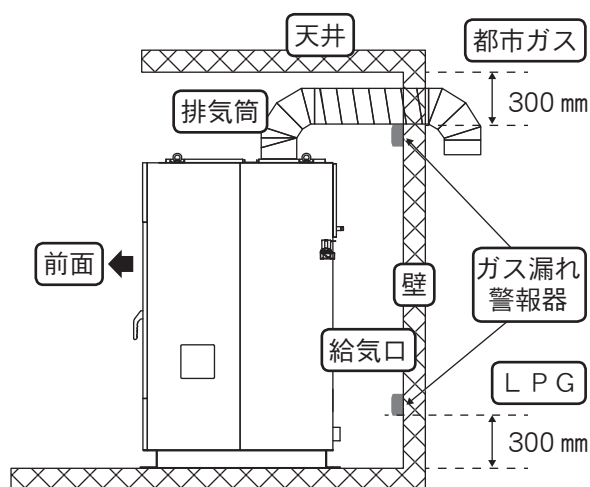
① 使用場所について



- 本機は室内専用です。必ず屋内に設置してください。
 - ・屋外で風雨にさらされる場所に置くと、感電や故障の原因となります。
- 年間を通して40℃以下の環境が保たれる場所に設置してください。
 - ・周辺温度が高い場所に設置すると故障の原因となります。
- ガソリン、ベンジンなどの引火性の危険物を貯蔵または取り扱う場所には設置しないでください。
 - ・爆発、火災が起こるおそれがあります。
- 湿気の多い場所には設置しないでください。
 - ・機械が故障したり、感電や漏電による火災のおそれがあります。



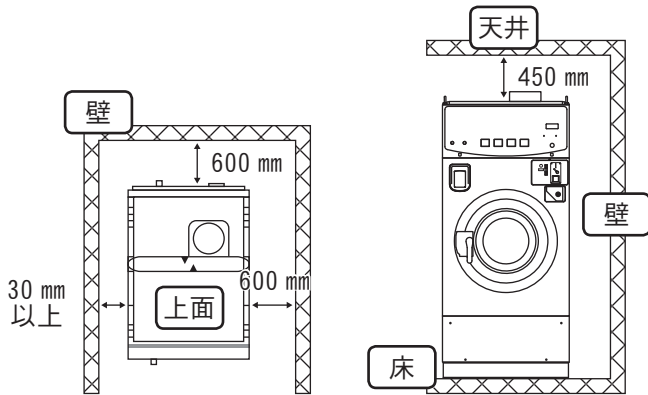
禁止



- 密閉されたところでは使用しないでください。
(必要な面積の給気口を取り付けてください。)
- 強い風の吹込む所では使用しないでください。
- ガス漏れ警報器を本機と同室内に下記位置参照に取り付けてください。

LPガス	本機より水平4m以内で床面から300mm以内に1個
都市ガス	本機より水平8m以内で天井面から300mm以内に1個

② セッティングスペース



- メンテナンス性、安全性、配管、配線などを考慮したスペースです。
『必ず確保してください』
- 上部高さ方向は450mm以上のスペースを取ってください。
- 本機を2台以上並べて使用する場合、前面板の「開閉がスムーズ」に行える間隔を取ってください。
- 本機は燃焼排ガス、放射熱などによってガスメーター、ガス配管、電気設備等に悪影響を与えない位置に設置してください。

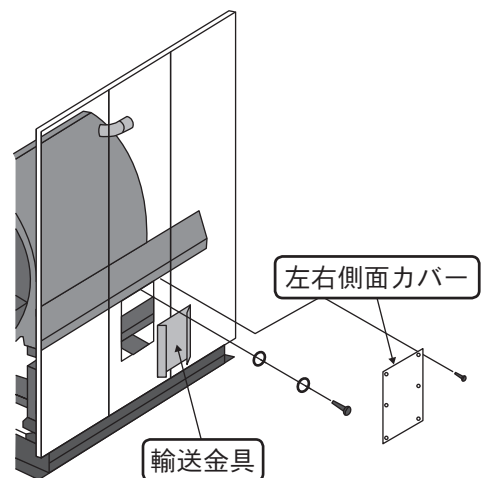
③ 輸送用金具の取り外し



- アンカーボルトを取り付ける前に輸送金具を取り外してください。
 - ・この機械の輸送金具は機械左右に1個ずつあります。(計2個)
 - ・輸送金具を付けたまま運転すると、機械が破損するおそれがあります。
 - ・輸送金具を取り外す時は、必ず手袋、長袖等の保護具を着用してください。



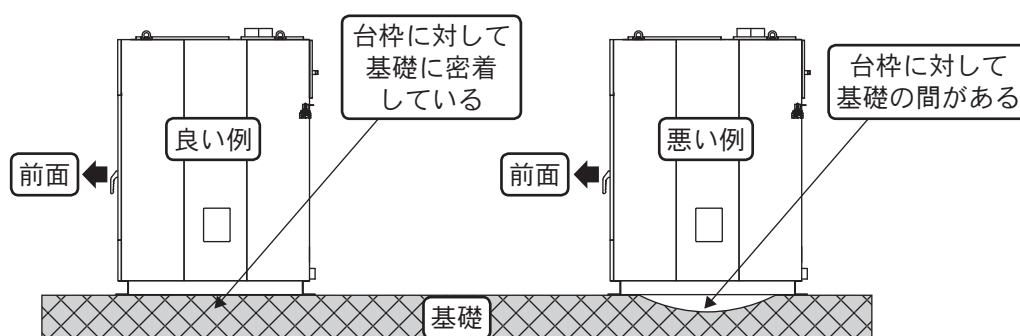
- (1) 両側面の左右側面カバーに取り付いているネジを各4カ所外し、左右側面カバーを2カ所取り外します。
- (2) 両側面の輸送金具に取り付いているボルトを各4カ所外し、輸送金具を2カ所取り外します。



④ 据付

※必ず輸送金具を取り外してから行ってください。

- 地震やその他の振動、衝撃により容易に転倒、亀裂、破損しないように、十分な強度を有する床に付属のアンカーボルトで堅固に固定してください。
- 近隣への騒音や、機械の異常振動のおそれがあるため、基礎の深さは地盤により異なりますが、基礎コンクリートは 200 mm以上の厚さを確保してください。
- 機械の水平（前後・左右方向にガタつきがないこと）を確認してください。



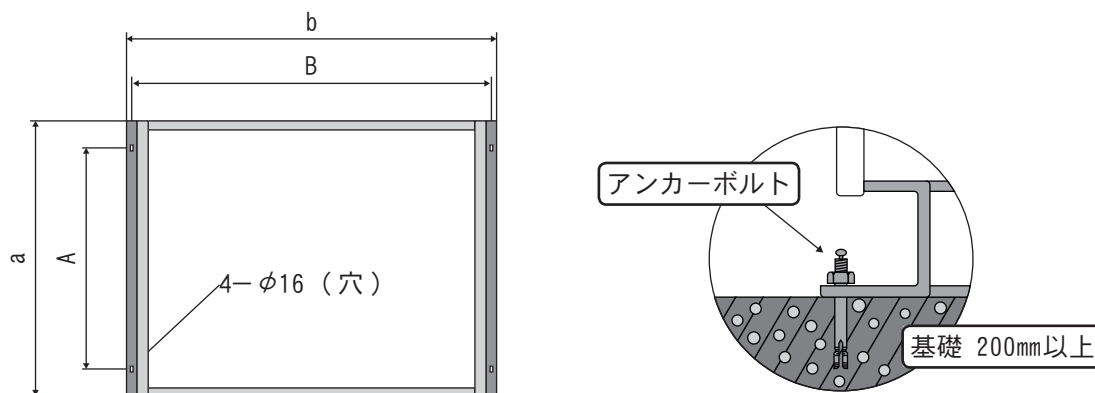
補 足

- ▶基礎コンクリートの厚さは 200mm以上確保してください。
 - ▶基礎コンクリートに対して、中空部（排水口、溝など）によって台枠が完全に密着していない場合、振動の原因になる事があります。
- アンカーボルト（付属）で前後 4カ所を固定してください。

据付寸法表

機種	A (mm)	a (mm)	B (mm)	b (mm)
SF-124C	670	790	1,100	1,130
SF-224C	810	930	1,200	1,230
SF-324C	820	1,060	1,400	1,430

- ・φ12×6 吋のアンカーボルト使用の場合
基礎コンクリートの厚さは 200mm以上を確保してください。

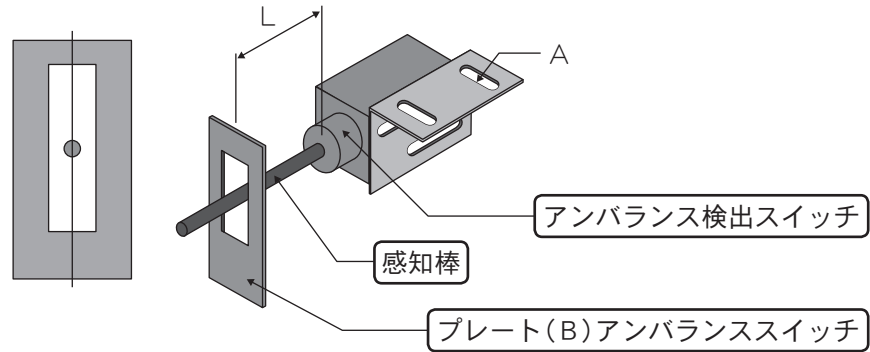


⑤ アンバランス検出スイッチの調整

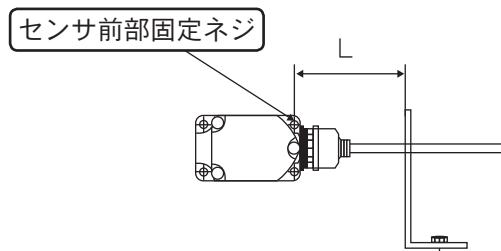
(1) 機械据付終了後、試運転前にアンバランス検出スイッチの感知棒の位置を確認してください。

※ 機械前側のパネルセンタを外した中のシェル Assy 上部にあります。

(2) 感知棒がプレート (B) アンバランススイッチの左右の中心にない場合は、感知棒の深さ (L寸法) を変えないようにA部のボルトを緩めて、中心にくるように調節してください。



機種	L (mm)
SF-124C	71
SF-224C	66
SF-324C	76



2.3 電気工事について

- 本機はインバータを使用しております、下記「電気工事の注意事項」に添った施工をしてください。



警告

- 電気工事は必ず「電気工事士の資格」を有する者が行なってください。
 - ・感電、火災の危険性があります。
- 据付工事の際には銘板を確認して使用する電源が適用しているか確認してください。
 - ・電源仕様が異なっていると、故障や異常動作によるけがのおそれがあります。
- 電気配線とガス管は近づけないでください。
 - ・電気配線はガス配管から15cm以上離してください。
 - ・また、電気配線は金属管または合成樹脂管で保護してください。爆発事故のおそれがあります。
- 本機を据え付けるときは過電流遮断器内蔵型の漏電遮断器を取り付けてください。
 - ・故障し、漏電または過電流が流れたとき、感電、火災のおそれがあります。
- 故障などの理由により電源コードを交換する場合、お買い上げ販売店または専門の工事業者に工事を依頼してください。
- 故障、修理時や落雷の可能性がある場合は元電源を切ってください。
 - ・感電もしくは機械の故障の原因になります。



強制

(1) 電気容量

機種	ブレーカー容量	引込みコード
SF-124C	15A	より線 2.0mm ²
SF-224C	20A	より線 3.5mm ²
SF-324C	30A	より線 3.5mm ²

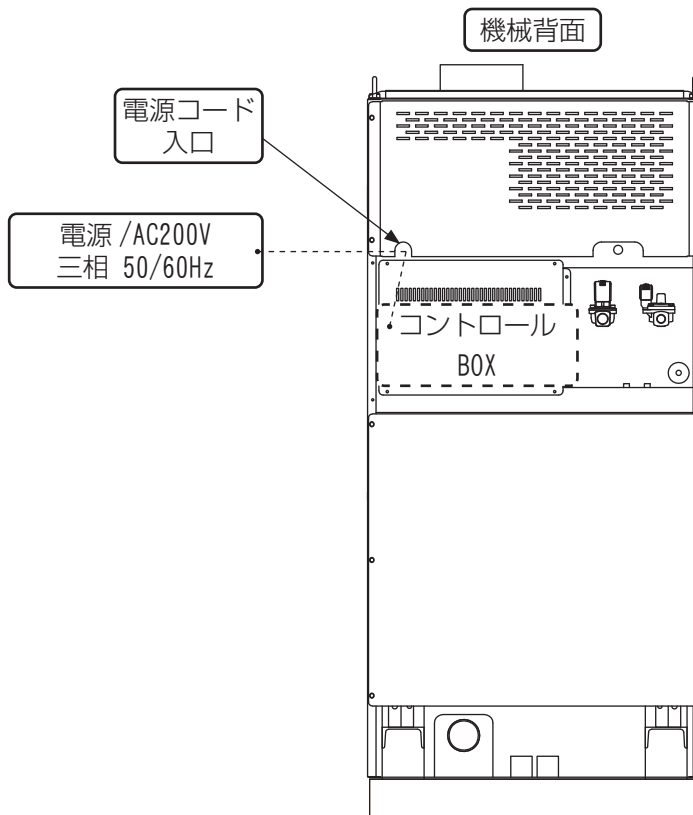
- (2) 土間、コンクリート床、洗い場など湿気や水気のある場所に据え付けるときは、漏電遮断器の取り付けが法令で義務付けられています。
- (3) 主幹に使用する漏電遮断器（ELB）はインバータ専用（感度電流 100mA）を使用してください。
 - ※ 上記以外の漏電遮断器では、高調波漏洩電流により誤動作し使用不能となります。
- (4) 機械毎に漏電遮断器（ELB）を取り付する場合は感度電流30mAのものを使用してください。
- (5) 本機はインバータを使用しています。
 - 電源端子での絶縁測定（メガテスト）は行わないでください。半導体素子が破損します。
 - この内容を記載した『電気工事』についてのお願いラベルを配電ボックスに貼りつけてください。
 - ※ ラベルは本体ドラム内の保存袋に同封してあります。
- (6) 力率改善用コンデンサは、絶対に取り付けしないでください。
 - ※ コンデンサを取り付けると、インバータが破壊します。

2. 据付工事について

- (7) 電気配線は、出来るだけ金属管または合成樹脂管で保護してください。
- (8) 電気配線は、高温部（燃焼部など）に接近させないでください。（15cm以上離す）
- (9) 電源コードはパネル類または水道・ガス配管に結束しないでください。
- (10) 機械の回転方向の確認をしてください。

※ ファンモータに記載の矢印方向

- (11) 電源コードの引き直し



注意

『電気工事』についてお願い

1. 本機はインバータを使用していますので電源端子での絶縁測定(メガテスト)は行わないで下さい。半導体素子が破壊します。
2. 本機はインバータを使用していますので漏洩電流は多くなります。
3. 『力率改善用コンデンサ』を取り付けると『インバータコントローラ』が破損します。
4. インバータによる高周波漏洩電流によりELBが誤動作しますので、主幹による感度電流100mAを使用して下さい。
5. 必ず盤内の接地端子を利用してD種設置工事を施工して下さい。

株式会社 TOSEI

このラベルは、配電盤カバーの内側に必ず貼付してください。

▶ 配電盤貼付用ラベル《見本》



警告

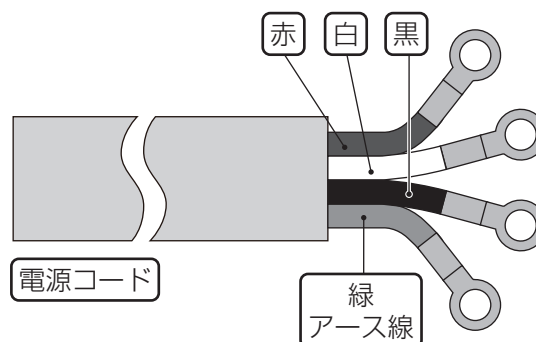
- アース線は確実に取るため、必ず『専門の工事業者』へ依頼してください。火災、感電の危険性があります。次のようなところはアース線を接続しないでください。
 - ・水道管・・・配管途中で塩化ビニル配管の場合、アースされません。
 - ・ガス管・・・爆発や引火の危険があります。
 - ・電話線のアースや避雷針・・・落雷の時、大きな電流が流れて危険です。



アース線は
確実に取る

- (12) 万一の感電や落雷時における事故防止および、制御回路の耐ノイズ性を向上させるために接地工事『アース』は、盤内の接地端子を利用してD種接地工事（接地抵抗100Ω以下）を施工してください。

AC200V 三相	
赤	R
白	S
黒	T
緑	⏚



2.4 配管工事について

2

① 給水（給湯）配管工事



注意

- 上下水道の配管工事は「市町村の指名業者」が行う必要があります。『指定給水装置工事事業者』へ依頼してください。



指定業者へ依頼

● **お願い** 給水元バルブを開いて、水量、水圧 0.2MPa(kgf/cm²) 以上であることを確認してください。

- (1) 給水配管と製品本体は、取り外しできるようにユニオンで接続してください。
- (2) 水圧が0.2MPa(2kgf/cm²)未滿または、シスタンクを使用している場合は、給水に時間がかかり、トラブル表示『水位』が点灯する場合があります。
- (3) 水圧が高い場合は、ウォーターハンマが起き、給水弁あるいは配管を破損するおそれがありますので、別途防止対策を行ってください。
水圧が高い条件でご使用される場合は、必ずウォーターハンマ防止の配管を行ってください。
- (4) 凍結によりホースが破損すると水漏れが生じ、感電や漏電の原因になりますので、冬場凍結のおそれがあるときは、ホース破裂防止の水抜き配管を行ってください。

※ 給湯配管も同様の工事を行ってください。

② 水道配管への直結配管工事の場合



注意

- 本機は、水道法第 16 条に基づき、水道法施工令第 6 条に規定する給水装置の自己認証をしております。
- 必ず水道法に基づき工事を実施してください。

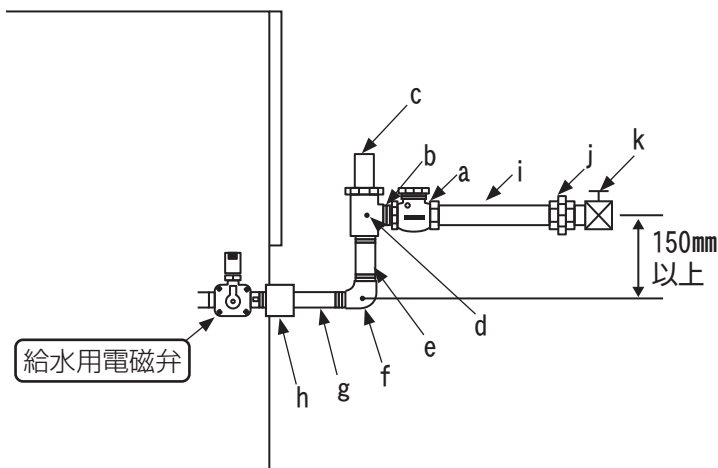


指定業者へ依頼

お願い 水道配管への直結配管工事の場合は下記施工工事を実施してください。

- (1) 給水配管の入口側にaの逆流防止(チャッキバルブ)を接続してください。
- (2) 水圧の高い場合はウォーターハンマが起き、給水弁等を破損するおそれがある為、c水撃防止器の取り付けをしてください。
- (3) 給水、給湯口にストレーナを接続してください。
- (4) 給水装置の自社検査証が必要な場合は弊社までご連絡ください。

水道管への配管接続図



No.	部品名	形式	No.	部品名	形式
a	チャッキバルブ	3/4"	g	ニップル	3/4"
b	ニップル	3/4"	h	ストレーナ	3/4"
c	水撃防止器	3/4"	i	金属製	3/4"
d	チーズ	3/4"		フレキシブルチューブ	3/4"
e	ニップル	3/4"	j	ユニオン	3/4"
f	エルボ	3/4"	k	バルブ	3/4"

● 施工上の注意点

- ▶ チャッキバルブは、給水弁より 150mm以上上方に取り付けてください。
- ▶ チャッキバルブは流れる方向に注意して水平に取り付けてください。
- ▶ 本体と給水管の間には必ず長さ 300mm以上のフレキシブルチューブを使用してください。機械の振動により配管の緩み、破損、または建物の振動の原因となります。
- ▶ 給水配管を行う場合、入口側に必ず逆流防止(チャッキバルブ)配管をおこなってください。
- ▶ 建物の床下・天井および壁・柱等に添わせて配管する場合には、自重、水圧等による振動やたわみ等により損傷を受けやすいため、配管の管種、口径の適した支持金具をして建造物に支持固定すること。

③ 排水管工事について

- SF-124C・SF-224C・SF-324C の集中排水配管
 - ・ 連結集中排水配管は下記の表に従って施工してください。

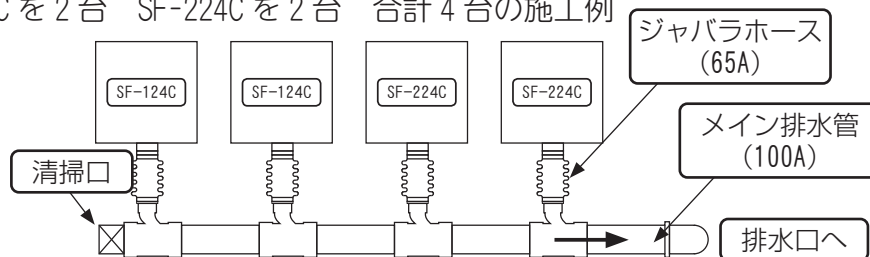
SF-124C 設置台数	SF-224C 設置台数	SF-324C 設置台数	合計設置台数	集中配管メインの 配管口径
1	1	1	3	100A
1	2	1	4	
2	1	1	4	
2	2	1	5	
2	3	1	6	100A X 2
3	2	1	6	
4	4	0	8	

※ その他の設置台数については、弊社にお問い合わせください。

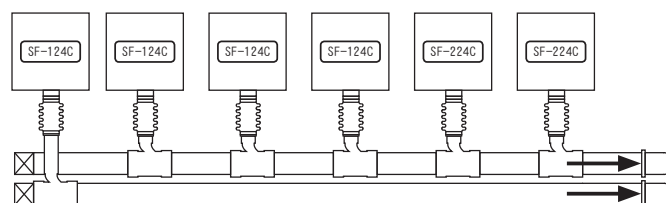
お願い

- ▶ 本体からメイン排水配管への接続は、Y型異径チーズを使用し、メイン配管は排水が流れやすいように適宜勾配をつけるように施工してください。
- ▶ 本体からの配管接続は保守メンテナンスのため、ジャバラホース等で取り外しできるように施工してください。排水管が長い場合はエア抜きを取り付けてください。
- ▶ 排水管の関係で先細りでないと接続できない場合は異径ソケットにて径をおとして接続してください。排水管にテープを巻きつけて接続すると、異物が排水管に引っかかってしまうおそれがあります。
- ▶ 排水配管と排水ホースは、ホースバンドでしっかり接続してください。

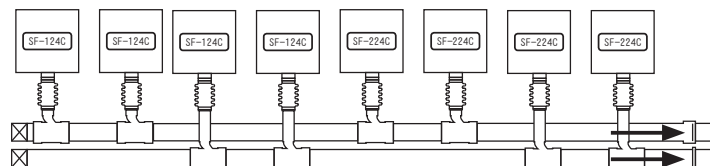
【設置施工例 1】 SF-124C を 2 台 SF-224C を 2 台 合計 4 台の施工例



【設置施工例 2】 SF-124C を 4 台 SF-224C を 2 台 合計 6 台の施工例

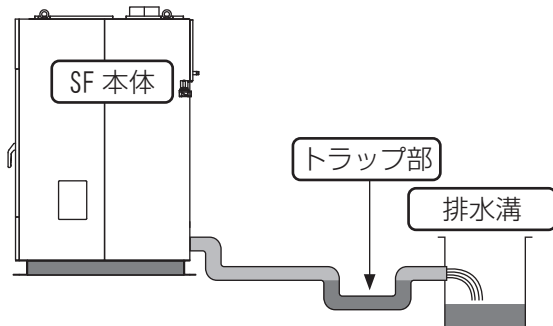


【設置施工例 3】 SF-124C を 4 台 SF-224C を 4 台 合計 8 台の施工例



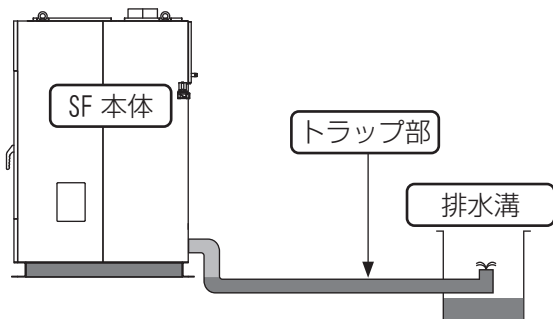
④ メイン排水配管の末端処理

【例 1】



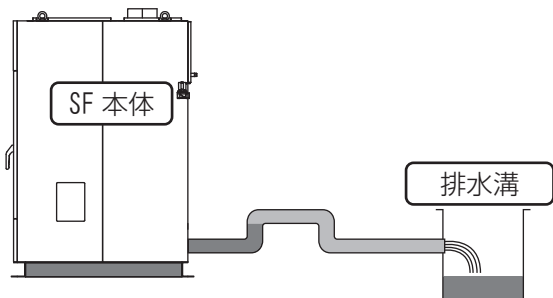
※ 浄化槽等よりの異臭がドラム内に流入することを防ぐために、水貯まり装置（トラップ）を付けてください。

【例 2】

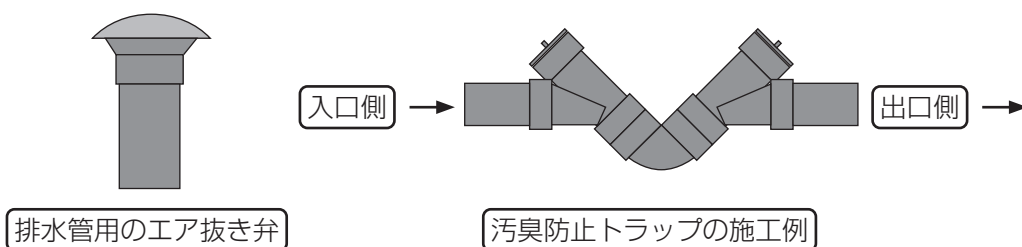


※ 排水配管の末端部にエルボを上側に向けて取り付け、水が貯まっているように施工してください。但し、本体の排水口よりも低い位置で吹出するようにしてください。

【排水配管の悪い例】



※ 機械本体の排水口出口配管より上側に向けて、排水配管はしないでください。排水ができなくなり、排水エラー等のトラブルが発生します。



2.5 ガス配管工事について



警告

- ガス配管工事は、必ず『専門の工事業者へ依頼してください』
『火災、ガス漏れの危険性があります。』



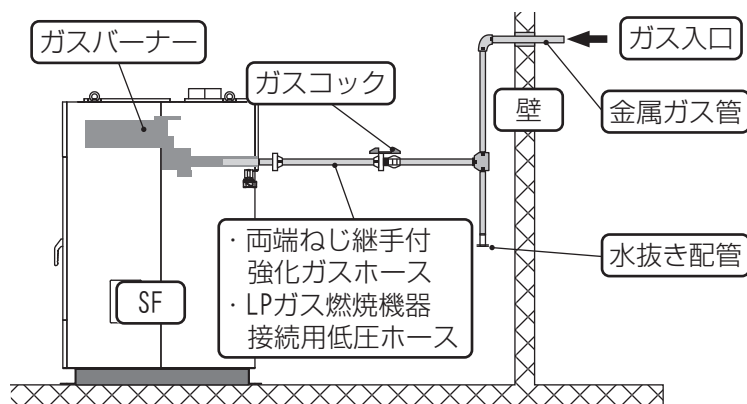
指定業者へ依頼

- 工事の際にはご使用のガスの種類とガスバーナの仕様が合っているか確認してください。
 - ▶ ガス仕様が異なっているとガスバーナが異常燃焼を起こし、火災や、一酸化炭素中毒が起こるおそれがあります。また、洗濯乾燥機本体にエルボ、ソケットなどを介して配管を行う場合は、製品内部のガス配管を回転させないように、パイプレンチで固定して接続してください。内部配管を回転させたり、締め過ぎると、各接続部に無理な力がかかり破損やガス漏れ事故の原因になります。



強制

- (1) 接続具はガス用接続材料として認められたものをご使用ください。
- (2) 強化ガスホースおよびLPガス燃焼器接続用継手付ホースは、機械を入れ替える時には同時に取り替えてください。
- (3) 強化ガスホース、LPガス燃焼器接続用継手ホースは火災や放射熱等により高温になる場所、油脂溶剤等が付着するおそれのある場所、異常な外力が加わる場所には使用しないでください。
- (4) ガス元配管と本体の配管接続は、必ず途中にホースを用い、可とう性を持たせてください。振動により配管が破損しガス漏れの起こるおそれがあります。



	接続配管
都市ガス用	・強化ガスホース
LPガス用	・LPガス燃焼器接続用 継手金具付ホース

① 都市ガスの場合

- (1) 強化ガスホースまたは機器接続ガス栓を用いて容易に外せないように接続してください。
- (2) 本機の保守、点検が容易にできるよう、操作しやすいところにガスコックを設けてください。
- (3) 金属管による接続工事は、ガス事業者に依頼してください。
- (4) 金属可とう管または強化ガスホースによるねじ接続工事はガス可とう管接続工事監督者に依頼してください。



- ガス仕様が異なっているとガスバーナが異常燃焼を起こし、火災や一酸化炭素中毒が起こるおそれがあります。
 - ・また、洗濯乾燥機本体にエルボ、ソケットなどを介して配管を行う際は、製品内部のガス配管を回転させないよう、2台以上並べて使用する場合は、台数に応じた太さのガス管で接続してください。これらが適切でないとガスが異常燃焼を起こし、火災や一酸化炭素中毒が起こるおそれがあります。



② LPガスの場合

- (1) LPガス燃焼器接続用継手金具付ホース、または機器接続ガス栓を用いて容易に外せないように接続してください。
- (2) 本機の保守、点検が容易にできるよう操作しやすいところにガスコックを設けてください。
- (3) 接続工事は液化石油ガス設備士が行ってください。
- (4) ガスボンベの設置、ガス配管はガス法や取扱基準などの法的な規定に従って工事を行ってください。



- ガスを適切な状態で燃焼させるために
 - ▶本機接続部のガス入口圧力は2.75kPaになるように元圧を調整してください。ガスはLPガス法による「い号」または「ろ号」液化石油ガスを用い、容器は50kgボンベまたはガスバルクを使用してください。ただしこのガスボンベは、平均14.0kW(1.0kg/h)程度しかガスを取り出す事ができませんので、本機1台を運転するのに2本以上のガスボンベを連結してください。
 - ▶供給方法は低圧一般供給法としてください。これは調整機器1個を用いて、容器内圧力から直ちに低圧2.75kPa(3/4B)まで減圧して供給する方法です。
 - ▶本機の近くまでガスを導く主管は、20A以上のガス管を使用してください。尚、本機を2台以上並べて使用する場合は、台数に応じた太さの配管にしてください。これらが適切でないとガスが異常燃焼を起こし、火災や一酸化炭素中毒が起こるおそれがあります。



2.6 給気口（ガラリ）



警告

- 設置室の状況に応じた給気口および排気筒を設けて十分な換気を行ってください。
 - ▶ 室内への燃焼ガスの充満や酸素不足によって、ガスの不完全燃焼や酸欠事故が生じるおそれがあります。
- 給排気設備を設置するにあたって、形状、設置方法、本機との関係および周囲の隣家への配慮などについては下記の方法を参照してください。



換気実施

■ 1 台当りの必要給気面積

SF シリーズ

315cm² 以上（φ200mm相当）

- ※ 給気口にガラリ等を設ける場合は開口率を考慮し、上記の開口面積を確保してください。
- ※ 複数台を設置する時は、各々の洗濯乾燥機に必要な断面積の合計以上の大きさにしてください。

■ 給気口について

- (1) 室内の空気の浄化、熱の排除、酸素の供給等の為、必ず給気口を設けてください。
- (2) 給気口は外気に面した壁に設けてください。ただし、給気経路が確保されている場合は隣室側の壁に設けてもかまいません。
- (3) 給気口の位置は炎の立ち消えなど本機への影響のない場所で、室内がよく換気され、さらに排気筒トップから排気ガスが流入しない位置に設けてください。
- (4) 給気口には雪、雨水の流入、またはねずみ、ほこり、その他有害なものの侵入に対応する為、ガラリ等を設けてください。
- (5) 給気口が確保できない場合は、不足分を補う流量の換気扇を取り付けてください。

- ※ ガラリの開口率は下記の表にて計算してください。

スチール	50%
木製	40%
パンチング	30%

2.7 排気筒工事



- 排気筒は必ず本機の排気口内径に相当する断面積以上の物を使用してください。内径が小さすぎたり、長すぎる排気筒を使用すると十分に排気できず、乾燥が悪くなったり、トラブルの原因になります。

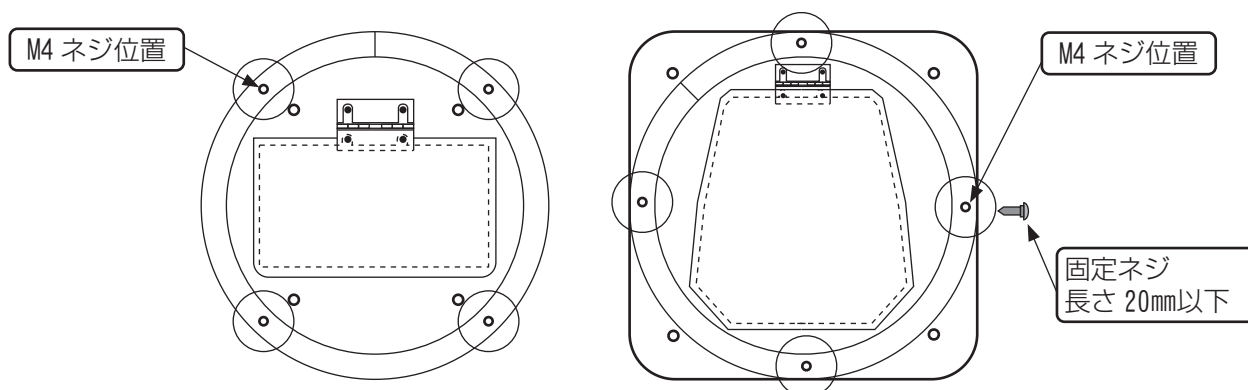


排気筒指示

① 排気筒

- (1) 洗濯乾燥機の排気中には水蒸気、炭酸ガス、糸クズ等を含んでいます。必ず排気筒によって屋外へ排出してください。
- (2) 排気筒は、SUS304または同等以上の「強度」「耐熱性」および「耐食性」を有する不燃材料を使用してください。
 - ※ ガス機器の設置については、自治体によって取り扱いが一部異なりますので、関係行政に事前確認してください。
- (3) フレキシブルダクトは排気抵抗が大きく、また折れ曲がりによる損傷の可能性があり乾燥不良の原因となるばかりか、一酸化炭素中毒のおそれがある為、原則的に使用しないでください。
- (4) 機械からの排気は、指定口径によって必ず屋外へ排出してください。
 - 指定口径 「内径φ200」
(小さい管を使用しますと十分に排気できず、乾燥性能が大幅に低下します)
- (5) 排気筒は点検、維持が容易にでき、修理や取り替えに必要な範囲の隠ぺい部材の取り外しができるように配慮して設置してください。
- (6) 排気筒の長さはP30「⑤ 排気筒長さの計算」を参照し【計算長20m以内】になるようにしてください。
- (7) エルボの使用は3カ所以内にし、できるだけ曲げRの大きいものを使用してください。
- (8) 排気筒と機械本体との接続時、固定ネジ（長さ20mm以下）の取り付けは、下記ダクト取付図のM4ネジ部位置（4カ所）を目印に取り付けして下さい。

注) 固定ネジの取り付け位置やネジの長さを指示以外にするとチャッキ弁の作動不良に繋がるおそれがあります。



- (9) 排気筒が可燃性壁体を貫通する場合は、めがね石などを用いてください。
- (10) 排気筒先端には風雨に対して有効な排気筒トップを取り付けてください。排気筒の先端に目の細かい金網を取り付けると綿ぼこりが蓄積して事故の原因になります。「金網・ガラリ」は抵抗が少なく、16mmの鋼球が入らない、細かすぎない適正な網目の大きさのものにしてください。

- (11) 排気筒が長く排気風量が不足し、強制排気システムを設ける場合は、法令に従って施工するよう専門業者にご相談ください。
- (12) 排気筒は必ず排気口の外側に挿入してください。
また、ネジ止めで固定する場合、ネジ位置は排気口ダンパー開閉の妨げにならないところにしてください。排気口ダンパーの開閉ができないと、事故やトラブルの原因になります。
- (13) 本体との接続および排気筒同士の接続は自重、風圧、積雪荷重及び振動などに十分耐え、さらに排気筒を構成する接続部が容易に外れないよう、専用リベット、専用ボトルなどで堅固に取り付け、コーキングシール材を充填、または耐熱テープを巻き付けてください。
- (14) 防火ダンパは取り付けないでください。
(防火ダンパの作動（閉塞等）により重大なガス事故につながるおそれがあります)
防火ダンパの取り付けは法令で禁止されています。（建設省告示第1826号）

※ 排気筒が防火区画を貫通する場合や、延焼のおそれがある壁を貫通する場合は、関係行政に事前確認してください。

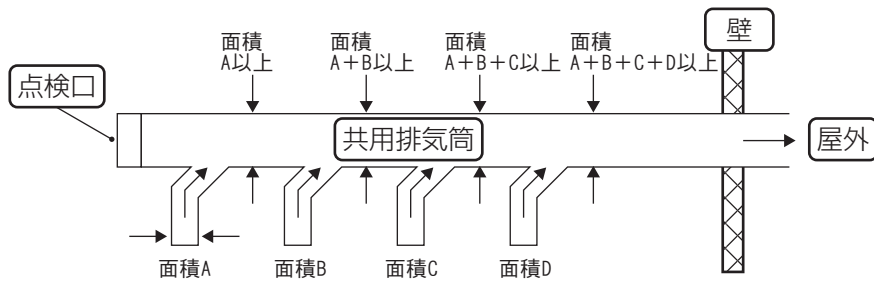
- (15) 排気筒は他の水洗専用機以外の共用排気筒に接続しないでください。

排気筒吹出し口の流量

SF-124C	9.0m ³ /分 (排気筒 10 m) /台
SF-224C	13.0m ³ /分 (排気筒 10 m) /台
SF-324C	16.0m ³ /分 (排気筒 10 m) /台

② 共用排気について

(1) 2台以上で共用の排気筒を集合して設ける場合は下記のように行ってください。



- (2) 共用排気の場合、本機からの排気筒を主排気筒に接続するときは、出口方向への排気がスムーズになるよう、45度傾ける等の配慮をしてください。（直角に接続すると排気が妨げられます）
- (3) 排気筒トップは、雨水の侵入しないよう配慮してください。
- (4) 共用排気の場合、排気筒を通じて稼働していない機器に逆流しないような措置を講じてください。

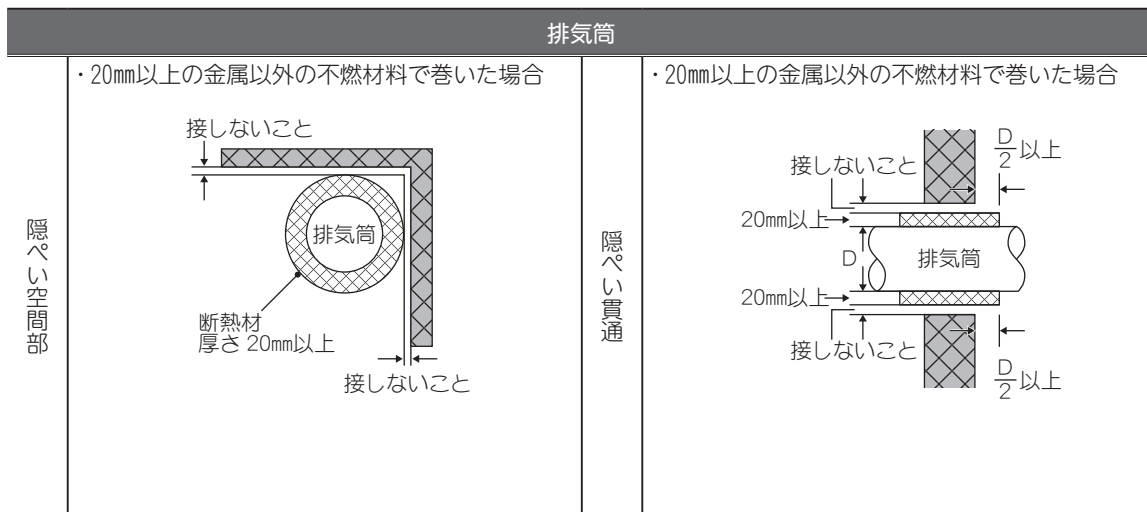
2

※ 各機械にチャッキ弁は標準装備しております。

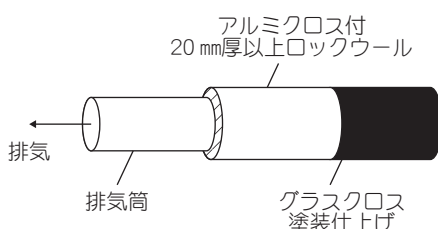
③ 建築物との隔離距離

排気筒と「可燃材料、難燃材料または準不燃材料による仕上げをした建築物の部分等」との離隔距離について

- (1) 排気筒と「可燃材料、難燃材料、または準不燃材料による仕上げをした建築物の部分等」との離隔距離はその排気筒の直径の1/2以上、あけてください。
- (2) 天井裏等の隠ぺい部に排気筒を設置する場合は、接続部を排気漏れのない構造とし、堅固に接続するとともに金属以外の不燃材料で覆ってください。



▶ 隠ぺい部での断熱施工例



ロックウール保温筒 1号 (JIS A 9504)

建設大臣認定	不燃第 1022 号
熱伝導率	0.037kcal/h・m・℃
密度	0.15g/cm ³
安全使用温度	400℃

排気筒	
空間部	<p>・断熱施工なしの場合</p> <p>・断熱施工をした場合</p>

※「業務用ガス機器の設置基準及び実務指針」（一財）日本ガス機器検査協会発行による

排気筒	
貫通部	<p>・周囲排気筒径の 1/2 以上の空間</p> <p>・鉄板製めがね板</p>
貫通部	<p>・20mm以上の金属以外の不燃材料で巻いた場合</p>

※「業務用ガス機器の設置基準及び実務指針」（一財）日本ガス機器検査協会発行による

④ 排気筒トップ

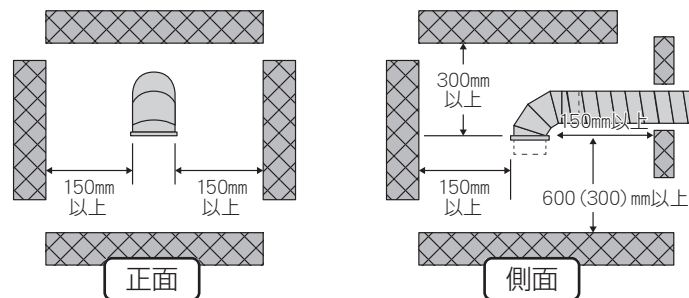


- 火災防止の為洗濯乾燥機排気口の周囲 600mm、吹出し方向 600mmの範囲内に可燃物がないようにしてください。

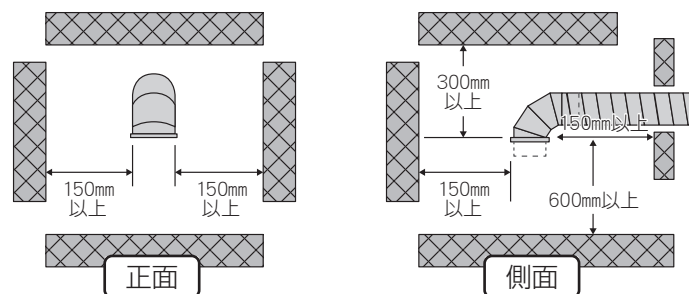


- (1) 排気筒頂部は、風雨に対して有効な排気筒トップを取り付けてください。その位置は風雨の影響を受けない所に設置してください。
- (2) 排気筒の先端に細かい「金網」「排気用換気口」などを取り付けますと風路が妨げられ、排気不良や、綿ぼこりが蓄積して乾燥不良などの故障の原因になります。
- (3) 排気筒トップは、「金網・ガラリ」は抵抗が少なく、16mmの鋼球が入らない、細かすぎない適正な網目の大きさのものをご使用ください。
- (4) 風の強く吹込む所、通路、人通りのある所、屋内、床下などに排気口を向けないでください。
- (5) 排気の臭い、音、風などによって近隣に迷惑のかからないようにしてください。
- (6) 排気筒は水洗用の洗濯乾燥機以外の共用排気筒に接続しないでください。
- (7) 排気筒の内部は掃除できるように配管してください。
- (8) 防火上からの離隔距離を定めたものであって、排気温度が260℃以下のガス機器に適用されます。
- (9) 排気筒トップの吹出し口周囲に「可燃材料、難燃材料または準不燃材料による仕上げをした建築物の部分等」が無いように離隔距離を取ってください。
- (10) 排気筒トップの吹出し口周囲と「可燃材料、難燃材料または準不燃材料による仕上げをした建築物の部分等」との離隔距離(mm)を示します。(排気温度が260℃以下のガス機器の場合)

※ () 内の数値は、防熱板を取り付けた場合および「不燃材料で有効に仕上げをした建築物の部分等」との寸法を示します。

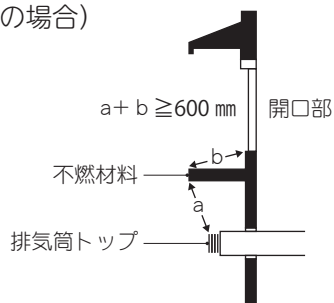


- (11) 排気筒トップの吹出し口周囲に燃焼排ガスが室内に流入するおそれのある開口部（本機を使用する際に開ける窓や、ドア、および常時開放されている換気口、吸気扇など）が無いように隔離距離を取ってください。
- (12) 排気筒トップの吹出し口周囲と燃焼排ガスが室内に流入するおそれのある開口部（本機を使用する際に開ける窓や、ドア、および常時開放されている換気口、吸気扇など）との隔離距離(mm)を示します。(排気温度が260℃以下のガス機器の場合)



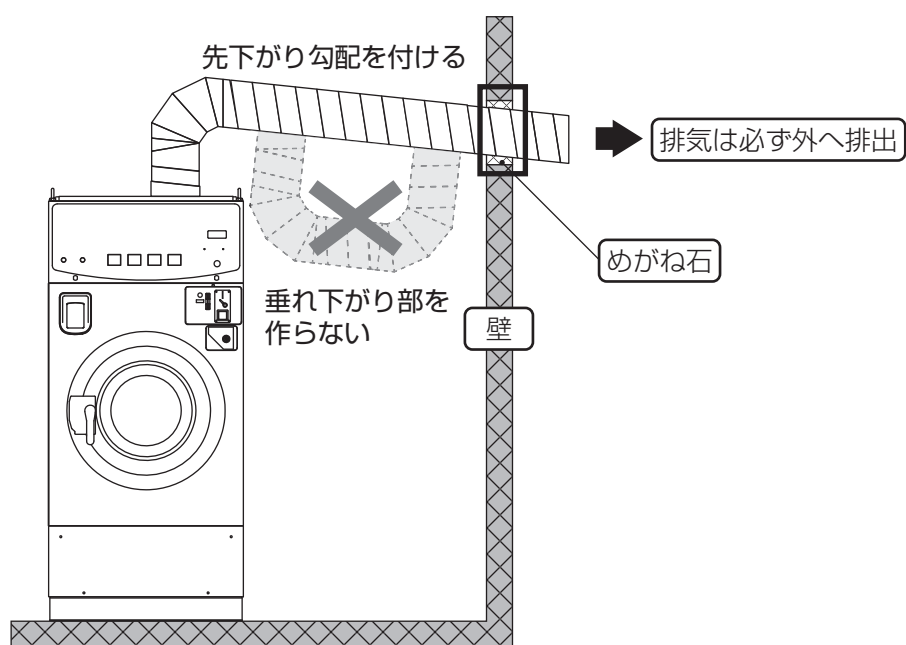
- (13) 排気筒トップの吹出し口上方に有効な遮へい物を設けた場合の開口部との隔離距離(mm)の取り方を次図に示します。

(鉛直面全周の場合)



▶ 上方に有効な遮へい物を設けた場合の隔離距離の取り方の例

- (14) 排気筒は横引き部の勾配を先下りとし、ドレン等を屋外に導く配管にしてください。



※ 「業務用ガス機器の設置基準及び実務方針」(一財)日本ガス機器検査協会発行による

⑤ 排気筒長さの計算



- 排気筒は必ず本機の排気口内径に相当する断面積以上の物を使用してください。
 - ▶ 内径が小さすぎたり、長すぎる排気筒を使用すると十分に排気できず、乾燥が悪くなったり、トラブルの原因になります。



- ※ 直管は、そのままの寸法を加算します。
- ※ 曲折部、および先端は、表の値から直管長さに換算した値を加算してください。

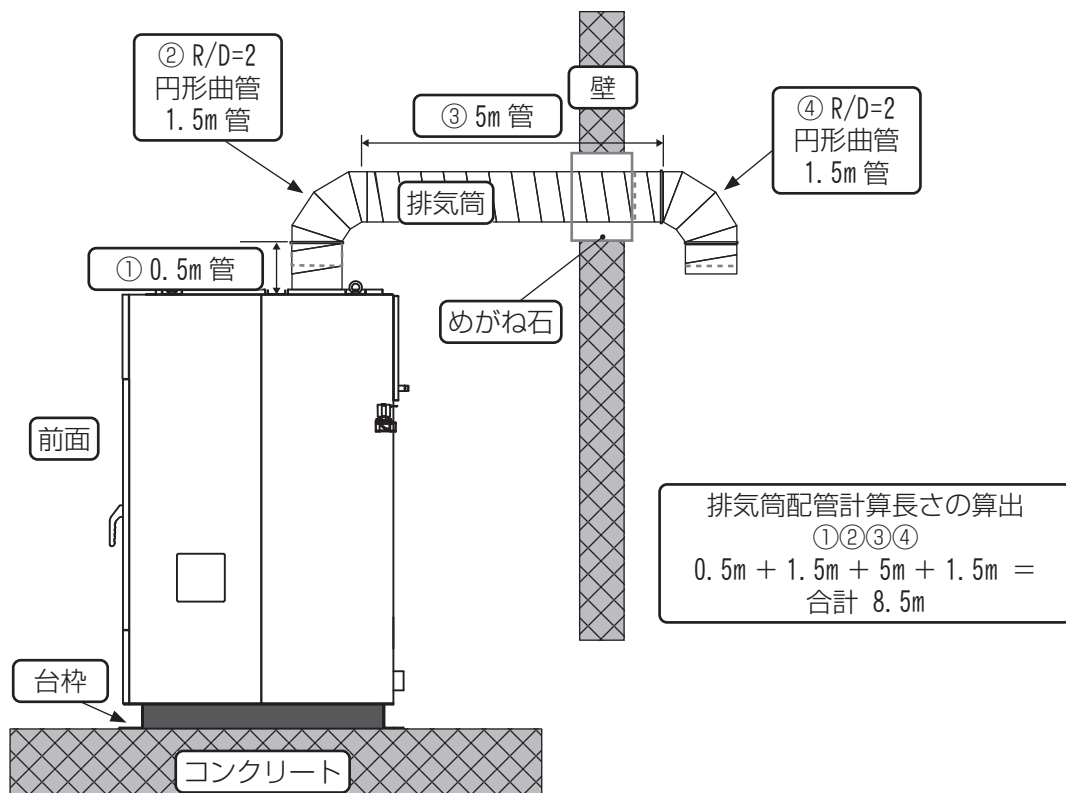
	形状	条件による値の長さ	
		$\frac{R}{D}$	長さ
円形の曲管		=1.0	2.6m
		=1.5	1.8m
		=2.0	1.5m

R: 円形曲管の曲げ半径 D: 円形曲管の直径

- ※ ジャバラ形式の曲管は圧損抵抗が大きい為、使用しないでください。

- (1) エルボの使用は3カ所以内にし、できるだけ曲げRの大きいものを使用してください。
- (2) 機械本体からの排気は、指定口径で必ず屋外へ排出してください。
- (3) 排気筒の配管の長さは、「計算長さ20m以内」になるようにしてください。

[推奨の施工例]



2.8 付属品

No.	名 称	個 数
1	取扱説明書	1
2	オートグリス	1
3	スペーサ	12
4	アンカーボルト (オールアンカ M12)	4
5	平座金	4

No.	名 称	個 数
6	電気工事ラベル (E)	1
7	圧着端子	4
8	配線図	1
9	ヒューズ (250V 1A)	1
10	ヒューズ (250V 5A)	1

2.9 オートグリス取付方法

弊社洗濯乾燥機の軸受部には、「オートグリス」を使用しています。

- オートグリス本体「下部」のダイヤルを「3mmの六角レンチ」で「下記」の数値【12】を ▼ 印の所まで時計回りでまわし設定してください。
- 取付日と次回の交換予定日を記入してください。
- オートグリス本体にシールテープを巻いてください。
- オートグリス本体の先端突起部をカッターもしくはニッパー等でカットしてください。

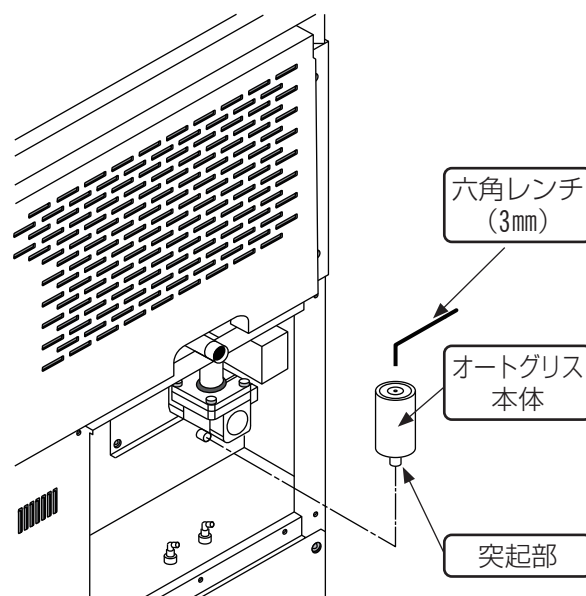
先端突起部をカットした部分にグリス突出穴が開いているか必ず確認し、ソケットにねじ込み取り付けてください。

- ※ 先端部をカットするにあたって、細心の注意をし、けがをしないようにしてください。
- ※ オートグリス本体の交換は約 12 ヶ月です (25℃使用)
- ※ 取付より12ヵ月経過または内部のオイルがなくなった場合は交換してください。
- ※ オイルの補給を怠りますと、オイルシールの早期摩耗、故障の原因となります。
- ※ 設置する場所の温度により吐出量が変わります。
- ※ 長期間使用しないときは本体下部ネジ込み部を「0」に戻してください。

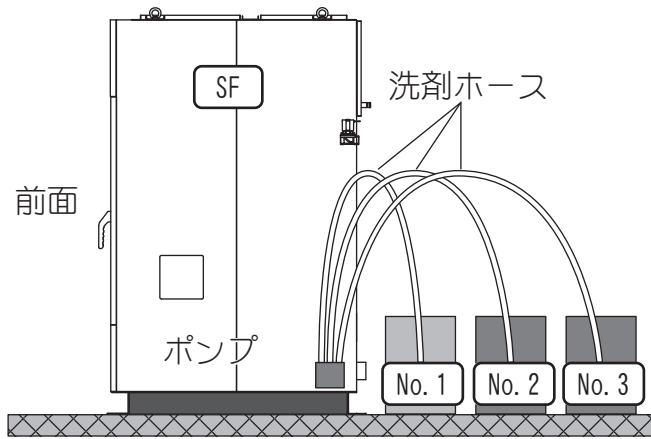


オートグリス仕様

・使用温度範囲	: -20 ~ +55℃
・オイル型名	: 純正オイル



2.10 洗剤・柔軟剤 取付方法



●取付方法

洗剤・柔軟剤等の缶にソープ投入ホースを差し込んでください。

No.	ポンプ
1	洗剤
2	柔軟剤
3	予備

●洗剤・柔軟剤投入量（目安）

	投入量 (cc)	
	1.0 秒	5.0 秒
水 (参考)	14.4	72
どるふいんW (TOSEI 純正 洗剤)	11.1	55.5
どるふいんS (TOSEI 純正 柔軟剤)	11.1	55.5

●補 足

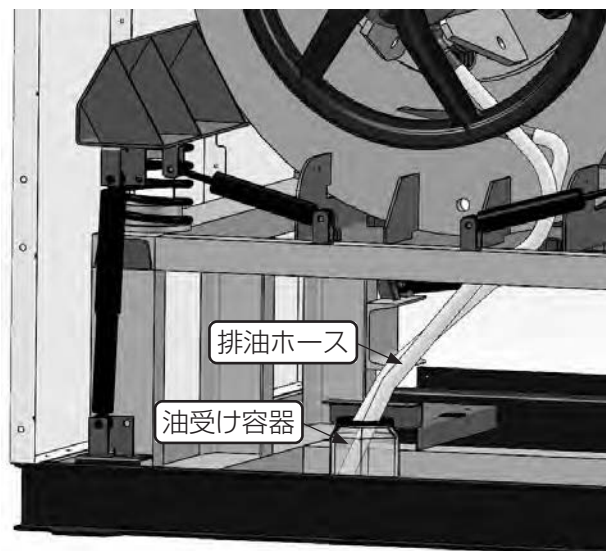
▶ 洗剤・柔軟剤は弊社の「純正品」のご使用をお奨め致します。

■ご注意

- ・ 弊社の純正品および推奨品以外の使用は本機のトラブルの原因になります。
- ・ 据付時またはソープポンプを交換したときには、ホース内のエア抜きを行ってください。

2.11 排油ホースについて

排油ホースから出た油を受けるため油受け容器を設置してください。



お使いになる前に



警告

- 操作開始の前に確認してください。
「火災、漏電、けがの危険性があります」



確認

- (1) 電気工事はよいか
 - ①線の太さを確認する。
 - ②本機は、インバータを使用していますので電源に使用する漏電遮断器はインバータ専用のもので工事を施工してください。(感度電流 100mA)
 - ③力率改善用コンデンサは、絶対に取り付けしないでください。
(コンデンサを取り付けると、インバータを破壊します。)
- (2) アースはよいか
接地工事はしてあるか。D種接地工事確認。

※ アース工事を行わないとガスバーナが着火しません。必ず行ってください。
- (3) 排気筒の取り付けはよいか
- (4) 電源の供給はよいか
電源の元スイッチを入れ表示ランプ点灯確認。
- (5) ガスの供給はよいか
ガスの元バルブを開いてください。

補 足

▶ ガスバーナ着火の確認・・・目視確認

■ ご注意

最初は配管内のエアが抜けるまでに約50秒位かかります。スパークは9秒ですので9秒以内に着火しない時はスタートボタンを切って再び入れてください。(確認窓より着火が確認できるまで繰り返してください。2回目以降は5～9秒位で着火します。)

※ 運転中は、リントボックスおよびドアを開閉しないでください。

- (6) 水(温水)の供給はよいか
給水の元バルブを開いてください。
- (7) 排水口の取り付けはよいか
- (8) リントフィルタの点検
機械前部のリントボックス内の「リントフィルタ」を確認し「ゴミ・ほこり」等の清掃を行ってください。
- (9) 洗剤・柔軟剤等の準備はよいか
洗剤・柔軟剤等の缶にソープ投入ホースを差し込んでください。

4

● 取扱上の注意



警告

- 操作開始の前に確認してください。
「火災、漏電、けがの危険性があります」



確認

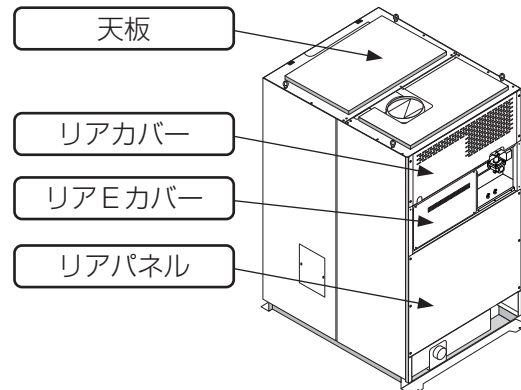
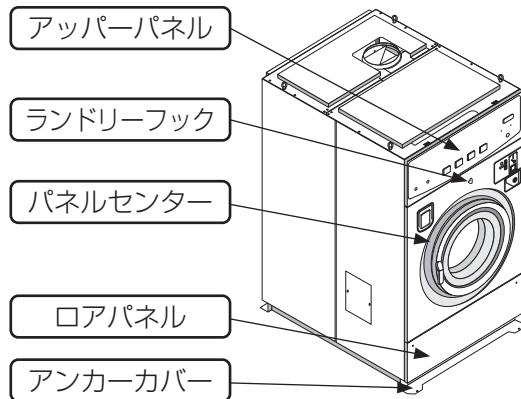
- (1) 本機の近くで、絶対に火気を使用しないでください。
- (2) 衣類は、定格負荷量以上入れないでください。
- (3) ポリプロピレン系の繊維および油汚れ(特に動植物油)のついている衣類は、自然発火することがありますので、洗濯、乾燥しないでください。
- (4) 大物衣類で「ネットの使用またはひもで縛っての」1枚洗濯をしないでください。
(※大物衣類・・・カーペット、毛布、布団、カーテン、マット、シートなど)
- (5) 洗濯・乾燥した衣類は、速やかにドラム内より取り出してください。
- (6) 運転中は、ドアの開閉はしないでください。

機械の概要

5.1 主要構成部の名称

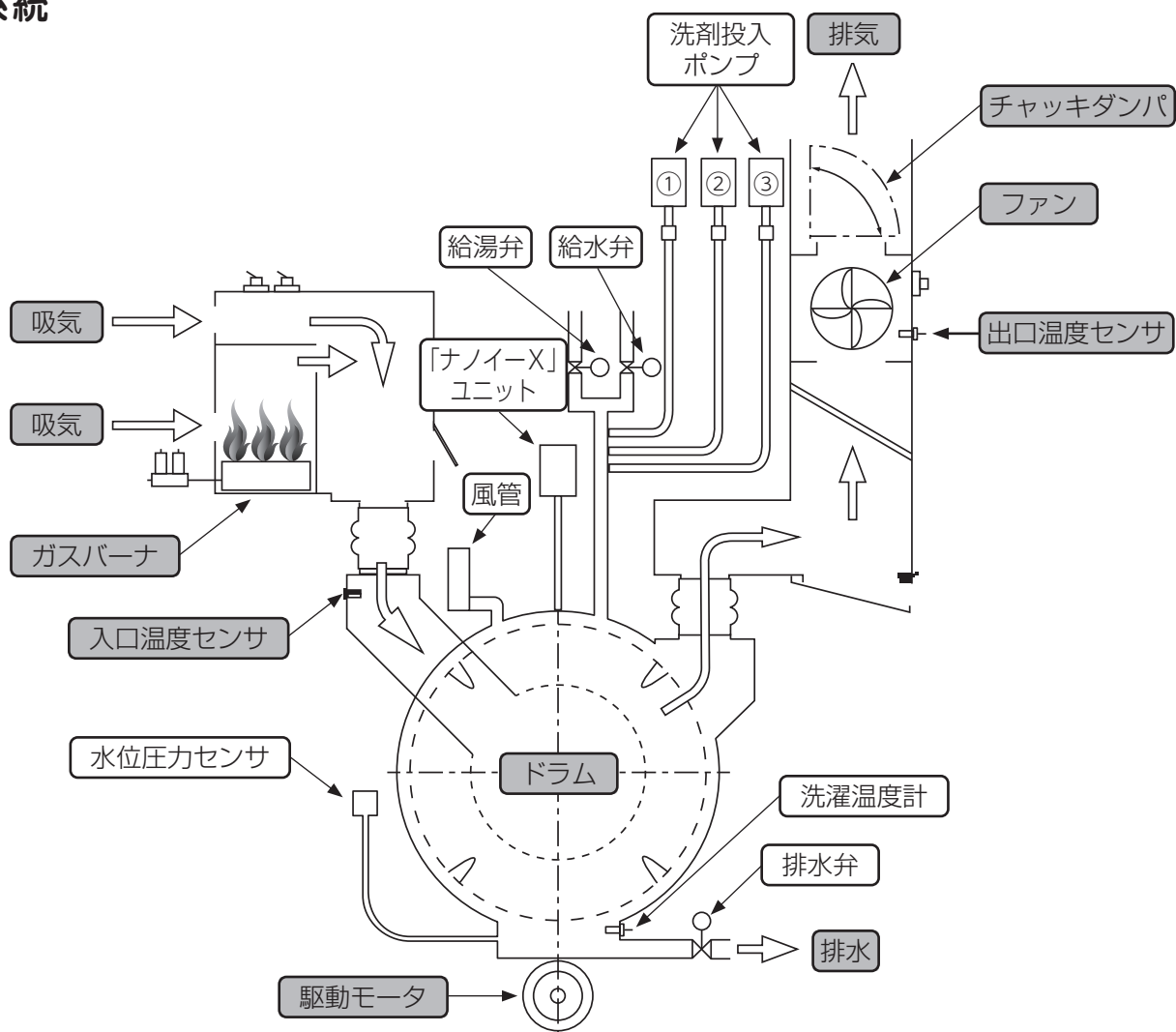
●主な構成部と各々の役目と働きは次の通りです。

■各パネル



・アッパーパネル	：	操作部／表示部がある機械正面上部のパネルです。
・ランドリーフック	：	ランドリーバッグ等を掛けるフックです。
・パネルセンター	：	機械正面中央のパネルです。
・ロアパネル	：	機械正面下側のパネルです。
・アンカーカバー	：	機械正面ロアパネルの下側のパネルです。
・天板	：	機械上部のパネルです。
・リアカバー	：	機械背面上部のパネルです。
・リアEカバー	：	機械背面中央のパネルです。
・リアパネル	：	機械背面のパネルです。

■給排水系統



・水位圧力センサ	： ドラム内の水量を検出するセンサです。
・洗濯温度計 (オプション)	： ドラム内の温度を検出するセンサです。
・排水弁	： 自動的にドラムの水を排水、停止する弁です。
・「ナノイー-X」ユニット	： ドラム内に「ナノイー-X」を放出します。
・給水弁	： 自動的にドラムへの水を給水、停止する弁です。
・給湯弁 (オプション)	： 自動的にドラムへの温水を給湯、停止する弁です。
・風管	： ドラム内部エアー抜き、給水のオーバーフローです。
・洗剤投入ポンプ	： ドラム内に① No. 1 洗剤、② No. 2 柔軟剤、③ No. 3 予備を投入するポンプです。

■動力伝達部

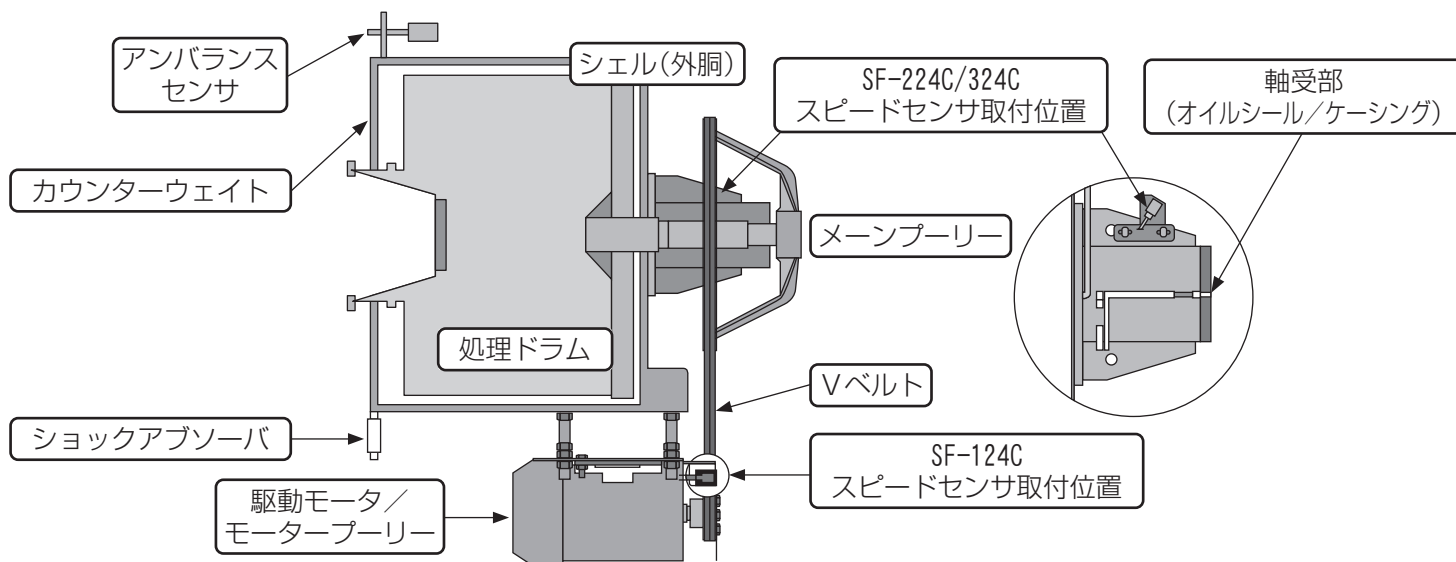


警告

- 回転部につき、巻き込まれの危険性があります。
- ▶ 回転中は手を入れないこと

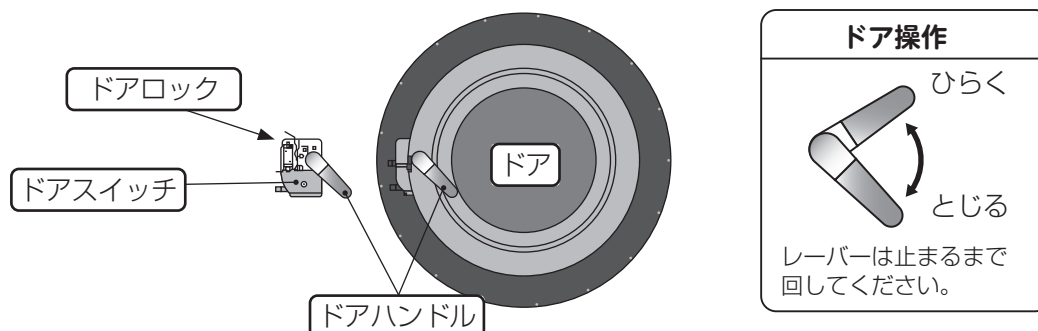


禁止



・アンバランスセンサ	：	ドラム回転で異常を検知した場合、安全にドラムを止める装置です。
・シェル (外胴)	：	ドラムの外胴です。
・カウンターウェイト	：	シェルの振動振幅を抑制するためのウェイトです。
・処理ドラム	：	洗濯または乾燥する衣類を入れるステンレス製のドラムです。
・ショックアブソーバ	：	シェルの振動振幅を抑制するアブソーバです。
・メーンプーリー	：	Vベルトでドラムを回転させるプーリーです。
・軸受部 (オイルシール/ケーシング)	：	ドラムシャフトを保護するオイルシール、ベアリングが収納されているケースです。
・スピードセンサ	：	ドラムの回転数を検出する装置です。
・駆動モータ	：	低速から高速回転をインバータ (周波数) にて行うモータです。


■ドアフロント部



・ドアハンドル	：	ドアを開閉するハンドルです。
・ドアロック	：	ドアロックは機械運転中、またはドラム内に高水位まで水が入っている場合にドアロックします。
・ドアスイッチ	：	ドアフロントの開閉を確認するスイッチで、ドアを閉めると自動運転が可能になります。 注意 … ドアハンドルの動作が不完全な場合、ドアスイッチが作動せず、機械が運転できない場合があります。


■熱風循環部

●ワッシャー上部に接続した部分で、乾燥工程時の温風回路です。洗濯物より蒸発した水分を排出します。

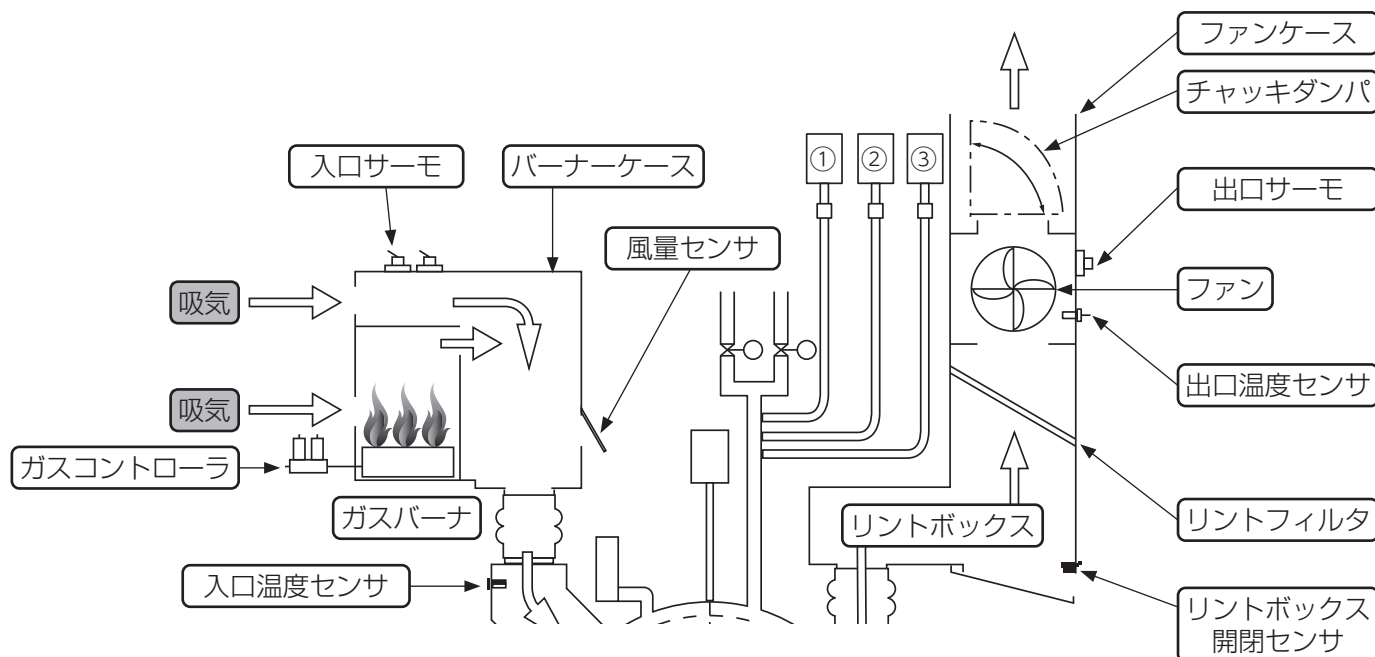


警告

● 火傷の危険性があるので触らないでください。



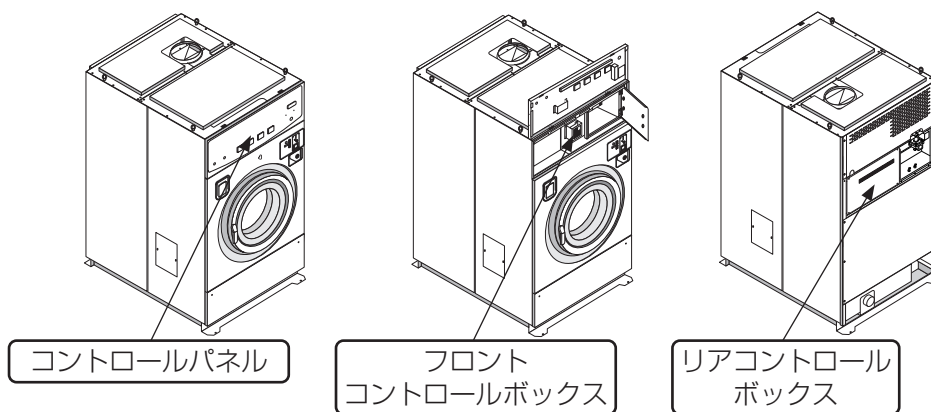
禁止



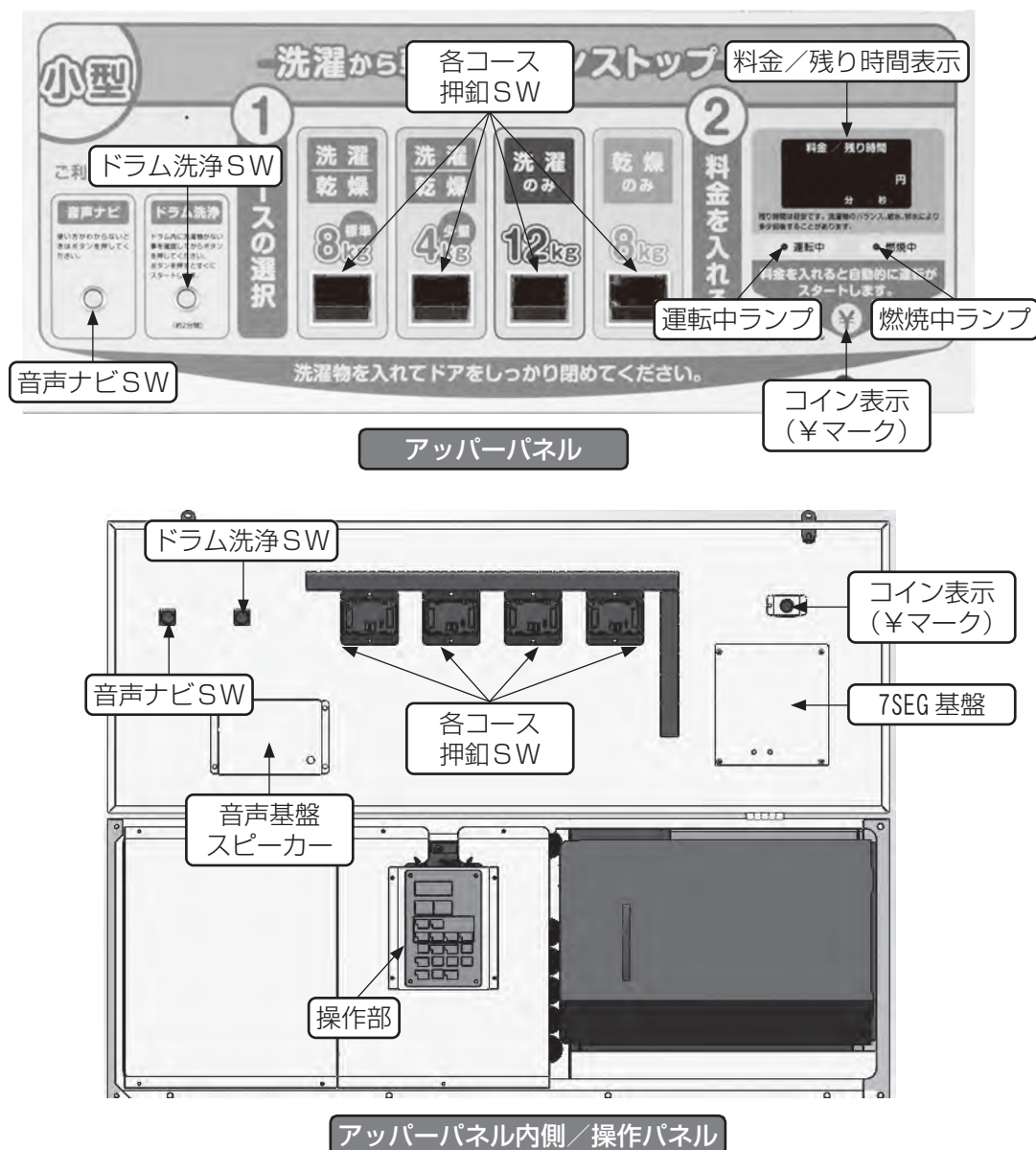
・リントボックス/リントフィルタ	洗濯物を乾燥させた空気はファンにより吸い込まれ、移動されます。この空気には洗濯物より出る「糸くず」などを含んでいますので、これを除去回収する箱およびフィルタです。
・リントボックス開閉センサ	リントボックスの開閉を検知するセンサです。
・入口温度センサ	乾燥風温度の変化を検出するセンサです。
・ガスコントローラ	ガスバーナの着火をコントロールするための基板です。
・ガスバーナ	本機の乾燥熱源です。外部空気をバーナで加熱し、加熱後ドラム内にファンにより吹込み洗濯物を乾かします。
・バーナーケース	ガスバーナ、インナーバーナケースを収納してある箱です。
・サーモスタット	異常燃焼を検知する安全装置です。
・チャッキダンパ	一方向しか風を通さない逆流防止ダンパです。
・出口温度センサ	乾燥風温度の変化を検出するセンサです。
・ファン/ファンモータ	ファンモータ用のインバータの指令によりファンを回転させ、乾燥風ダクト経路に空気の流れを作りだします。
・ファンケース	外部へ排気するファンを収納してある箱です。
・風量センサ	ファンが動作すると検知する安全装置です。このセンサが作動しないとガスバーナの着火はしません。

■電気制御部

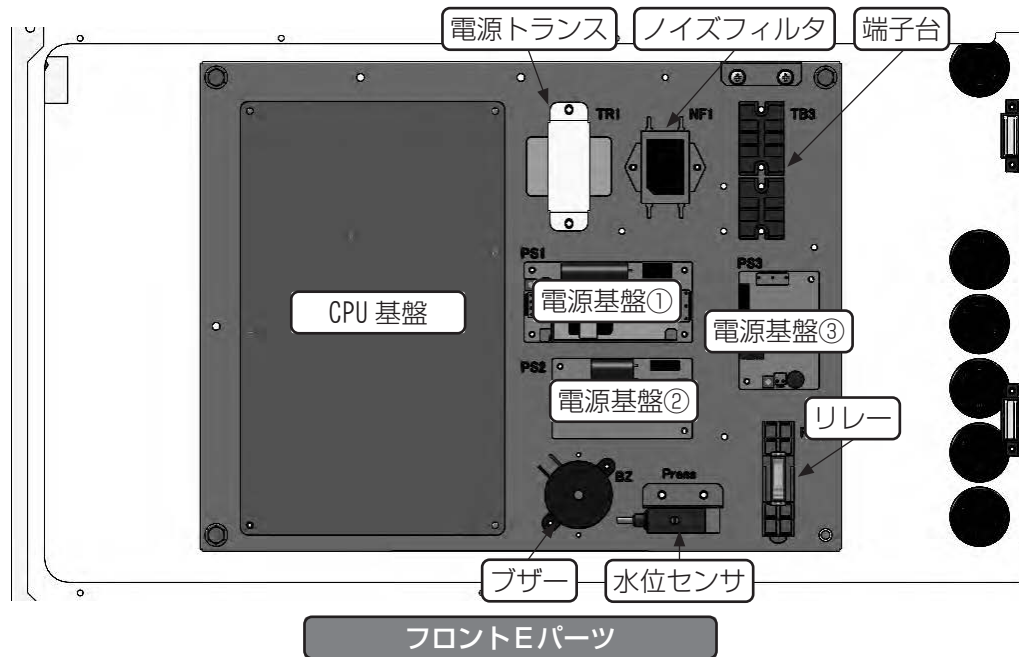
・コントロールパネル	:	機械の動きを目的通りに作動させるため、機械の動作状態を監視し運転、停止などをする装置を配列してある盤です。(操作パネル)
・フロントコントロールボックス	:	機械の動きを目的通りに作動させるための電装部品を収納してある箱です。(CPUユニット・電源ユニット)
・リアコントロールボックス	:	機械の動きを目的通りに作させるための電装部品を収納してある箱です。(リレーユニット・INVユニット)



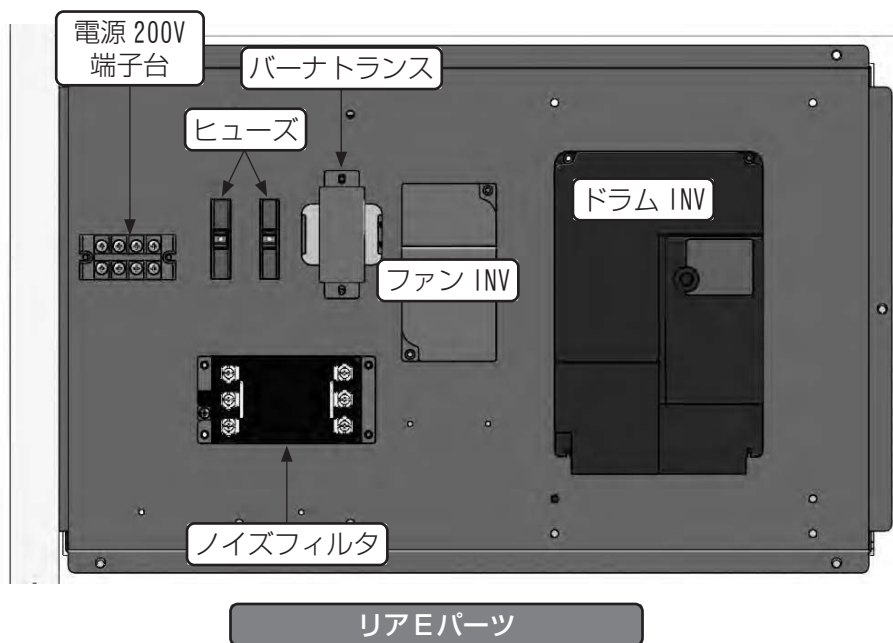
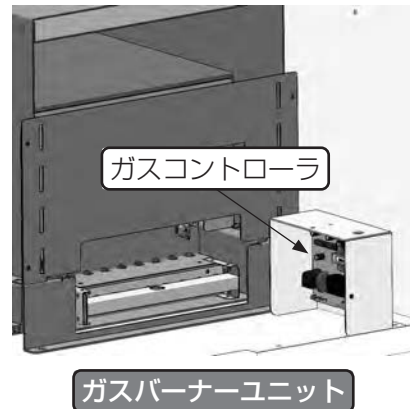
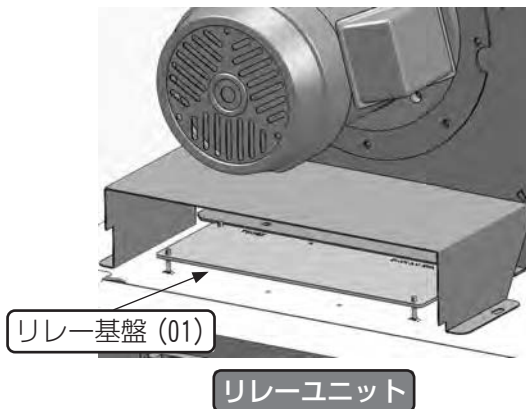
●コントロールパネル



●フロントコントロールボックス



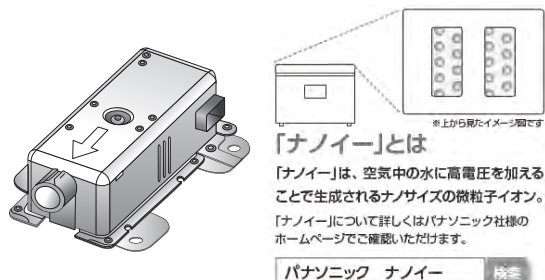
●リアコントロールボックス



5.2 「ナノイーX」ユニットについて

「ナノイーX」とは、空気中の水分から生み出される微粒子イオンです。
ドラム内に「ナノイーX」を放出します。

「ナノイーX」技術によって、●付着したニオイを脱臭^{*1}・花粉^{*2}・カビ菌^{*3}・ウイルス^{*4}・菌^{*5}を抑制
(「ナノイーX」デバイスの検証結果です)



「ナノイー」とは

「ナノイー」は、空気中の水に高電圧を加えることで生成されるナノサイズの微粒子イオン。「ナノイー」について詳しくはパナソニック社様のホームページでご確認ください。

パナソニック ナノイー 検査

※ 交換目安は「18000 時間」です。

例：1 日 8 時間稼働の場合 交換目安… [5 年]
例：24 時間稼働の場合 交換目安… [2 年]

- ★1：実使用空間での実証効果ではありません。約23m³空間での約12分後の効果です。^{*1}
- ★2：実使用空間での実証効果ではありません。約23m³空間での約2時間後の効果です。^{*2}
- ★3：実使用空間での実証効果ではありません。約23m³空間での約2時間後の効果です。^{*3}
- ★4：実使用空間での実証効果ではありません。約25m³空間での約2時間後の効果です。^{*4}
- ★5：実使用空間での実証効果ではありません。約23m³空間での約2時間後の効果です。^{*5}

※1：【試験機関】パナソニック(株)プロダクト解析センター【試験方法】試験室(約23m³)において6段階臭気強度表示法により検証【脱臭の方法】「ナノイー」を放出【対象】付着したタバコ臭【試験結果】12分で臭気強度2.4低減 ※2：(スギ)【試験機関】パナソニック(株)プロダクト解析センター【試験方法】試験室(約23m³)において布に付着させたアレルギー物質をELISA法で測定【抑制の方法】「ナノイー」を放出【対象】花粉(スギ)【試験結果】8時間で97%以上抑制、24時間で99%以上抑制(4AA33-151001-F01) ※3：【試験機関】(一財)日本食品分析センター【試験方法】試験室(約23m³)において布に付着カビ菌の発育を確認【抑制の方法】「ナノイー」を放出【対象】付着したカビ菌【試験結果】8時間で抑制効果を確認(第13044083002-01号)試験報告書発行日：2013年6月14日 ※4：【試験機関】(一財)日本食品分析センター【試験方法】試験室(約25m³)において布に付着させたウイルス感染菌を測定【抑制の方法】「ナノイー」を放出【対象】付着したウイルス【試験結果】8時間で99%以上抑制。第13001265005-01号 試験報告書発行日：2013年2月11日(試験は1種類のみのウイルスで実施) ※5：【試験機関】(一財)日本食品分析センター【試験方法】試験室(約23m³)において布に付着させた菌数を測定【抑制の方法】「ナノイー」を放出【対象】付着した菌【試験結果】8時間で99%以上抑制(第13044083003-01号)試験報告書発行日：2013年8月14日(試験は1種類のみの菌で実施)

オーナー向け

※「ナノイー X」は、「ナノイー」の10倍の量のOHラジカルを含む微粒子イオンです。 ※「nanoe」「ナノイー」および「nanoe」マークは、パナソニック株式会社の商標です。

- ソフトリンクル中または、ドアが開いている状態でも「ナノイーX」は発生します。
- 運転中、エラー発生時、遠隔操作で機械を調整中にした場合は、「ナノイーX」がOFFになります。
- 工場出荷時は、時刻 22 時～6 時まで「ナノイーX」発生装置が稼働します。

※ 「ナノイーX」が発生 / 終了する時間は、ユーザー設定モードにて変更可能です。

■ 「ナノイーX」発生装置 開始 / 終了時間設定
「ナノイーX」発生装置の開始時間、終了時間の設定を変更できます。

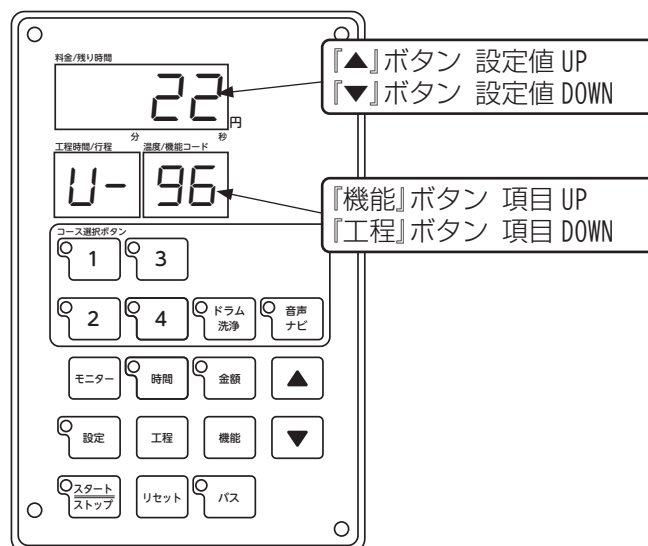
● 設定変更方法

- ▶ アッパーパネル開き、操作部で変更します。

項目	設定値	「ナノイーX」発生開始 / 終了時間
U-96	0～23	「ナノイーX」開始時間 0～23 時
U-97	0～24	「ナノイーX」終了時間 0～24 時

(工場出荷時の設定値は U-96 22 / U-97 6 です)

※ 22 時～6 時に「ナノイーX」が発生する設定です。



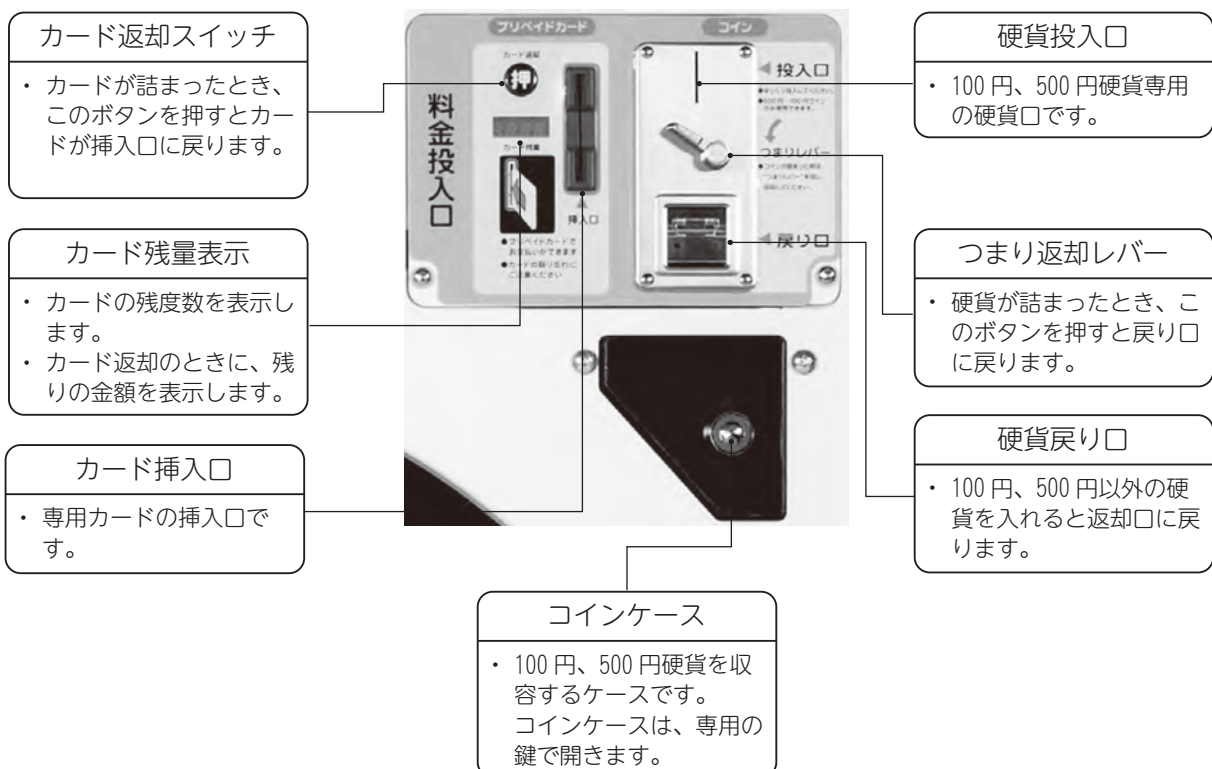
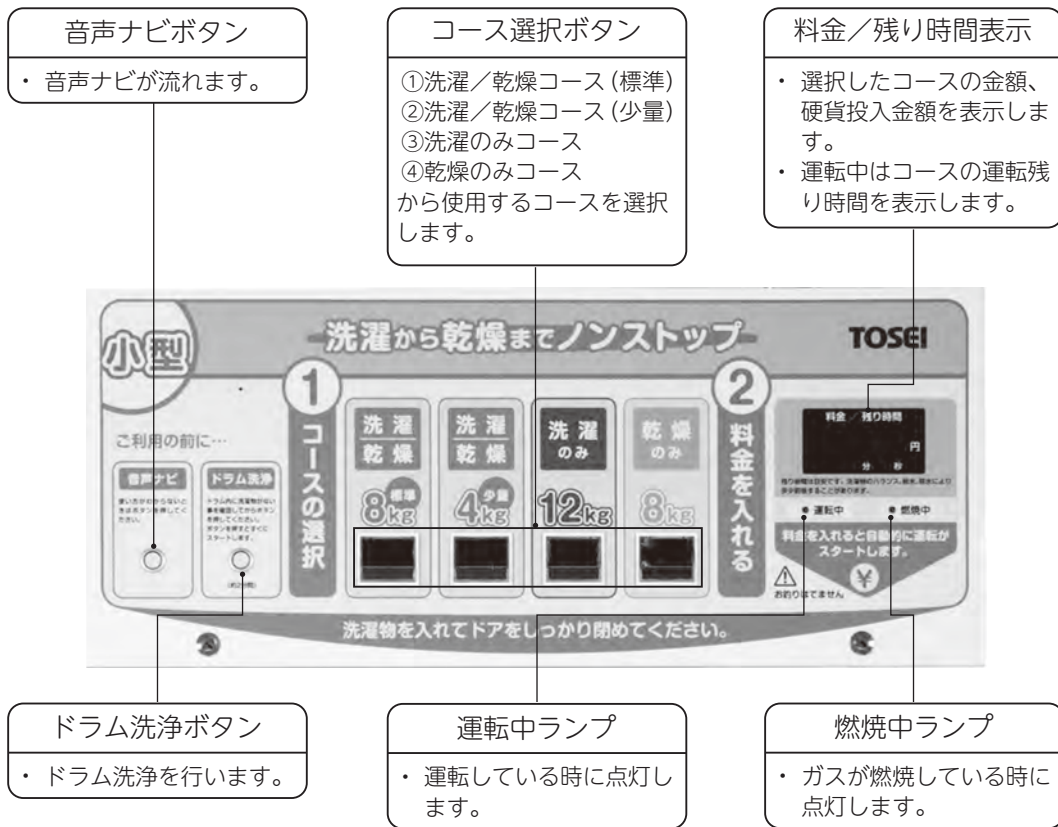
- ①『モニター』ボタンと『設定』ボタンを同時に3秒以上長押しし、ユーザー設定モードに入ります。
- ②『機能』ボタンまたは『工程』ボタンを押し、項目を『96』または『97』にします。
- ③『▲』ボタン、『▼』ボタンを押し、設定値を変更します。
- ④設定変更後、『設定』ボタンを1回押し、設定を終了します。

6

運転操作方法

6.1 運転操作方法

① 表示部・操作部の説明 (例 SF-124C)



(1) 音声ナビボタン

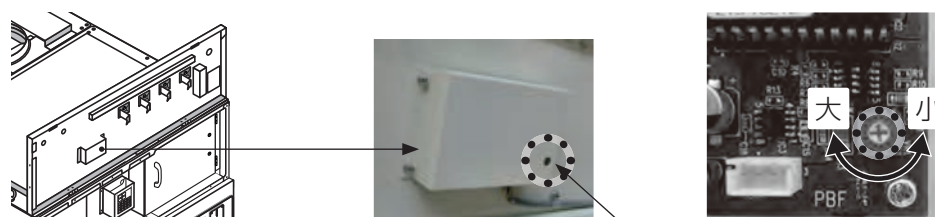


- 使い方がわからないとき、音声で操作説明するボタンです。音声ナビボタンを押すと、使用状況に応じた音声ガイダンスが流れます。

※ 音声繰り返しパターンを変更できます。
(工場出荷時は音声終了 60 秒後に 1 回繰り返します。)
P46 ③音声ナビ使用方法を参照してください。

●音声ナビ音量変更

アップパネルを開け、丸穴部にプラスドライバを差し込み、音声ボリュームを回して調整できます。



※ 音声ボリューム調整をする場合は必ず機械本体の電源を切ってから行ってください。

(2) ドラム洗浄ボタン



- 洗濯の前にドラムを 2 分間洗います。

※ ドラム洗浄の使用回数を変更できます。
(工場出荷時は 2 回使用できます。)
P47 ④ドラム洗浄使用方法を参照してください。

(3) コースボタン

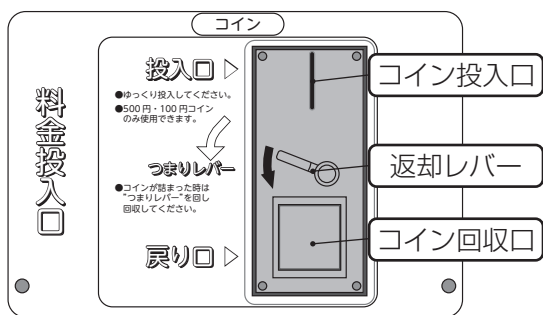


(例) SF-124C の標準プログラム

	予洗	本洗	スギ①	スギ②	スギ③	脱水	乾燥	冷却	合計
1 コース	—	●	●	●	—	●	●	●	900 円
洗濯 / 乾燥 8kg	→	6 分	3 分	2 分	→	8 分	29 分	1 分	60 分
2 コース	—	●	●	●	—	●	●	●	700 円
洗濯 / 乾燥 4kg	→	5.5 分	2 分	1.5 分	→	8 分	21 分	1 分	50 分
3 コース	—	●	●	●	—	●	—	—	600 円
洗濯 12kg	→	6 分	3 分	2 分	→	8.5 分	→	1 分	30 分
4 コース	—	—	—	—	—	—	●	●	100 円
乾燥 8kg	→	→	→	→	→	→	11 分	1 分	12 分

- 洗濯乾燥コース（標準）、洗濯乾燥コース（少量）、洗濯コース、乾燥コースの4つのコースから、使用するコースを選択します。

(4) コインセレクタ (標準仕様)

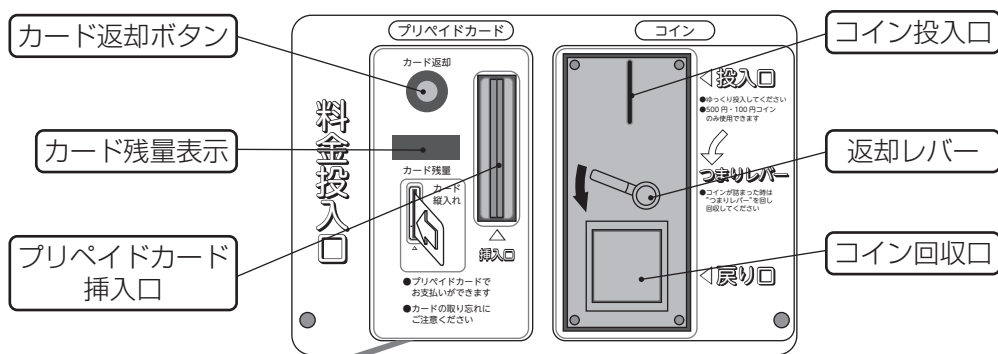


- 金銭の投入装置で 100 円および 500 円が投入できます。
- ・ コースを選択し、表示している金額分硬貨を投入すると自動的に運転を開始します。
『使用できる硬貨は 100 円と 500 円です。』
- ・ 乾燥コースは 100 円硬貨のみ使用できます。
- ・ 乾燥コースを運転中に 100 円硬貨を投入すると、100 円分乾燥時間が延長します。

例：SF-124C 乾燥コース運転中、100 円分追加し、乾燥時間を 12 分延長した場合
乾燥時間 23 分 (11 分 + 12 分延長) + 冷却時間 1 分 = 運転時間 24 分

※ つり銭は出ませんのでご注意ください。

(5) プリペイドカード仕様 (オプション)



- 専用のプリペイドカード投入装置です。
- ・ プリペイドカードを投入すると、自動的にカード残量よりコースの金額分差し引き、運転を開始します。
- ・ カードの返却前にカード残量表示にカードの残額を表示します。
- ・ コインセレクタも並行してご使用になれます。
- ・ 乾燥コースを運転中にプリペイドカードを投入すると、100 円分乾燥時間が延長します。

例：SF-124C 乾燥コース運転中、100 円分追加し、乾燥時間を 12 分延長した場合
乾燥時間 23 分 (11 分 + 12 分延長) + 冷却時間 1 分 = 運転時間 24 分

※ 使用できるカードは専用のプリペイドカードです。

(6) コインレス仕様 (オプション)



- コインレス仕様の機械については、集中精算機 (TSC-100) にて料金をお支払いください。

② お客様の使用方法

(1) 準備

- 先ず洗濯物を入れてドアを
しっかり閉めてください
●ここで洗剤等を入れないでください
洗剤・ソフト剤は自動投入されます



- ドラム洗浄を行う場合
 - ・ドラム洗浄ボタンを押すと洗濯の前にドラムを約2分間のドラム洗いを行います。
(ドラム洗浄ボタンが点灯)

- ▶ ドアを開けてください。
 - ◆洗濯物をいれてドアを閉めてください。

補 足

- ▶洗濯物のない事を確認してからボタンを押してください。

(2) コース選択



- ▶コースボタンを押すと、投入金額を表示します。
 - ◆選択したコースランプが点灯し、コインを投入できます。
 - ◆硬貨を投入するまではコースを変更できます。

(3-1) 料金投入 (標準/プリペイドカード仕様)

料金投入口にてお支払い願います

！ご注意

- 投入したコインは戻りません
コインの場合、ピッタリの
金額を入れてください
- お釣りは出ません
- 料金投入後のコース変更は
出来ません
投入後、自動的に運転が
スタートとなります

- ▶500円と100円硬貨を使用できます。
それ以外の硬貨は返却されます。
 - ◆乾燥コースの場合、100円硬貨のみ使用可能です。
 - ・投入した金額が加算され表示します。
 - ・指定金額まで投入しますと自動的に運転を始めます。
 - ◆乾燥コース運転中に100円硬貨またはプリペイドカードを投入すると、
100円分、乾燥時間を延長します。

(3-2) 料金投入 (コインレス仕様)



- ▶コインレス仕様の機械については、集中精算機 (TSC-100) にて料金をお
支払いください。

(4) 終了

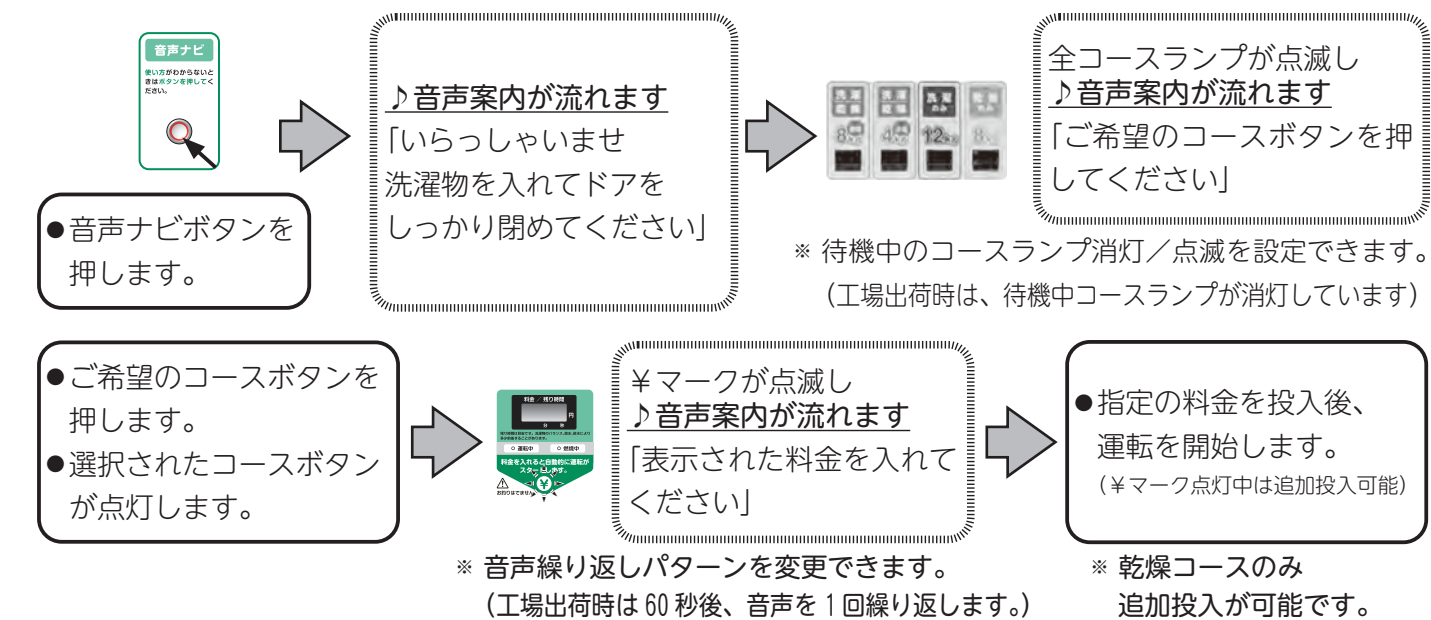
運転終了後、
洗濯物を取り出して
ください



- ▶表示時間が「End」になりましたら「ブザー」で終了を知らせます。
- ▶ドアを開いて洗濯物を取り出してください。

③ 音声ナビ使用方法

■ 音声ナビ操作手順



■ 待機中コースランプ点滅設定

待機中コースランプ消灯／点滅の設定ができます。

項目	設定値	コースランプ点滅
U-86	0	コースランプ消灯
U-86	1	コースランプ点滅

(U-86 0 が工場出荷設定です。)

※ 待機中にコースランプが消灯する設定です。



コースランプ点滅に設定を変更すると、待機中にコースランプが点滅します。

■ 音声繰り返しパターン設定

音声ナビボタンを押し、♪ 音声発声後に操作が行われなかった場合の音声繰り返しパターンの変更ができます。

- ♪ 「ご希望のコースボタンを押してください」
- ♪ 「表示された料金を入れてください」

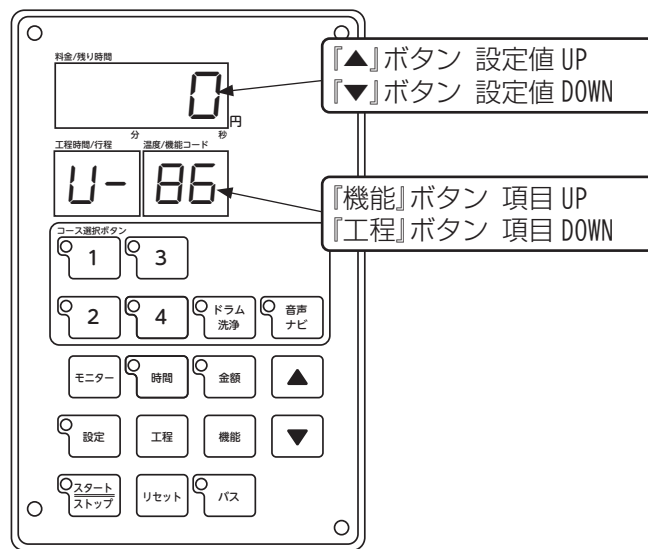
項目	設定値	音声繰り返しパターン
U-87	0	繰り返しなし
U-87	1	発生 60 秒後 ※ 1 回繰り返します
U-87	2	発生 40 秒後 ※ 2 回繰り返します
U-87	3	発生 30 秒後 ※ 3 回繰り返します

(U-87 1 が工場出荷設定です。)

※ 発生 60 秒後に音声を 1 回繰り返す設定です。

● 設定変更 (例)

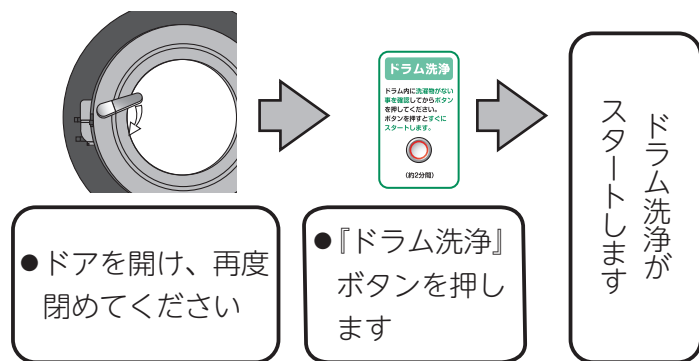
- ▶ アッパーパネルを開けて操作部にて変更します。



- ①『モニター』ボタンと『設定』ボタンを同時に 3 秒以上長押しし、ユーザー設定モードに入ります。
- ②『機能』ボタンまたは『工程』ボタンを押し、項目を『86』または『87』にします。
- ③『▲』ボタン、『▼』ボタンを押し、設定値を変更します。
- ④設定変更後、『設定』ボタンを 1 回押し、設定を終了します。

④ ドラム洗淨使用方法

■ ドラム洗淨操作手順



※ ドアを開閉せずにドラム洗淨ボタンを押すと

♪ 音声ガイダンスが流れます

「洗濯物が入っていない事を確認しドアをしっかり閉めてください」

※ 既に使用回数分ドラム洗淨を行っているとき、または End 表示中に『ドラム洗淨』ボタンを押すと

♪ 音声ガイダンスが流れます

「現在ご利用できません」

※ ドラム洗淨の使用可能回数を変更できます。
(工場出荷時はドラムを 2 回洗淨できます)

■ ドラム洗淨使用回数設定

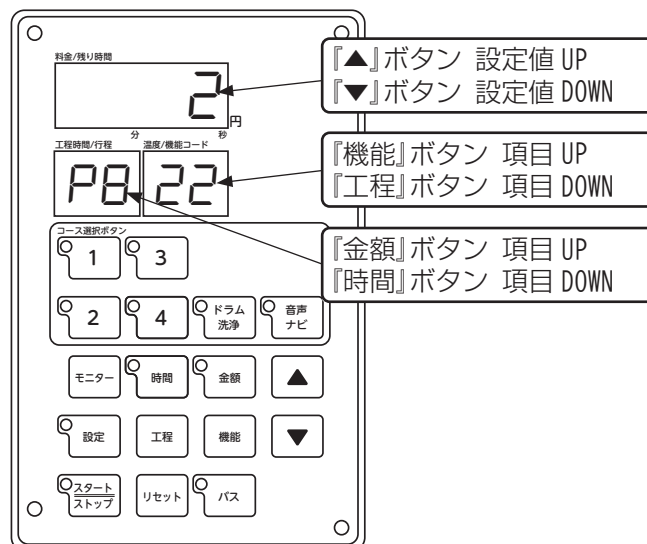
『ドラム洗淨』ボタンを押し、ドラム洗淨を行う回数を設定できます。

項目	設定値	ドラム洗淨有効回数
P8 22	0	0 回
P8 22	1	1 回
P8 22	2	2 回
P8 22	3	3 回
P8 22	4	4 回
P8 22	5	5 回
P8 22	6	6 回
P8 22	7	7 回
P8 22	8	8 回
P8 22	9	9 回
P8 22	10	10 回

(P8 22 2 が工場出荷設定です。)
※ ドラム洗淨を 2 回行える設定です。

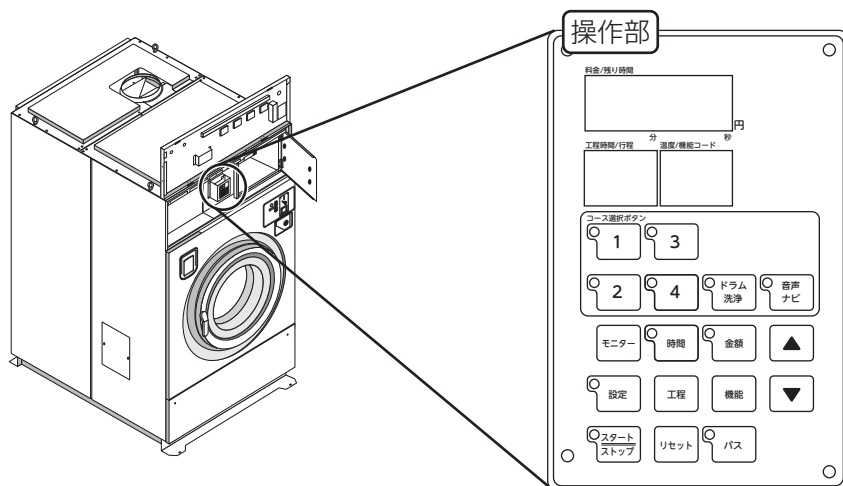
● 設定変更 (例)

- ▶ アッパーパネルを開けて操作部にて変更します。

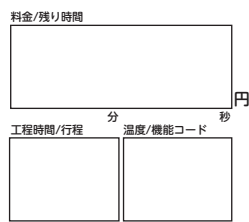


- ① 『モニター』ボタンと『設定』ボタンを同時に 3 秒以上長押しし、ユーザー設定モードに入ります。
- ② 『設定』ボタンを 10 秒以上長押しし、設定変更モードに入ります。
- ③ 『金額』ボタンまたは『時間』ボタンを押し、項目を『P8』にします。
- ④ 『機能』ボタンまたは『工程』ボタンを押し、項目を『22』にします。
- ⑤ 『▲』ボタン、『▼』ボタンを押し、設定値を変更します。
- ⑥ 設定変更後、『設定』ボタンを 1 回押し、設定を終了します。

6.2 オーナー様の操作設定方法

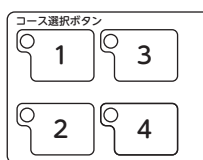


①表示ランプ



- 料金 / 残り時間表示は、待機中には「0」を表示し、コースを選択すると、選択したコースの金額を表示します。運転中は残り時間を表示します。機械停止中にドアを開けると「door」を表示します。運転終了時は「End」を表示します。設定モード中は、設定をする金額、時間、機能の設定値を表示します。エラー発生時は、エラーコードを表示します。
- 工程時間 / 工程表示は、待機中、運転中には工程時間を表示します。設定モード中は、工程ボタンを押すごとに工程 (L1 ~ C0) を表示します。
- 温度 / 機能コード表示は、待機中、運転中には洗濯温度または乾燥温度を表示します。設定モード中は、機能ボタンを押すごとに機能 (F1 ~ Cd) を表示します。

②コース選択ボタン



- オーナー操作時のコース選択ボタンです。待機中に、設定変更または運転する1コース～4コースを選択してください。

1 コース 洗濯乾燥コース (標準)	2 コース 洗濯乾燥コース (少量)
3 コース 洗濯のみコース	4 コース 乾燥のみコース

③ドラム洗浄ボタン



- ドラム洗浄を行うボタンです。ドラム洗浄ボタンを押すと、約2分間のドラム洗浄を使用可能回数分行うことができます。

※ ドラム洗浄の使用可能回数を変更できます。(工場出荷時は2回使用できます)
P47 ④ドラム洗浄使用方法を参照してください。

④音声ナビボタン



- 音声ナビを発声するボタンです。音声ナビボタンを押すと、使用状況に応じた音声ガイダンスが流れます。

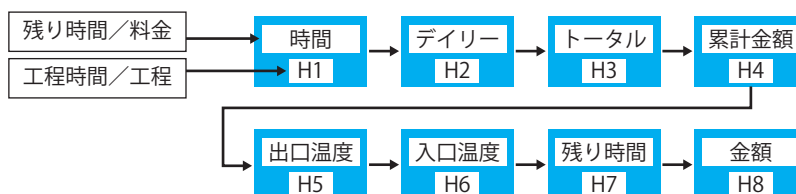
※ 音声繰り返しパターンを変更できます。
(工場出荷時は音声終了60秒後に1回繰り返します)
P46 ③音声ナビ使用方法を参照してください。

⑤モニターボタン

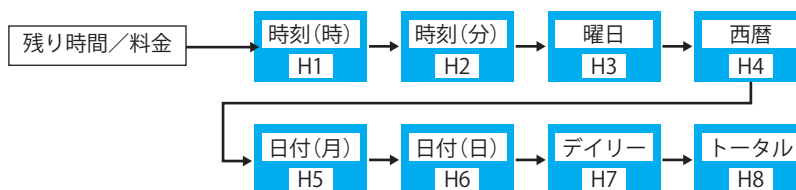
モニター

- オーナー操作時のモニターボタンです。
待機中、運転中、一時停止中にモニターボタンを押すと、押すごとに時刻→デイリー回数→トータル回数→累計金額→出口温度→入口温度→残り時刻→コース金額を表示します。
- 通常と設定モード中では、表示内容が異なります。
設定モード中にモニターボタンを押すと、押すごとに時刻(時)→時刻(分)→曜日→西暦→日付(月)→日付(日)→デイリー回数→トータル回数を表示し、設定を変更できます。

[通常]



[設定モード]



⑥時間ボタン

時間

- オーナー操作時の時間ボタンです。
- 時間ボタンを一回押すと(分)表示、もう一度押すと(秒)表示をします。
- 待機中、一時停止中に時間ボタンを押すと、選択している工程の時間を表示します
- 設定中に時間ボタンを押すと、選択している工程の工程時間を変更できます。
- 時間の増減は ▲(増) ▼(減)で行います。

⑦金額ボタン



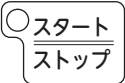




金額

- オーナー操作時の金額ボタンです。
- 設定モード中にこのボタンを押すと、選択したコースのコース金額を変更できます。
- 金額の増減は下記 ▲(増) ▼(減)で行います。

⑧設定ボタン

設定

- オーナー操作時の設定ボタンです。
- 待機中に設定ボタンを3秒以上長押しすることで、設定モードに入ることができます。
設定モードは、現在の時刻、コース金額、工程時間、機能の値などを変更できます。
設定モード中にこのボタンを押すと、変更した値を保存し、設定モードから待機中に戻ります。

<p>⑨工程ボタン</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●オーナー操作時の工程ボタンです。 ●待機中は、押すごとに工程が切り替わり、有効な工程を確認できます。 ●運転中、一時停止中にこのボタンを押すと、現在行われている工程を確認できます。 ●設定モード中は、工程ボタンを押すごとに、予洗 (L1) ~ 冷却 (Co) に工程が切り替わります。 <p>※ パスされている工程は、パスボタンの赤ランプが点灯します</p>
<p>⑩機能ボタン</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●オーナー操作時の機能ボタンです。 ●設定モード中に機能ボタンを押すごとにモード (F1) ~ 中間脱水時間 (Cd) に機能が切り替わり、設定値を変更できます。 ●設定値の増減は ▲(増) ▼(減) で行います。
<p>⑪スタート / ストップボタン</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●オーナー操作時のスタート / ストップのボタンです。 ●待機中にスタート / ストップボタンを押すと、選択しているコースの運転を開始します。 ●運転中にスタート / ストップボタンを押すと運転を一時停止します。 ●一時停止中にスタート / ストップボタンを押すと運転を再開します。
<p>⑫リセットボタン</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●オーナー操作時のリセットボタンです。 ●一時停止中にリセットボタンを押すと、待機中に戻ります。 ●待機中にリセットボタンを押すと、ドラム洗浄の使用可能回数が0に戻ります。 ●時刻などの表示中にリセットボタンを押すと、待機中に戻ります。
<p>⑬パスボタン</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●オーナー操作時のパスボタンです。 ●待機中は、押すごとに工程が切り替わり、有効な工程を確認できます。 ●運転中、または一時停止中にパスボタンを押すと、現在行っている工程を省略し、パスされた次の工程を開始します。 ●設定モード中にパスボタンを押すと、工程のパスする / しないの切り替えを行います。 <p>※ パスされている工程は、パスボタンの赤ランプが点灯します。 ※ 設定モード時に、冷却工程 (Co) をパスすることはできません。</p>
<p>⑭変更ボタン</p>  	<ul style="list-style-type: none"> ●オーナー操作時の変更ボタンです。 ●設定モード中にこのボタンを押すと、時刻、各コースの金額、工程時間、機能の設定値などを変更できます。 ●設定値の増減は ▲(増) ▼(減) で行います。

6.3 日時の設定方法

通常モード中に、『設定』ボタンを3秒以上長押しすることで設定モードに入ります。

設定モード中に、『モニター』ボタンを押すことで、時刻、曜日、西暦、日付などの変更ができます。

①『設定』ボタンを3秒以上長押しします。

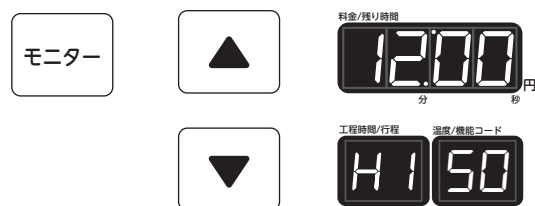
アッパーパネルを開き、操作部で変更します。



②『モニター』ボタンを1回押します。

料金 / 残り時間に、時刻を表示し、時刻 (時) 表示が点滅します。

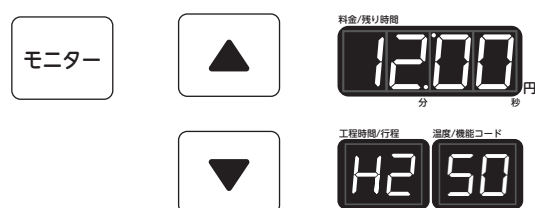
▲ボタン、▼ボタンで時刻 (時) を変更 (0時～23時 :24時間制)



③『モニター』ボタンを1回押します。

料金 / 残り時間に、時刻を表示し、時刻 (分) 表示が点滅します。

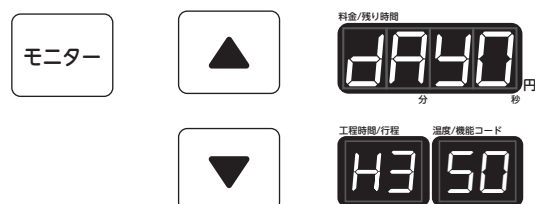
▲ボタン、▼ボタンで時刻 (分) を変更 (0分～59分)



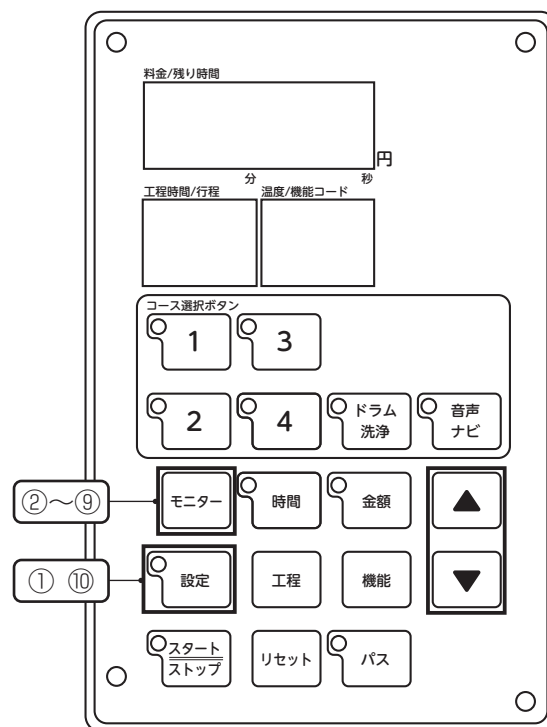
④『モニター』ボタンを1回押します。

料金 / 残り時間に、曜日表示します。

▲ボタン、▼ボタンで曜日を変更 (dAy0 : 日曜日～dAy6 : 土曜日)



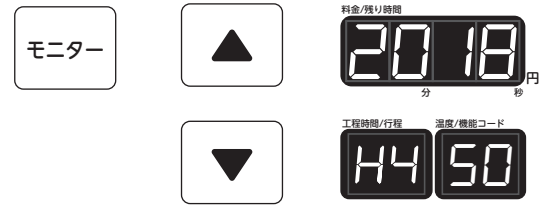
day	0	1	2	3	4	5	6
曜日	日	月	火	水	木	金	土



⑤『モニター』 ボタンを1回押します。

料金 / 残り時間に、西暦を表示します。

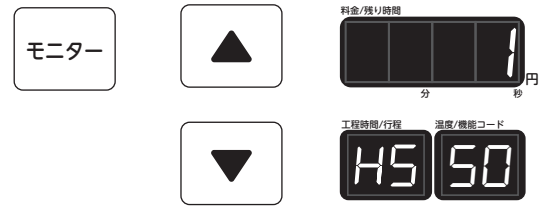
▲ボタン、▼ボタンで西暦を変更 (2000年～2099年)



⑥『モニター』 ボタンを1回押します。

料金 / 残り時間に、日付 (月) を表示します。

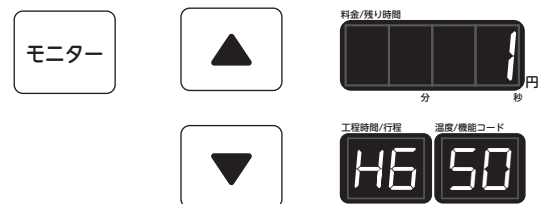
▲ボタン、▼ボタンで月を変更 (1月～12月)



⑦『モニター』 ボタンを1回押します。

料金 / 残り時間に、日付 (日) を表示します。

▲ボタン、▼ボタンで日を変更 (1日～31日)

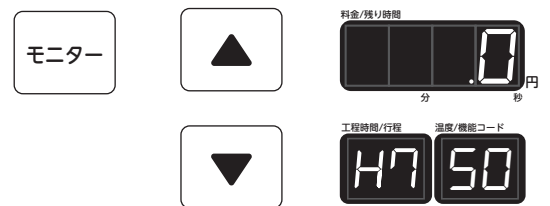


⑧『モニター』 ボタンを1回押します。

料金 / 残り時間に、デイリー回数を表示します。

※ パスボタンを押すとデイリー回数をクリアできます。

▲ボタン、▼ボタンでデイリー回数を変更 (0回～99回)

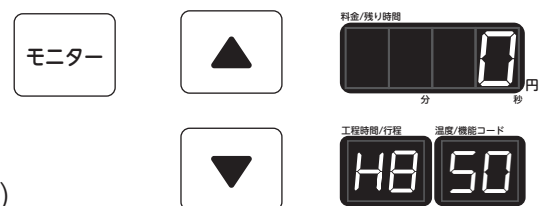


⑨『モニター』 ボタンを1回押します。

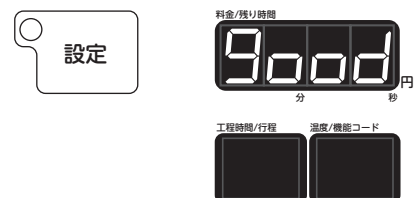
料金 / 残り時間に、トータル回数を表示します。

※ パスボタンを押すとトータル回数をクリアできます。

▲ボタン、▼ボタンでトータル回数を変更 (0回～9999回)



⑩設定変更後、『設定』 ボタンを押し、設定を終了します。



6.4 1～3コースの金額、4コースの運転時間変更方法

1～4コースボタンに1～3コースの金額、4コースの運転時間を表示します。

1～3コースの金額、4コースの運転時間を変更すると、

1～4コースボタンに表示される金額または運転時間が、設定した値に変更します。

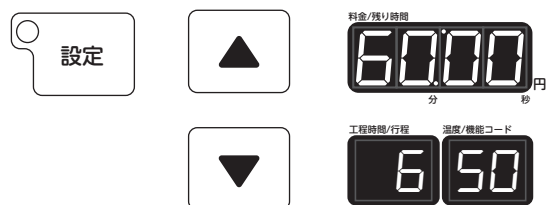
■ 1～3コースの金額変更方法

アッパーパネルを開き、操作部で変更します。

①『1コース～3コース』ボタンを押し、コースを選択します。



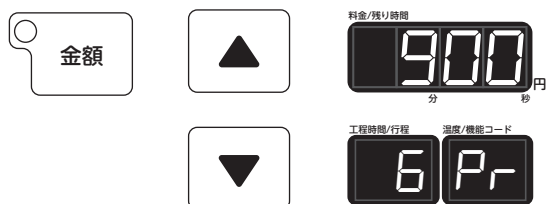
②『設定』ボタンを3秒以上長押しします。



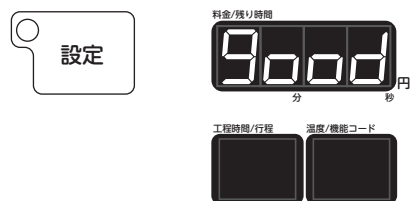
③『金額』ボタンを押します。

料金 / 残り時間に、コースの金額を表示します。

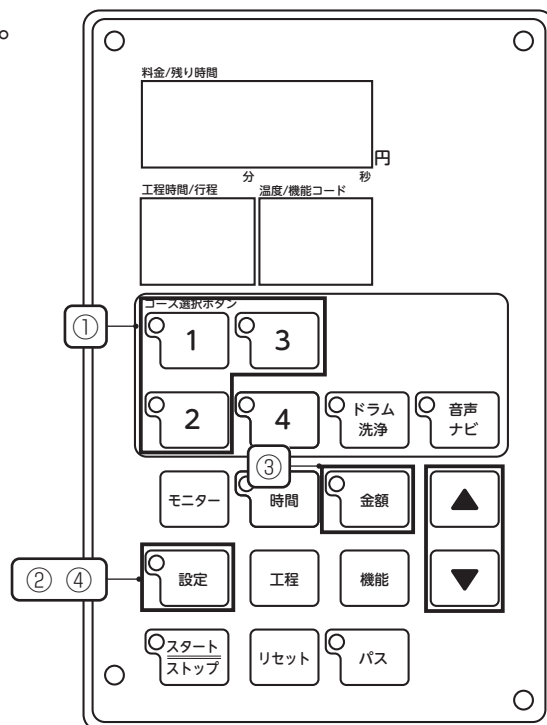
▲ボタン、▼ボタンで金額を変更 (100円～9900円)



④設定変更後、『設定』ボタンを押し、設定を終了します。



⑤コースボタンの表示が、設定した金額に変更します。



■ 4 コースの金額変更方法

①『4 コース』 ボタンを押し、4 コースを選択します。



②『設定』 ボタンを3秒以上長押しします。



③『時間』 ボタンを押しします。

工程時間 / 工程に、乾燥工程の工程時間 (分) を表示します。

▲ボタン、▼ボタンで時間 (分) を変更
(1分00秒～99分59秒)

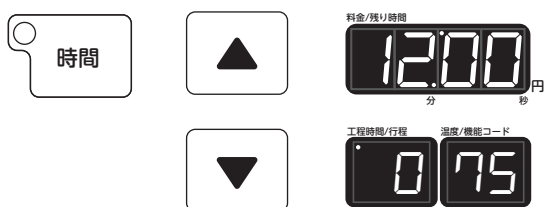


④『時間』 ボタンを押しします。

工程時間 / 工程に、乾燥工程の工程時間 (秒) を表示します。

(秒) 数字の左上に点を表示します。

▲ボタン、▼ボタンで時間 (秒) を変更 (1分00秒～99分59秒)

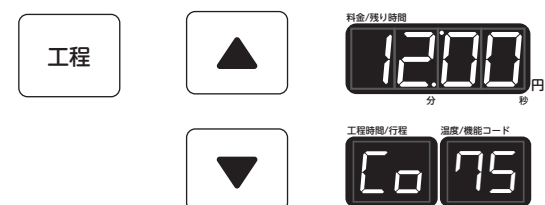


※ 時間 (秒) の変更で▲ボタン、▼ボタンで数値変更の際、▲ボタンを押し続けて59を上回ると、時間 (分) の単位がくり上がります。

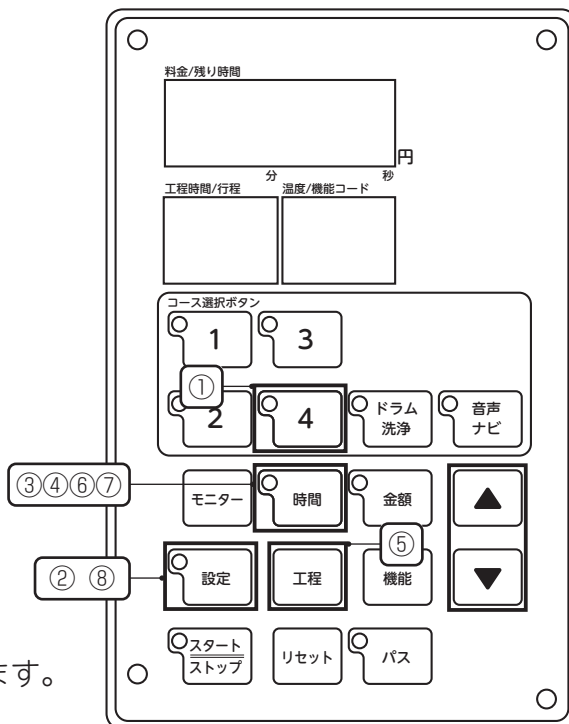
また、▼ボタンを押し続けて0を下回ると、時間 (分) の単位がくり下がります。

⑤『工程』 ボタンを押しします。

工程時間 / 工程に、冷却工程 (Co) を表示します。



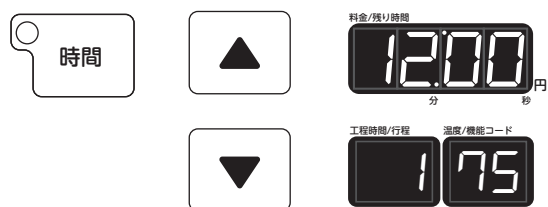
アップパネルを開き、操作部で変更します。



⑥『時間』ボタンを押します。

工程時間 / 工程に、冷却工程の工程時間 (分) を表示します。

▲ボタン、▼ボタンで時間 (分) を変更 (1分00秒～20分00秒)

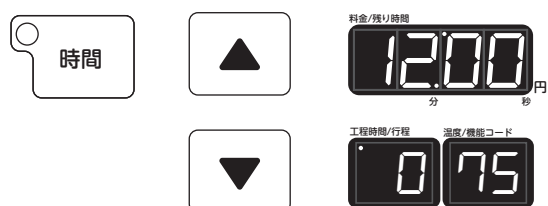


⑦『時間』ボタンを押します。

工程時間 / 工程に、冷却工程の工程時間 (秒) を表示します。

(秒) 数字の左上に点を表示します。

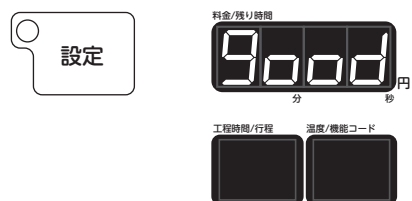
▲ボタン、▼ボタンで時間 (秒) を変更 (1分00秒～20分00秒)



※ 時間 (秒) の変更で▲ボタン、▼ボタンで数値変更の際、▲ボタンを押し続けて59を上回ると、時間 (分) の単位がくり上がります。

また、▼ボタンを押し続けて0を下回ると、時間 (分) の単位がくり下がります。

⑧設定変更後、『設定』ボタンを押し、設定を終了します。

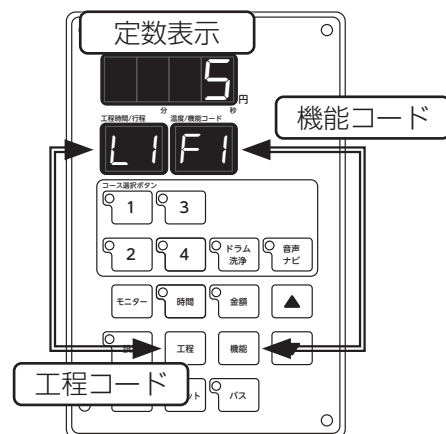


⑨コースボタンの表示が、設定した運転時間に変更します。



6.5 機能ボタンの設定方法

- ①工程コードの設定は設定ボタンを3秒間長押しした後、工程ボタンを押してください。
工程時間 / 工程表示に工程コードが表示されます。
- ②機能コードの設定は『設定』ボタンを3秒間長押しした後、『機能』ボタンを押してください。
温度 / 機能コードに機能コードが表示されます。



設定 コースを選んだ後、『設定』ボタンを3秒間長押しし、設定モードに入ってください。修正を終了後、『設定』ボタンを押して、設定モードを終了してください。

工程コード	機能コード												
	ドラム回転	水位	洗回転	脱回転	温水	温度	排水	ソーフ 1	ソーフ 2	ソーフ 3	ソフト剤	中脱時間	
	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	c1	c2	c3	So	Cd	
予洗	普	4	4	1	水	50℃	回転	無し	無し	無し	無し	60秒	
L1	5	4	4	1	0	50	0	0	0	0	0	60	
本洗	普	2	2	遅	水	50℃	回転	5.5秒	無し	無し	無し	120秒	
L2	5	2	2	1	0	50	0	5.5	0	0	0	120	
すすぎ1	普	3	3	遅	水	50℃	回転	無し	無し	無し	無し	60秒	
L3	5	3	3	1	0	50	0	0	0	0	0	60	
すすぎ2	普	2	2	遅	水	50℃	回転	無し	無し	無し	5.5秒	60秒	
L4	5	2	2	1	0	50	0	0	0	0	5.5	60	
すすぎ3	普	2	2	遅	水	50℃	回転	無し	無し	無し	無し	60秒	
L5	5	2	2	1	0	50	0	0	0	0	0	60	
脱水	----	----	----	速	----	----	----	----	----	----	----	----	
SP				5									
乾燥	正	----	3	----	----	70℃	----	----	----	----	----	----	
dr	2		3			70							
冷却	正	----	3	----	----	----	----	----	----	----	----	----	
Co	2		3										
設	5 普通	5 高	5 普通	5 速		水温							
定	4 一方	4	4	4	1 温水	1 ~							
範	3 ソフト	3 中	3	3	0 水	90℃	1 停止						
囲	2 正逆	2	2	2			0 回転	0 ~	0 ~	0 ~	0 ~	1 ~	
	1 停止	1 低	1 低	1 遅		乾燥		59.5 秒	59.5 秒	59.5 秒	59.5 秒	599 秒	
				0= 無し		10 ~							
						75℃							

※ 上記表は、SF-124C 1コースの標準プログラムです。
※ 設定値の詳細については次ページを参照してください。

パス	●点灯=パスにする ○消灯=パスしない	時間	工程時間変更	金額	コース金額変更
		乾燥以外の工程	01:00 ~ 20:00 (分:秒)		
		乾燥工程	01:00 ~ 99:59 (分:秒)		100円 ~ 9900円

■ソフトリンクル（シワ防止機構）について

▶ 運転終了後（End表示中）、衣類等のしわ防止や蓄熱による発火のリスクを低減する為、一定間隔でドラムを回転させるソフトリンクル機能が付いています。ドアを開けると停止します。

※ 乾燥を終えた衣類は、速やかにドラム内より取り出してください。

■設定値 詳細

機能コード	項目	設定値	設定内容
---	時刻(時)	---	0時～23時
---	時刻(分)	---	0分～59分
---	曜日	dAy0	日曜日
		dAy1	月曜日
		dAy2	火曜日
		dAy3	水曜日
		dAy4	木曜日
		dAy5	金曜日
		dAy6	土曜日
---	西暦	---	2000年～2099年
---	日付(月)	---	1月～12月
---	日付(日)	---	1日～31日
---	デイリー回数	---	0回～99回
---	トータル回数	---	0回～9999回
---	設定金額 Pr	---	100円～9900円
---	工程時間	---	01分00秒～20分00秒 (L1～L5、SP、Co)
			01分00秒～99分59秒 (dr)
F1	ドラム回転	1	停止洗い
		2	正逆回転
		3	ソフト洗い
		4	一方回転
		5	普通洗い
F5	温水	0	水のみ
		1	水+温水
F6	温度	---	1℃～90℃ (洗濯温度)
		---	10℃～75℃ (乾燥温度)
F7	排水	0	回転排水
		1	停止排水
C1	ソープ1 (No.1ポンプ)	---	0.0秒～59.5秒
C2	ソープ2 (No.3ポンプ)	---	0.0秒～59.5秒
C3	ソープ3	---	0.0秒～59.5秒
So	ソフト剤 (No.2ポンプ)	---	0.0秒～59.5秒
cd	中脱時間	---	1秒～599秒

■機種ごとに設定内容が異なる機種

機能コード	項目	設定値	SF-124C	SF-224C	SF-324C
F2	水位 (水量)	1	80mm(約19ℓ)	100mm(約33ℓ)	110mm(約44ℓ)
		2	115mm(約29ℓ)	135mm(約46ℓ)	150mm(約64ℓ)
		3	150mm(約39ℓ)	170mm(約62ℓ)	190mm(約85ℓ)
		4	185mm(約51ℓ)	205mm(約78ℓ)	230mm(約108ℓ)
		5	220mm(約63ℓ)	240mm(約94ℓ)	270mm(約132ℓ)
F3	洗濯回転 (乾燥回転)	1	44rpm (53rpm)	37rpm (45rpm)	39rpm (45rpm)
		2	46rpm (55rpm)	39rpm (47rpm)	41rpm (47rpm)
		3	48rpm (57rpm)	41rpm (49rpm)	43rpm (49rpm)
		4	50rpm (59rpm)	43rpm (51rpm)	47rpm (51rpm)
		5	52rpm (61rpm)	45rpm (53rpm)	49rpm (53rpm)
F4	脱水回転	0	脱水なし		
		1	600rpm	550rpm	500rpm
		2	700rpm	650rpm	600rpm
		3	750rpm	680rpm	650rpm
		4	800rpm	730rpm	700rpm
		5	850rpm	770rpm	730rpm

6.6 プログラム設定方法

■ 1 コースに予洗工程の追加

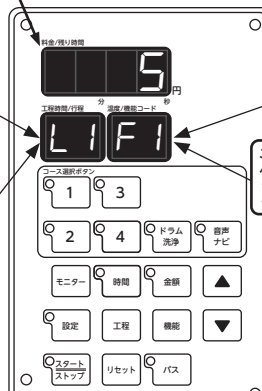
変更工程	工程表	変更
予洗工程の追加	L1	予洗工程の追加

工程表

表示	内容
L1	予洗
L2	本洗
L3～L5	すすぎ
SP	脱水
dr	乾燥
Co	冷却

工程と工程時間です

料金と残り時間です



温度と機能コードです

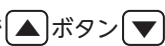
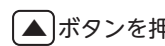

機能コード表

表示	内容
F1	ドラム回転
F2	水位
F3	洗い回転
F4	脱水回転
F5	温水
F6	温度
F7	排水
C1～C3	ソープ
So	ソフト剤
Cd	中脱時間

赤ランプ (LED) 表示

状態	表示
点灯	●
点滅	●
消灯	○

操作方法 (例)	ボタン操作	表示内容
① コース選択ボタンの『1』を押します	赤ランプが点灯します 	1 コースの金額を表示します 
② 『設定』 ボタンを <u>3 秒間</u> 長押しします	赤ランプが点滅します 	全工程の時間を表示します 
③ 『工程』 ボタンを押し、工程を『L1』にします ・『工程』 ボタンを押すごとに工程が『L1』～『Co』と切り変わります	赤ランプが点滅します 	変更する工程を選びます 
④ 『時間』 ボタンを押します ・分表示が点滅します (デフォルトは 2 分 30 秒です) ・  ボタン、  ボタンで数値変更	赤ランプが点滅します 	数字が点滅します 
⑤ 『時間』 ボタンを押します ・秒表示が点滅します (デフォルトは 2 分 30 秒です) ・  ボタン、  ボタンで数値変更	赤ランプが点滅します 	(秒) 数字の左上に点が出ます 
⑥ ・『パス』 ボタンの赤ランプが点灯しているとプログラムした工程を省略します。	赤ランプが点灯します 	
⑦ ・工程を追加するときは、『パス』 ボタンを押し、赤ランプを消灯させてください。	赤ランプが消灯します 	
⑧ 『設定』 ボタンを押します ・設定終了です	赤ランプが消灯します 	設定終了です 

※ 時間の (秒) 変更で  ボタンで数値変更の際、 ボタンを押し続けて 59 を上回ると、時間の (分) の単位がくり上がりします。
また、 ボタンを押し続けて 0 を下回ると、時間 (分) の単位がくり下がります。

■本洗時間

変更工程	工程表	変更
本洗時間の変更	L2	本洗時間 6分00秒→7分30秒に変更する場合

工程表

表示	内容
L1	予洗
L2	本洗
L3～L5	すすぎ
SP	脱水
dr	乾燥
Co	冷却

工程と工程時間です

料金と残り時間です

温度と機能コードです

機能コード表

表示	内容
F1	ドラム回転
F2	水位
F3	洗い回転
F4	脱水回転
F5	温水
F6	温度
F7	排水
C1～C3	ソープ
So	ソフト剤
Cd	中脱時間

赤ランプ (LED) 表示

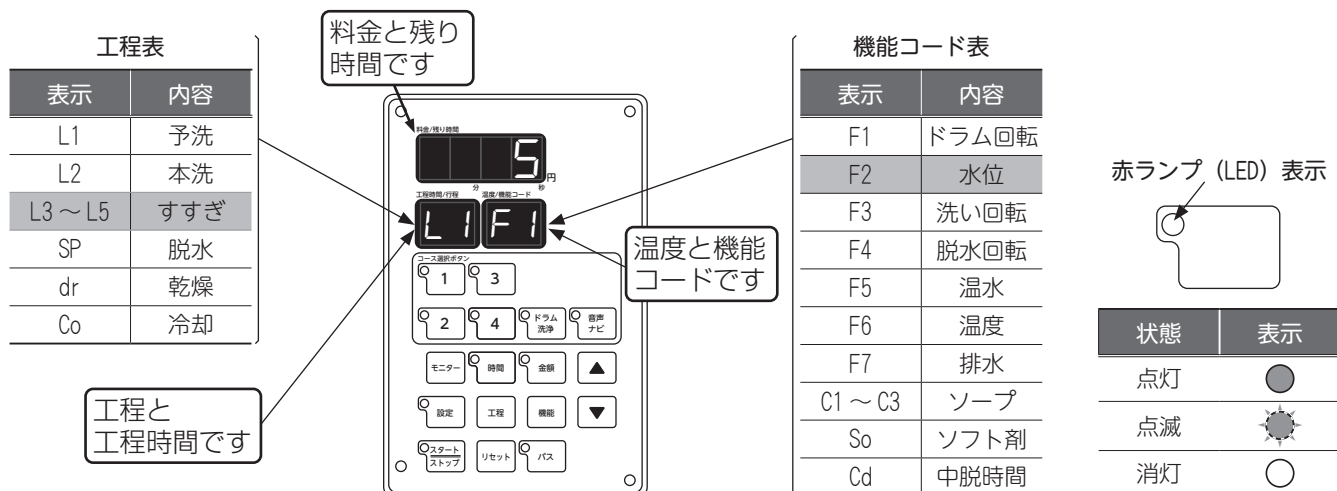
状態	表示
点灯	●
点滅	●
消灯	○

操作方法 (例)	ボタン操作	表示内容
① コース選択ボタンの『1』を押します	赤ランプ点灯します 	1コースの金額を表示します
② 『設定』 ボタンを <u>3秒間</u> 長押しします	赤ランプ点滅します 	全工程の時間を表示します
③ 『工程』 ボタンを押し、工程を『L2』にします ・『工程』 ボタンを押すごとに工程が『L1』～『Co』と切り変わります		変更する工程を選びます
④ 『時間』 ボタンを押します ・分表示が点滅します ・ ボタン、 ボタンで数値変更	赤ランプ点滅します 	(分) 表示が点滅します
⑤ 『時間』 ボタンを押します ・秒表示が点滅します ・ ボタン、 ボタンで数値変更	赤ランプ点滅します 	(秒) 数字の左上に点が出ます
⑥ 『設定』 ボタンを押します ・設定終了です	赤ランプが消灯します 	設定終了です

※ 時間の (秒) 変更で ボタン ボタンで数値変更の際、 ボタンを押し続けて 59 を上回ると、時間の (分) の単位がくり上がります。
また、 ボタンを押し続けて 0 を下回ると、時間 (分) の単位がくり下がります。

■水位の変更

変更工程	工程表	機能コード表	変更
水位の変更	L3	F2	水位 3→2に変更



操作方法 (例)	ボタン操作	表示内容
① コース選択ボタンの『1』を押します	赤ランプ点灯します 	1 コースの金額を表示します
② 『設定』 ボタンを <u>3 秒間</u> 長押しします	赤ランプ点滅します 	全工程の時間を表示します
③ 『工程』 ボタンを押し、工程を『L3』にします ・『工程』 ボタンを押すごとに工程が『L1』～『Co』と切り変わります		変更する工程を選びます
④ 『機能』 ボタンを押し、機能を『F2』にします ・『機能』 ボタンを押すごとに機能が『F1』～『Cd』と切り変わります		変更する機能を選びます
⑤ (水位) の変更をします ・ ボタン、 ボタンで数値変更	 	(秒) 数字の左上に点が出ます
⑥ 『設定』 ボタンを押します ・ 設定終了です	赤ランプが消灯します 	設定終了です

■ソフト剤（No. 2 ポンプ）投入時間の変更

変更工程	工程表	機能コード表	変更
ソフト剤（No. 2 ポンプ）投入時間の変更	L4	So	ソフト剤 5.5秒→7.0秒に変更

工程表

表示	内容
L1	予洗
L2	本洗
L3～L5	すすぎ
SP	脱水
dr	乾燥
Co	冷却

工程と工程時間です

機能コード表

表示	内容
F1	ドラム回転
F2	水位
F3	洗い回転
F4	脱水回転
F5	温水
F6	温度
F7	排水
C1～C3	ソーブ
So	ソフト剤
Cd	中脱時間

温度と機能コードです

赤ランプ（LED）表示

状態	表示
点灯	●
点滅	●
消灯	○

操作方法（例）	ボタン操作	表示内容
① コース選択ボタンの『1』を押します	赤ランプ点灯します 	1コースの金額を表示します
② 『設定』 ボタンを <u>3秒間</u> 長押しします	赤ランプ点滅します 	全工程の時間を表示します
③ 『工程』 ボタンを押し、工程を『L4』にします ・『工程』 ボタンを押すごとに工程が『L1』～『Co』と切り変わります		変更する工程を選びます
④ 『機能』 ボタンを押し、機能を『So』にします ・『機能』 ボタンを押すごとに機能が『F1』～『Cd』と切り変わります		変更する機能を選びます
⑤ (ソフト剤投入時間) の変更をします ・ ボタン、 ボタンで数値変更	 	数値を変更します
⑥ 『設定』 ボタンを押します ・ 設定終了です	赤ランプが消灯します 	設定終了です

■ワンショットプログラムの追加 (No. 1 ポンプのみ使用)

変更工程	工程表	機能コード表	変更
ワンショットプログラムの追加	L4	---	1 コース No. 1 ポンプのみ使用

工程表

表示	内容
L1	予洗
L2	本洗
L3 ~ L5	すすぎ
SP	脱水
dr	乾燥
Co	冷却

工程と
工程時間です

料金と残り
時間です

温度と機能
コードです

機能コード表

表示	内容
F1	ドラム回転
F2	水位
F3	洗い回転
F4	脱水回転
F5	温水
F6	温度
F7	排水
C1 ~ C3	ソープ
So	ソフト剤
Cd	中脱時間

赤ランプ (LED) 表示

状態	表示
点灯	●
点滅	●
消灯	○

操作方法 (例)	ボタン操作	表示内容
① コース選択ボタンの『1』を押します	赤ランプ点灯します 	1 コースの金額を表示します
② 『設定』 ボタンを <u>3 秒間</u> 長押しします	赤ランプ点滅します 	全工程の時間を表示します
③ 『工程』 ボタンを押し、工程を『L4』にします ・『工程』 ボタンを押すごとに工程が『L1』 ~ 『Co』 と切り変わります		変更する工程を選びます
④ 『パス』 ボタンを <u>10 秒間</u> 長押しします ・工程『L4』 がパスされ、ワンショットプログラムを追加します	赤ランプ点滅します 	工程『L4』 をパスします
⑤ 『パス』 ボタンの赤ランプが点灯しているとプログラムした工程を省略します	赤ランプ点灯します 	
⑥ 『設定』 ボタンを押します ・設定終了です	赤ランプ消灯します 	設定終了です

■ 1 コースにすすぎ3工程の追加

■ ソープ2 (No. 3 ポンプ) 投入の追加

変更工程	工程表	機能コード表	変更
すすぎ3工程の追加	L5	---	すすぎ3工程の追加
ソープ2 (No. 3 ポンプ) 投入の追加	L5	C2	ソープ2 0.00 → 2.50 に変更

工程表

表示	内容
L1	予洗
L2	本洗
L3 ~ L5	すすぎ
SP	脱水
dr	乾燥
Co	冷却

工程と工程時間です

機能コード表

表示	内容
F1	ドラム回転
F2	水位
F3	洗い回転
F4	脱水回転
F5	温水
F6	温度
F7	排水
C1 ~ C3	ソープ
So	ソフト剤
Cd	中脱時間

赤ランプ (LED) 表示

状態	表示
点灯	●
点滅	●
消灯	○

操作方法 (例)	ボタン操作	表示内容
① コース選択ボタンの『1』を押します	赤ランプ点灯します 	1 コースの金額を表示します
② 『設定』ボタンを3秒間長押しします	赤ランプ点滅します 	全工程の時間を表示します
③ 『工程』ボタンを押し、工程を『L5』にします ・『工程』ボタンを押すごとに工程が『L1』～『Co』と切り変わります		変更する工程を選びます
④ 『時間』ボタンを押します ・分表示が点滅します (デフォルトは3分00秒です) ・▲ボタン、▼ボタンで数値変更	赤ランプが点滅します 	数字が点滅します
⑤ 『時間』ボタンを押します ・秒表示が点滅します (デフォルトは3分00秒です) ・▲ボタン、▼ボタンで数値変更	赤ランプが点滅します 	(秒) 数字の左上に点が出ます
⑥ 『機能』ボタンを押し、機能を『C2』にします ・『機能』ボタンを押すごとに機能が『F1』～『Cd』と切り変わります		変更する機能を選びます
⑦ (ソープ2投入時間)の変更をします ・▲ボタン、▼ボタンで数値変更		数値を変更します
⑧ ・『パス』ボタンの赤ランプが点灯しているとプログラムした工程を省略します。	赤ランプが点灯します 	
⑨ ・工程を追加するときは、『パス』ボタンを押し、赤ランプを消灯させてください。	赤ランプが消灯します 	
⑩ 『設定』ボタンを押します ・設定終了です	赤ランプが消灯します 	設定終了です

※ 時間の (秒) 変更で ▲ボタン ▼ボタンで数値変更の際、▲ボタンを押し続けて 59 を上回ると、時間の (分) の単位がくり上がり、また、▼ボタンを押し続けて 0 を下回ると、時間 (分) の単位がくり下がります。

■脱水回転の変更

変更工程	工程表	機能コード表	変更
脱水時間の変更	SP	F4	脱水回転 5 → 3に変更

工程表

表示	内容
L1	予洗
L2	本洗
L3～L5	すすぎ
SP	脱水
dr	乾燥
Co	冷却

工程と
工程時間です

料金と残り
時間です

温度と機能
コードです

機能コード表

表示	内容
F1	ドラム回転
F2	水位
F3	洗い回転
F4	脱水回転
F5	温水
F6	温度
F7	排水
C1～C3	ソープ
So	ソフト剤
Cd	中脱時間

赤ランプ (LED) 表示

状態	表示
点灯	●
点滅	●
消灯	○

操作方法 (例)	ボタン操作	表示内容
① コース選択ボタンの『1』を押します	赤ランプ点灯します 	1 コースの金額を表示します
② 『設定』 ボタンを <u>3 秒間</u> 長押しします	赤ランプ点滅します 	全工程の時間を表示します
③ 『工程』 ボタンを押し、工程を『SP』にします ・『工程』 ボタンを押すごとに工程が『L1』～『Co』と切り変わります		変更する工程を選びます
④ 『機能』 ボタンを押し、機能を『F4』にします ・『機能』 ボタンを押すごとに機能が『F1』～『Cd』と切り変わります		変更する機能を選びます
⑤ (回転数) の変更をします ・ ボタン、 ボタンで数値変更	 	数値を変更します
⑥ 『設定』 ボタンを押します ・設定終了です	赤ランプが消灯します 	設定終了です

■乾燥温度の変更

変更工程	工程表	機能コード表	変更
乾燥温度の変更	dr	F6	乾燥 70 → 60 に変更

工程表

表示	内容
L1	予洗
L2	本洗
L3～L5	すすぎ
SP	脱水
dr	乾燥
Co	冷却

工程と工程時間です

機能コード表

表示	内容
F1	ドラム回転
F2	水位
F3	洗い回転
F4	脱水回転
F5	温水
F6	温度
F7	排水
C1～C3	ソープ
So	ソフト剤
Cd	中脱時間

赤ランプ (LED) 表示

状態	表示
点灯	●
点滅	●
消灯	○

操作方法 (例)	ボタン操作	表示内容
① コース選択ボタンの『1』を押します	赤ランプ点灯します 	1 コースの金額を表示します
② 『設定』 ボタンを <u>3 秒間</u> 長押しします	赤ランプ点滅します 	全工程の時間を表示します
③ 『工程』 ボタンを押し、工程を『dr』にします ・『工程』 ボタンを押すごとに工程が『L1』～『Co』と切り変わります		変更する工程を選びます
④ 『機能』 ボタンを押し、機能を『F6』にします ・『機能』 ボタンを押すごとに機能が『F1』～『Cd』と切り変わります		変更する機能を選びます
⑤ (温度) の変更をします ・ ボタン、 ボタンで数値変更	 	数値を変更します
⑥ 『設定』 ボタンを押します ・ 設定終了です	赤ランプが消灯します 	設定終了です

■ 洗い回転の変更

変更工程	工程表	機能コード表	変更
洗い回転の変更	Co	F3	洗い回転 3 → 5 に変更

工程表

表示	内容
L1	予洗
L2	本洗
L3～L5	すすぎ
SP	脱水
dr	乾燥
Co	冷却

工程と工程時間です

料金と残り時間です

温度と機能コードです

機能コード表

表示	内容
F1	ドラム回転
F2	水位
F3	洗い回転
F4	脱水回転
F5	温水
F6	温度
F7	排水
C1～C3	ソープ
So	ソフト剤
Cd	中脱時間

赤ランプ (LED) 表示

状態	表示
点灯	●
点滅	●
消灯	○

操作方法 (例)	ボタン操作	表示内容
① コース選択ボタンの『1』を押します	赤ランプ点灯します 	1 コースの金額を表示します
② 『設定』 ボタンを <u>3 秒間</u> 長押しします	赤ランプ点滅します 	全工程の時間を表示します
③ 『工程』 ボタンを押し、工程を『Co』にします ・『工程』 ボタンを押すごとに工程が『L1』～『Co』と切り変わります		変更する工程を選びます
④ 『機能』 ボタンを押し、機能を『F3』にします ・『機能』 ボタンを押すごとに機能が『F1』～『Cd』と切り変わります		変更する機能を選びます
⑤ (回転数) の変更をします ・ ボタン、 ボタンで数値変更	 	数値を変更します
⑥ 『設定』 ボタンを押します ・ 設定終了です	赤ランプが消灯します 	設定終了です

7

標準プログラム

工場出荷時には、あらかじめ標準プログラムを設定しています。

各プログラムの設定内容を変更するときは、[6.6] プログラム設定方法を参照してください。

7.1 標準プログラム (SF-124C)

■ 1 コース：洗濯乾燥コース

全工程時間 = 60 分 00 秒

	時間	ドラム回転	水位	洗回転	脱回転	温水	温度	排水	ソーフ 1	ソーフ 2	ソーフ 3	ソフ剤	中脱	金額
		F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	C1	C2	C3	So	Cd	Pr
予洗	L1	2分30秒	5	4	4	1	0	50	0	0	0	0	60	900
本洗	L2	6分00秒	5	2	2	1	0	50	0	5.5	0	0	120	
すすぎ1	L3	3分00秒	5	3	3	1	0	50	0	0	0	0	60	
すすぎ2	L4	2分00秒	5	2	2	1	0	50	0	0	0	5.5	60	
すすぎ3	L5	3分00秒	5	2	2	1	0	50	0	0	0	0	60	
脱水	SP	8分00秒	---	---	---	5	---	---	---	---	---	---	---	
乾燥	dr	29分00秒	2	---	3	---	---	70	---	---	---	---	---	
冷却	Co	1分00秒	2	---	3	---	---	---	---	---	---	---	---	

■ 2 コース：洗濯乾燥コース

全工程時間 = 50 分 00 秒

	時間	ドラム回転	水位	洗回転	脱回転	温水	温度	排水	ソーフ 1	ソーフ 2	ソーフ 3	ソフ剤	中脱	金額
		F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	C1	C2	C3	So	Cd	Pr
予洗	L1	2分30秒	5	3	3	1	0	50	0	0	0	0	60	700
本洗	L2	5分30秒	5	2	2	1	0	50	0	5.5	0	0	120	
すすぎ1	L3	2分00秒	5	2	2	1	0	50	0	0	0	0	60	
すすぎ2	L4	1分30秒	5	2	2	1	0	50	0	0	0	5.5	60	
すすぎ3	L5	3分00秒	5	2	2	1	0	50	0	0	0	0	60	
脱水	SP	8分00秒	---	---	---	5	---	---	---	---	---	---	---	
乾燥	dr	21分00秒	2	---	3	---	---	70	---	---	---	---	---	
冷却	Co	1分00秒	2	---	3	---	---	---	---	---	---	---	---	

■ 3 コース：洗濯コース

全工程時間 = 30 分 00 秒

	時間	ドラム回転	水位	洗回転	脱回転	温水	温度	排水	ソーフ 1	ソーフ 2	ソーフ 3	ソフ剤	中脱	金額
		F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	C1	C2	C3	So	Cd	Pr
予洗	L1	2分30秒	5	3	3	1	0	50	0	0	0	0	60	600
本洗	L2	6分00秒	5	3	3	1	0	50	0	7.0	0	0	120	
すすぎ1	L3	3分00秒	5	3	3	1	0	50	0	0	0	0	60	
すすぎ2	L4	2分00秒	5	3	3	1	0	50	0	0	0	7.0	60	
すすぎ3	L5	3分00秒	5	2	2	1	0	50	0	0	0	0	60	
脱水	SP	8分30秒	---	---	---	5	---	---	---	---	---	---	---	
乾燥	dr	29分00秒	2	---	3	---	---	70	---	---	---	---	---	
冷却	Co	1分00秒	2	---	3	---	---	---	---	---	---	---	---	

■ 4 コース：乾燥コース

全工程時間 = 12 分 00 秒

	時間	ドラム回転	水位	洗回転	脱回転	温水	温度	排水	ソーフ 1	ソーフ 2	ソーフ 3	ソフ剤	中脱	金額
		F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	C1	C2	C3	So	Cd	Pr
乾燥	dr	11分00秒	2	---	3	---	---	75	---	---	---	---	---	100
冷却	Co	1分00秒	2	---	3	---	---	---	---	---	---	---	---	

補 足

- ▶ は、パスが設定されている工程
- ▶ ソフトリンクル制御
乾燥工程または冷却工程終了後にソフトリンクル回転をします。ただし乾燥工程がある場合のみ行います。
ドアを開けるとソフトリンクルを終了します。

ソフトリンクル制御		
ソフトリンクル時間	無制御	
ファン	出口温度 50℃ で停止	
ドラム回転	ファン動作中	57 秒停止 ~ 3 秒回転
	ファン停止後	15 分停止 ~ 3 秒回転
右回転から行き交互に回転します		

7.2 標準プログラム (SF-224C)

■ 1 コース：洗濯乾燥コース

全工程時間 = 60分00秒

	時間	ドラム回転	水位	洗回転	脱回転	温水	温度	排水	ソーフ 1	ソーフ 2	ソーフ 3	ソフ剤	中脱	金額
		F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	C1	C2	C3	So	Cd	Pr
予洗	L1	2分30秒	5	4	4	1	0	50	0	0	0	0	60	1,200
本洗	L2	6分00秒	5	2	2	1	0	50	0	7.0	0	0	120	
すすぎ1	L3	3分00秒	5	3	3	1	0	50	0	0	0	0	60	
すすぎ2	L4	2分00秒	5	2	2	1	0	50	0	0	0	7.0	60	
すすぎ3	L5	3分00秒	5	2	2	1	0	50	0	0	0	0	60	
脱水	SP	8分00秒	---	---	---	5	---	---	---	---	---	---	---	
乾燥	dr	29分00秒	2	---	3	---	---	70	---	---	---	---	---	
冷却	Co	1分00秒	2	---	3	---	---	---	---	---	---	---	---	

■ 2 コース：洗濯乾燥コース

全工程時間 = 50分00秒

	時間	ドラム回転	水位	洗回転	脱回転	温水	温度	排水	ソーフ 1	ソーフ 2	ソーフ 3	ソフ剤	中脱	金額
		F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	C1	C2	C3	So	Cd	Pr
予洗	L1	2分30秒	5	3	3	1	0	50	0	0	0	0	60	1,000
本洗	L2	5分30秒	5	2	2	1	0	50	0	7.0	0	0	120	
すすぎ1	L3	2分00秒	5	2	2	1	0	50	0	0	0	0	60	
すすぎ2	L4	1分30秒	5	2	2	1	0	50	0	0	0	7.0	60	
すすぎ3	L5	3分00秒	5	2	2	1	0	50	0	0	0	0	60	
脱水	SP	8分00秒	---	---	---	5	---	---	---	---	---	---	---	
乾燥	dr	21分00秒	2	---	3	---	---	70	---	---	---	---	---	
冷却	Co	1分00秒	2	---	3	---	---	---	---	---	---	---	---	

■ 3 コース：洗濯コース

全工程時間 = 30分00秒

	時間	ドラム回転	水位	洗回転	脱回転	温水	温度	排水	ソーフ 1	ソーフ 2	ソーフ 3	ソフ剤	中脱	金額
		F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	C1	C2	C3	So	Cd	Pr
予洗	L1	2分30秒	5	3	3	1	0	50	0	0	0	0	60	900
本洗	L2	6分00秒	5	3	3	1	0	50	0	8.5	0	0	120	
すすぎ1	L3	3分00秒	5	3	3	1	0	50	0	0	0	0	60	
すすぎ2	L4	2分00秒	5	3	3	1	0	50	0	0	0	8.5	60	
すすぎ3	L5	3分00秒	5	2	2	1	0	50	0	0	0	0	60	
脱水	SP	8分30秒	---	---	---	5	---	---	---	---	---	---	---	
乾燥	dr	29分00秒	2	---	3	---	---	75	---	---	---	---	---	
冷却	Co	1分00秒	2	---	3	---	---	---	---	---	---	---	---	

■ 4 コース：乾燥コース

全工程時間 = 10分00秒

	時間	ドラム回転	水位	洗回転	脱回転	温水	温度	排水	ソーフ 1	ソーフ 2	ソーフ 3	ソフ剤	中脱	金額
		F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	C1	C2	C3	So	Cd	Pr
乾燥	dr	9分00秒	2	---	3	---	---	75	---	---	---	---	---	100
冷却	Co	1分00秒	2	---	3	---	---	---	---	---	---	---	---	

補 足

- ▶ は、パスが設定されている工程
- ▶ ソフトリンクル制御
乾燥工程または冷却工程終了後にソフトリンクル回転をします。ただし乾燥工程がある場合のみ行います。
ドアを開けるとソフトリンクルを終了します。

ソフトリンクル制御		
ソフトリンクル時間	無制御	
ファン	出口温度 50℃で停止	
ドラム回転	ファン動作中	57秒停止～3秒回転
	ファン停止後	15分停止～3秒回転
右回転から行き交互に回転します		

7.3 標準プログラム (SF-324C)

■ 1 コース：洗濯乾燥コース

全工程時間 = 60分00秒

	時間	ドラム回転		水位		洗回転		脱回転		温水	温度	排水	ソフ° 1	ソフ° 2	ソフ° 3	ソフ剤	中脱	金額
		F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	C1	C2	C3	So	Cd	Pr				
予洗	L1	2分30秒	5	4	4	1	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0	60	1,500
本洗	L2	6分00秒	5	2	2	1	0	50	0	9.5	0	0	0	0	0	120		
すすぎ1	L3	3分00秒	5	3	3	1	0	50	0	0	0	0	0	0	0	60		
すすぎ2	L4	2分00秒	5	2	2	1	0	50	0	0	0	0	0	0	9.5	60		
すすぎ3	L5	3分00秒	5	2	2	1	0	50	0	0	0	0	0	0	0	60		
脱水	SP	8分00秒	---	---	---	5	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
乾燥	dr	29分00秒	2	---	3	---	---	70	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
冷却	Co	1分00秒	2	---	3	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	

■ 2 コース：洗濯乾燥コース

全工程時間 = 50分00秒

	時間	ドラム回転		水位		洗回転		脱回転		温水	温度	排水	ソフ° 1	ソフ° 2	ソフ° 3	ソフ剤	中脱	金額
		F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	C1	C2	C3	So	Cd	Pr				
予洗	L1	2分30秒	5	3	3	1	0	50	0	0	0	0	0	0	0	60	1,300	
本洗	L2	5分30秒	5	2	2	1	0	50	0	9.5	0	0	0	0	0	120		
すすぎ1	L3	2分00秒	5	2	2	1	0	50	0	0	0	0	0	0	0	60		
すすぎ2	L4	1分30秒	5	2	2	1	0	50	0	0	0	0	0	0	9.5	60		
すすぎ3	L5	3分00秒	5	2	2	1	0	50	0	0	0	0	0	0	0	60		
脱水	SP	8分00秒	---	---	---	5	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
乾燥	dr	21分00秒	2	---	3	---	---	70	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
冷却	Co	1分00秒	2	---	3	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	

■ 3 コース：洗濯コース

全工程時間 = 30分00秒

	時間	ドラム回転		水位		洗回転		脱回転		温水	温度	排水	ソフ° 1	ソフ° 2	ソフ° 3	ソフ剤	中脱	金額
		F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	C1	C2	C3	So	Cd	Pr				
予洗	L1	2分30秒	5	3	3	1	0	50	0	0	0	0	0	0	0	60	1,200	
本洗	L2	6分00秒	5	2	2	1	0	50	0	9.5	0	0	0	0	0	120		
すすぎ1	L3	3分00秒	5	3	3	1	0	50	0	0	0	0	0	0	0	60		
すすぎ2	L4	2分00秒	5	2	2	1	0	50	0	0	0	0	0	0	9.5	60		
すすぎ3	L5	3分00秒	5	2	2	1	0	50	0	0	0	0	0	0	0	60		
脱水	SP	8分30秒	---	---	---	5	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
乾燥	dr	29分00秒	2	---	3	---	---	75	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
冷却	Co	1分00秒	2	---	3	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	

■ 4 コース：乾燥コース

全工程時間 = 07分00秒

	時間	ドラム回転		水位		洗回転		脱回転		温水	温度	排水	ソフ° 1	ソフ° 2	ソフ° 3	ソフ剤	中脱	金額
		F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	C1	C2	C3	So	Cd	Pr				
乾燥	dr	6分00秒	2	---	3	---	---	70	---	---	---	---	---	---	---	---	---	100
冷却	Co	1分00秒	2	---	3	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	

補 足

- ▶ は、パスが設定されている工程
- ▶ ソフトリンクル制御
乾燥工程または冷却工程終了後にソフトリンクル回転をします。ただし乾燥工程がある場合のみ行ないます。
ドアを開けるとソフトリンクルを終了します。

ソフトリンクル制御		
ソフトリンクル時間	無制御	
ファン	出口温度 50°C で停止	
ドラム回転	ファン動作中	57秒停止～3秒回転
	ファン停止後	15分停止～3秒回転
右回転から行き交互に回転します		

トラブル表示について

8.1 トラブルモニター表示



- オーナーが下記をチェックしてください。
- 「オーナー対処」でも解除しない場合は「販売店またはメーカー」に連絡してください。

8.2 エラーの内容と解除方法

- 運転中「トラブル」が発生した場合、機械が停止して発信音が鳴ります。

表示	エラー名	原因	オーナー対処	販売店 or メーカー
Er 0	停電エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・運転中に停電が発生した ・運転中に、動力電源電圧が170V以下に降下した 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動復帰・・・停電復帰後、停電が発生した所から再スタート ・手動復帰・・・停電復帰後、スタートボタンを押して再スタート、リセットボタンを押すと待機状態へ戻る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレーカーチェック（漏電等） ・元電源測定 AC200V ・電源ケーブルが外れていないか確認
Er 1	水位エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・15分経っても設定水位に到達しない 	<ul style="list-style-type: none"> ・給水用（給湯）のバルブが作動していることを確認 ・給水用配管の水圧・サイズ・水漏れを確認 ・排水弁が閉じていることを確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・給水用電磁弁（給湯用電磁弁）が正常に動作しているか確認 ・水位用圧力センサ異常（ホースのねじれ・外れ等） ・排水弁が正常に動作しているか確認
Er 2	水温エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・95℃以上の水温を5秒以上検知した 	<ul style="list-style-type: none"> ・温水ボイラ等の給湯の温度を確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・給水用電磁弁（給湯用電磁弁）が正常に動作しているか確認 ・温度センサが正常に感知しているか確認
Er 4	排水エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・8分経過しても排水レベル以下に到達しない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドラム内に水・泡が残っているかを確認 ・排水弁の動作を確認（ゴミ詰りなど） ・ソープ投入時間の見直し（泡ギレ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・排水弁の動作確認（動作、ゴミ詰り） ・ソープ投入時間の見直し（泡ギレ） ・給水弁確認 ・排水溝点検 ・排水回路確認 ・水位計確認
Er 5	ドアオープン	<ul style="list-style-type: none"> ・運転中にドアが開いた 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドアをしっかり閉めて再度スタートボタンを押す 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドアロックの確認 ・ドアボタン点検、交換 ・ドアパッキンのあたり調整
Er 6	アンバランスセンサ	<ul style="list-style-type: none"> ・アンバランスセンサによる脱水のリトライでX回数を行っても検知した 	<ul style="list-style-type: none"> ・洗濯物の片寄りを修正（修正後再スタートする） ・洗濯してはいけない物が入っていないか、ドラムの中を確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンバランススイッチの確認
Er 7	ファン INV エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンモータに過負荷がかり、インバータで INV エラーを検知した 	<ul style="list-style-type: none"> ・リヤEカバーを開け、ファンインバータ表示を確認 ・本機の元電源スイッチ（NFB）を入れなおす 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンモータのゴミ詰り確認 ・ファンモータ点検 ・インバータへの点検、交換 ・インバータの故障

8. トラブル表示について

表示	エラー名	原因	オーナー対処	販売店 or メーカー
E r 8	ドラム INV エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・ドラムモータに過負荷がかかり、インバータで INV エラーを検知した 	<ul style="list-style-type: none"> ・リヤEカバーを開け、ドラム用インバータの表示を確認 ・本機の元電源スイッチを入れなおす 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドラム点検、インバータ配線 ・インバータ点検（モータ含む） ・インバータの故障
E r 9	風量エラー ^(※1)	<ul style="list-style-type: none"> ・運転中に風量が低下して15秒以上連続で風量センサがOFF状態を検知した ・ファン INV の周波数を70Hzにしても風量センサが5秒以上OFF状態を検知した^(※2) ・ファン INV の周波数を70Hzにしても入口温度が135℃を超えた 	<ul style="list-style-type: none"> ・リントフィルタの掃除 ・ファンが回転しているか確認 ・排気筒が詰っていないか確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンインバータの調整 ・ファンモータの故障 ・排気筒点検、掃除
E r 10	出口温度エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・出口温度が20秒以上設定温度+15℃を検知した ・出口温度が85℃以上検知した ・出口温度センサが故障した 	<ul style="list-style-type: none"> ・入口温度の設定温度の確認（高すぎないか？） ・出口温度の設定温度の確認（低すぎないか？） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガスバーナ電磁弁、配線 ・設定温度の確認 ・センサの確認
E r 11	不着火エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・乾燥工程中に着火動作を4回リトライしても着火せず不着火信号を検知した ・乾燥行程中以外で、不着火信号を検知した 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス残量の確認 ・ガス元栓の開閉確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・バーナーケースの点検（電磁弁等） ・風量確認（インバータ） ・マイコンの信号確認
E r 12	過熱エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・運転中に1秒以上過熱センサが作動した ・過熱センサが断線または故障している 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンが回転しているか確認 ・リントフィルタの掃除 ・排気筒が詰っていないか確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・バーナの点検 ・風量確認 ・マイコンの信号確認 ・リントフィルタの掃除
E r 13	水位センサオープン	<ul style="list-style-type: none"> ・水位センサが断線している ・水位センサのコネクタおよび線が外れている 	<ul style="list-style-type: none"> ・水位センサのコネクタおよび線を確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・水位センサの点検、交換
E r 14	水位センサショート	<ul style="list-style-type: none"> ・水位センサが接触不良または故障している 	<ul style="list-style-type: none"> ・水位センサがショートしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・水位センサの点検、交換
E r 15	水温計オープン	<ul style="list-style-type: none"> ・水温計センサが断線している ・水温計センサのコネクタおよび線が外れている 	<ul style="list-style-type: none"> ・水温計のコネクタおよび線を確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・水温計の点検、交換
E r 16	水温計ショート	<ul style="list-style-type: none"> ・水温計センサが接触不良または故障している 	<ul style="list-style-type: none"> ・水温計がショートしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・水温計の点検、交換
E r 17	入口温度計オープン	<ul style="list-style-type: none"> ・入口温度計センサが断線している ・入口温度計センサのコネクタおよび線が外れている 	<ul style="list-style-type: none"> ・入口温度計のコネクタおよび線を確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・入口温度計の点検、交換
E r 18	入口温度計ショート	<ul style="list-style-type: none"> ・入口温度計センサが接触不良または故障している 	<ul style="list-style-type: none"> ・入口温度計がショートしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・入口温度計の点検、交換
E r 19	出口温度計オープン	<ul style="list-style-type: none"> ・出口温度計センサが断線している ・出口温度計センサのコネクタおよび線が外れている 	<ul style="list-style-type: none"> ・出口温度計のコネクタおよび線を確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・出口温度計の点検、交換
E r 20	出口温度計ショート	<ul style="list-style-type: none"> ・出口温度計センサが接触不良または故障している 	<ul style="list-style-type: none"> ・出口温度計がショートしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・出口温度計の点検、交換
E r 21	ファン動作中水位エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・ファン運転中、停止中に排水水位3以上を検知した ・水位が以上に高く（12度）なった ・停止中に水位が上がってきた 	<ul style="list-style-type: none"> ・給水弁／リレーの確認 ・給湯弁／リレーの確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・給水弁の点検、交換 ・給湯弁の点検、交換

表示	エラー名	原因	オーナー対処	販売店 or メーカー
Er 22	ドアセンサエラー	・運転中にドアが開いた ・停止中にドアセンサ不良が発生した	・ドアハンドルの開閉の確認	・ドアハンドルの動作確認 ・ドアロックの確認、交換修理
Er 34	アンバランスセンサ異常	・待機中にアンバランスセンサが30秒間働いた	・センサ感知棒の位置確認 ・センサの配線（コネクタ）確認	・アンバランスセンサの点検、交換
door	ドアオープン	・運転停止中にドアが開いた	・ドア開閉の確認	・ドアロックの確認、交換修理
FC	風量センサエラー	・動作完全停止中に風量センサを15秒以上検知した ・風量センサの調整不良	・風量センサの状態を確認 ・風量センサの清掃	・リミットスイッチの点検、交換
CE	コインセレクトアエラー	・コインセレクトまたはプリペイドカードリーダーの異常	・元電源を入れ直す（OFF / ON） ・販売店にお問い合わせ	・コインセレクトの掃除、点検 ・コインセレクトの交換修理
F-oP	リントボックスオープン	・点灯：停止中開いた ・点滅：運転中開いた（閉めると再スタート）	・扉の閉忘れ確認	・センサ / 配線（コネクタ）確認、交換
CLr	CPU基板設定保存用電池異常（RAM破損）	・CPU基板の電池切れ、または電池の電圧不足（設定保存用）および設定（RAM）の破損	・リセットスイッチを押す	・CPU基板の電池（設定保存用）を交換し、リセットスイッチを押す（※3）
nCLr	①ソフトバージョンアップ異常 ②CPU基板設定保存用電池異常	①ソフトバージョンアップ後、RAMクリアせず電源を投入した時 ②CPU基板の電池切れ、または電池の電圧不足（設定保存用）	①リセットスイッチを押す ②リセットスイッチを押す	—— ・CPU基板の電池（設定保存用）を交換し、リセットスイッチを押す（※4）
Er 53	機種選択ミスエラー	・機種選択が設定されていない番号を選択した	・機種選択が設定されていない番号を選択してしまった（番号確認）	——
F-ng	データバックアップ失敗	・設定（F-ROM）の書き込み、読み込みに失敗した時	・リセットスイッチを押す（※5）	——
Er（※6） （その他エラー）	CPUエラー	・CPUの損傷、ノイズによるCPU処理の誤作動	——	・マイコンの信号確認 ・マイコン基板の交換

※1：風量エラーに関しては、風量不足を検知してもコース終了時のエラーとなります。

※2：風量エラーの発生条件については、ファン多段速制御が設定されていない場合は適用されません。

※3：工場出荷時の設定に戻ります。再度プログラム、日時、デイリー回数、トータル回数の設定を行ってください。

※4：日時のずれが発生してしまうため、再度日時の設定を行ってください。

※5：トラブルモニター解除後、再度設定の書き込み、読み込みを行ってください。

※6：上記表に記載のないエラーコードを表示した場合は、CPUエラーとなります。



注意

- 処置を行っても「エラー」が解除にならない場合はお買い上げの販売店までお問い合わせください。



原因究明

8.3 停電時の処置

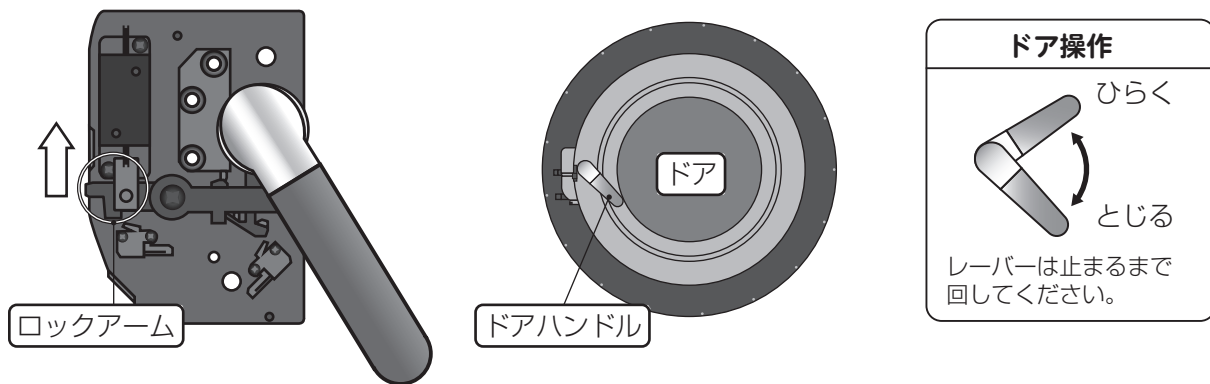
- ・ 運転中に停電になった場合、運転が停止し排水弁は動作しません。また、ドアはロックされたまま開きません。
- ・ 洗濯物を取り出すときは、ドラムが回転していない状態で、水位がドアの最下部より低いとき（ドアを開けても水または湯が本体より溢れ出ない状態）のみ、ドアを開けてください。

① ドアを開けても水または湯が本体より溢れ出ないことを確認してください。

② ロックアームを上へ持ち上げて、ドアロックを解除し、ハンドルを回してドアを開けてください。

※ 停電後、本体に通電されると、運転を続きから行います。

※ 運転を途中で中止するときは、ストップボタンで運転を一時停止し、リセットボタンを押してください。



- ドラムが完全に止まるまでは、ドアロックを解除しないでください。
 - ▶ ドラムの回転中にドラムの中に手を入れると、衣類が手などに巻き付いて、ケガをするおそれがあります。



- 停止中でもドラム内に水（湯）がたまっているときは、ドアを開けないでください。

▶ ドラム内の水が高温になっていることがありますので、やけどをするおそれがあります。

▶ 電気部品の冠水は、漏電や感電、ショートによる火災の原因になります。



点検・整備



注意

- 日常点検は毎日の始業前に点検してください。
日常点検また、ガス漏れ、異常振動音などの異常を確認してください。
放置すると火災、爆発、ガス中毒の危険性があります。



点検実施

- 点検や整備は元電源を切ってから行ってください。
感電や、やけど、けがのおそれがあります。



電源を切る

●いつも安心してご使用いただくため、つぎの点検を行ってください。

9.1 日常点検



警告

- 乾燥工程運転中はリントボックスの開閉はお止めください。
エラーの発生または機械が故障するおそれがあります。
- リントフィルタの清掃は温度が十分下がってから行ってください。
乾燥運転後はリントフィルタの温度が高くなっています。
温度が高いまま掃除を行うと、やけどをするおそれがあります。



禁止

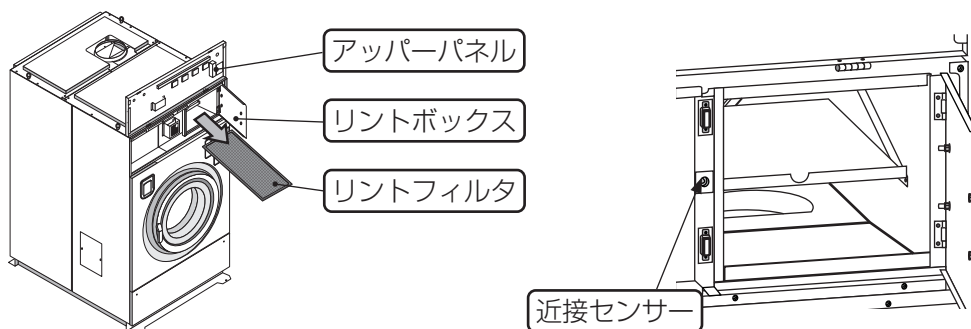
(1) 機械本体の点検

- 機械本体の各パネル、操作パネル、ドアなどを乾いた柔らかい布で清掃してください。
汚れが落ちにくいときは、中性洗剤を布に浸してから清掃してください。

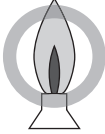


※ ベンジン、シンナー、アルコールなどを使用すると機械の損傷のおそれがあります。

(2) リントフィルタの点検

- リントボックスの扉を開き、リントフィルタを取り外してください。
リントボックスの扉部に近接センサがあります。運転中に扉を開けるとドラムが停止し閉めると運転開始します。
- リントフィルタを手前に引き、フィルタに付着している綿ぼこり等を清掃してください。
- リントフィルタのセットは、枠内へ確実に装着してください。
- リントボックスの扉を確実に閉めてください。(操作パネル表示部F-oPが消えたことを必ず確認してください)



- (3) ドラム内の点検
 - ドラム内に釘や硬貨など異物がないか確認
- (4) ドアパッキンの点検
 - ドア内側のパッキンにほこりが付着していないか確認
 - ドアパッキンの外れがないか確認
- (5) 水漏れの点検
 - ドア、または各ホース類から水漏れがないか確認
- (6) ガス漏れの点検
 - ガス配管の接続部の緩みの確認
- (7) 異常音、異常振動の点検
 - 異常音、異常振動がないか確認
- (8) ガスバーナの燃焼状態点検
 - バーナの炎が浮き上がったたり、長く赤色がかった炎になっていないか確認してください。

完全燃焼	空気不足	空気過多
外炎と内炎の区別がはっきりして、炎の色は淡青色と淡黄色です。	炎が長く赤色がかかり、内炎と外炎の区別が見分けにくい。	炎が安定して燃えず、消火の際音をたてる。
		

● 燃焼の異常と処置方法

ガスバーナの炎が正常に燃焼していない場合、下表に従って処置してください。

現象	原因	処置
イエローチップ (黄炎) 内炎の先端が赤黄色になり、ススが発生する	<ul style="list-style-type: none"> ・一次空気の不足による不完全燃焼 ・炎孔内部に異物付着 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門の業者に依頼して一次空気量を調整する ・異物除去
リフティング 炎が炎孔から離れて飛ばすように燃える。	<ul style="list-style-type: none"> ・二次空気の供給不足 ・二次空気の供給過多 ・燃焼排気の排出が不完全 ・ガス供給過多 ・炎孔先端の温度が低い 	<ul style="list-style-type: none"> ・フィルタ、排気筒など詰まりはないか確認する ・燃焼排気通路の点検 (フィルタ排気筒 等) ・専門の業者に依頼して供給ガス圧力を調整する ・燃焼中 炎孔が暖まること直る場合あり (冬場に多い現象)
フラッシュバック (逆火) 異常燃焼音と共に炎が、ノズルの部分で燃える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ガスが十分に出ていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガスコックは全開かどうか点検する ・専門の業者に依頼してガスコックなどに異物が詰っていないか点検する ・専門の業者に依頼して供給ガス圧が低すぎないか点検する ・プロパンの場合、専門の業者に依頼して残ガス量を点検する
火移り	<ul style="list-style-type: none"> ・ガスが十分に出ていない ・一次空気過多 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノズルのすすなどが、詰まっていないか点検する ・専門の業者に依頼して一次空気量を調整する
消火	<ul style="list-style-type: none"> ・ガスが十分に出ていない ・ガスが供給されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門の業者に依頼して電磁弁を点検する ・専門の業者に依頼してボンベ、メータを点検する
燃焼中の異常音 ・ノズルからの噴出音 ・点火音・消火音・吸気と混合による音	<ul style="list-style-type: none"> ・ガスの設定圧力が高い ・ガスの供給過多 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門の業者に依頼してガスボンベに付属のガバナが正常か点検する (LP ガスの場合) ・専門の業者に依頼して供給圧力を調整する ・LPG : 2.74 (kPa) (280 (mmHg)) ・12A/13A : 1.96 (kPa) (200 (mmHg))



注意

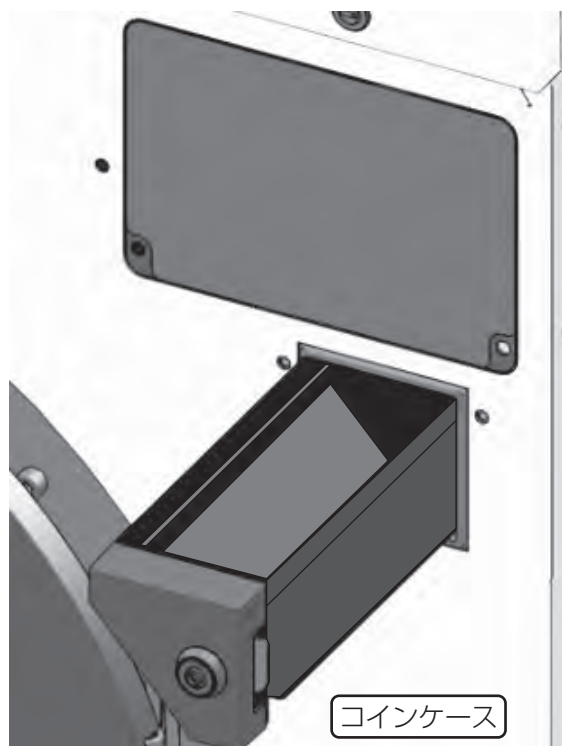
- 処置を行っても炎が正常にならない場合は、お買上げの販売店までお問い合わせください。火災、爆発、ガス中毒の危険性があります。



販売店に連絡

(9) コイン回収

- 前面のコインケースは専用の鍵で開きます。
- コインケースを手前に引き出し、コインケース内のコインを回収してください。



9.2 定期点検

(1) 洗剤、柔軟剤の点検

- 洗剤および柔軟剤が空になっていないか確認

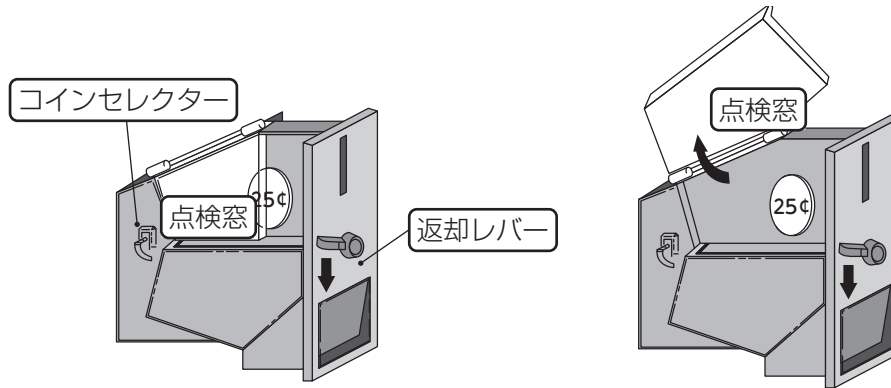
(2) 操作ボタンの点検

- 操作ボタン割れ等の破損がないか確認

(3) コインセレクタの動作／点検

- 正常に動作しているか確認
- フロントパネルセンタの固定ボルト3カ所を取り外し、コインセレクタ全体を手前に引き出します。
- 下図に示す様に、コインセレクタ前面の返却レバーを下げて左側の点検窓を確認してください。

※ コインセレクタに硬貨づまりを起こした場合は、点検窓を手で持ち上げ、詰まっている硬貨を取り除いてください。



(4) カードリーダーの動作／点検（オプション）

- 正常に動作しているか確認
- クリーナー（別売）にてカードリーダーを清掃

(5) フリッカーランプの点検（オプション）

- 集中精算機で機械を選択し、フリッカーランプが動作するか確認

(6) ノンリセットカウンタの点検（オプション）

- コインセレクタに 100 円および 500 円硬貨を入れ、カウントされるか確認

(7) 設置状態の点検

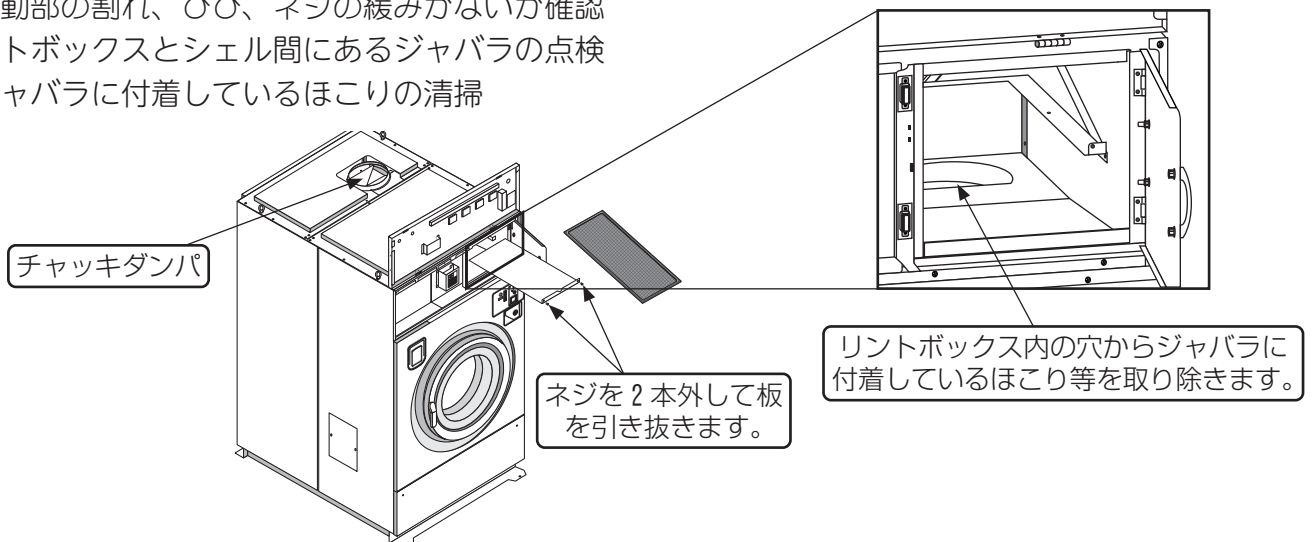
- 本体にガタつきがないか確認
- 本体内部から異常音がないか確認
- アンカーボルトの緩みがないか確認

(8) パネルストッパの点検

- 可動部の割れ、ひび、ネジの緩みがないか確認

(9) リントボックスとシェル間にあるジャバラの点検

- ジャバラに付着しているほこりの清掃



(10) アンバランスSWの点検

- アンバランス SW の感知棒が正常に動作するか、破損していないか確認
- プレート (B) アンバランス SW の中央位置に感知棒があるか確認

※ アンバランス SW 調整の詳細は、P14 ⑤アンバランス検出スイッチの調整を参照してください。

(11) コインセレクタの清掃

- コインセレクタを分解し、清掃

(12) サーミスタなどのセンサ部の点検

- センサにほこりがついていないか確認

(13) アブソーバの点検

- オイル、ガス漏れがないか確認

(14) チャッキダンパの点検

- ほこりの付着がないか確認
- 正常に動作しているか確認

(15) 排気筒の点検

- 接続部の緩み、外れおよび排気筒トップの破損の確認
- 排気筒内部、周辺および排気筒トップのほこりの確認

(16) ファン／ファンケースの点検

- ファンモータから異音がないか確認
- ファン／ファンケース内清掃

(17) 風量センサの点検

- 正常に動作するか確認
- ほこりの付着がないか確認

(18) ガスバーナの点検

- バーナおよび加熱室周辺のほこりの清掃

(19) オイルシール部の給油

- オートグリスの交換

※ オートグリスの取り付け詳細は、P31[2.9] オートグリス取付方法を参照してください。

(20) ベアリング部の給油

- 1年に1度メインシャフトのベアリングにグリスを注入してください。

指定グリスは下記の通りです。

昭和シェル石油	出光石油	J X 日鉱	コスモ石油	エクソン
アルバニア EP-2	ダフニー エボネックス EP No.2	日石エネルギー J OMO リゾニック EP-2	ルブリカンツ ダイナマックス EP No.2	モービル モービラックス EP-2

※ 工場出荷の際は昭和シェル石油「アルバニア EP-2」が入っています。

①注油量について

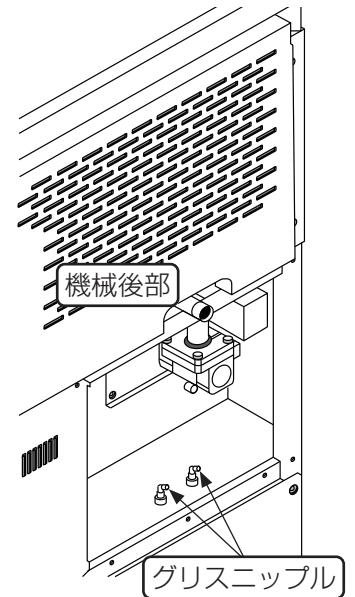
機種名	フロントベアリング側 注油量 (g)	リアベアリング側 注油量 (g)
SF-124C	5	5
SF-224C	35	20
SF-324C	45	45

②注入方法

本機のグリス注入口は、機械後部に2ヵ所あります。

- ドラムを回転（機械を運転中）させグリスニップルへポンプのノズルを差し込み、グリスを注入してください。（フロント／リアベアリングの2ヵ所あります）

- ※ 指定グリスを注入してください。
- ※ グリス注入回数は、使用するグリスポンプによって異なります。
- ※ グリスポンプは付属されません。



●グリスポンプ小（KH-120）注入回数



※ 1ストローク 0.55g 注入

機種名	フロントベアリング側 注入回数	リアベアリング側 注入回数
SF-124C	8～11	8～11
SF-224C	60～65	33～38
SF-324C	78～82	78～82

●グリスポンプ大（CH-400）注入回数



※ 1ストローク 0.9g 注入

機種名	フロントベアリング側 注入回数	リアベアリング側 注入回数
SF-124C	4～6	4～6
SF-224C	35～40	20～25
SF-324C	48～52	48～52

(21) 駆動部の点検

- Vベルトの摩耗、損傷の確認

(22) 排水口の点検

- 排水弁動作確認
- 排水配管のつまりがないか確認
- ドラム下部のエアトラップ部の確認

(23) 給気口の点検

- 給気口にほこり等でつまりがないか確認

■保守・点検項目（日常点検）

No.	点検項目	点検内容	期間
1	機械本体	・機械本体の汚れの清掃	1日/1回
2	リントフィルタ	・フィルタに付着している綿ぼこり等を清掃	1日/1回
3	ドラム内	・ドラム内に釘や硬貨など異物がないことを確認	1日/1回
4	ドアパッキン	・ドア内側のパッキンにほこりが付着していないか確認 ・ドアパッキンの外れがないか確認	1日/1回
5	水漏れ	・ドア、または各ホース類から水漏れがないか確認	1日/1回
6	ガス漏れ	・ガス配管の接続部の緩みの確認	1日/1回
7	異常音、異常振動	・異常音、異常振動がないか確認	1日/1回
8	ガスバーナの燃焼状態	・完全燃焼をしているか、炎の状態を確認	1日/1回
9	コイン回収	・コインケースを開け、コインの回収を実施	1日/1回

■保守・点検項目（定期点検）

No.	点検項目	点検内容	期間
1	洗剤、柔軟剤	・洗剤および柔軟剤の有無を確認 ・投入の有無を確認	1週間/1回
2	操作ボタン	・ボタン割れ等の破損がないか確認	1週間/1回
3	コインセレクトタ操作	・正常に動作しているか確認 ・コインセレクトタ内にコインが詰っていないか確認	1週間/1回
4	カードリーダー（オプション）	・正常に動作しているか確認 ・クリーナー（別売）にて清掃	1週間/1回
5	フリッカーランプ（オプション）	・集中精算機で機械を選択し、フリッカーランプが動作するか確認	1週間/1回
6	ノンリセットカウンタ（オプション）	・コインセレクトタに100円および500円硬貨を入れ、カウントされるか確認	1週間/1回
7	設置状態	・本体にガタつきがないか確認 ・本体内部から異常音がないか確認 ・アンカーボルトの緩みがないか確認	1年/1回
8	パネルストップ	・可動部の割れ、ひび、ネジの緩みがないか確認	1年/1回
9	リントボックスとシェル間にあるジャバラ	・ジャバラに付着しているほこり等の清掃	1年/1回
10	アンバランスSW	・アンバランスSWの感知棒が正常に動作するか、破損していないか確認 ・プレート（B）アンバランスSWの中央位置に感知棒があるか確認	1年/1回
11	コインセレクトタの清掃	・コインセレクトタを分解し、清掃	1年/1回
12	サーミスタなどのセンサ部	・センサにほこりがついていないか確認	1年/1回
13	アブソーバ	・オイル、ガス漏れがないか確認	1年/1回
14	チャッキダンパ	・ほこりの付着がないか確認 ・正常に作動しているか確認	1年/1回
15	排気筒	・接続部の緩み、外れおよび排気筒トップの破損の確認 ・排気筒内部、周辺および排気筒トップのほこりの確認	1年/1回
16	ファン/ファンケース	・ファンモータから異音がないか確認 ・ファン/ファンケース内清掃	1年/1回
17	風量センサ	・正常に動作するか確認 ・ほこりの付着がないか確認	1年/1回
18	ガスバーナ	・バーナおよび加熱室周辺のほこりの清掃	1年/1回
19	オイルシール部の給油	・オートグリスの交換	1年/1回
20	ベアリング部の給油	・メインシャフトのベアリングにグリスを注入する	1年/1回
21	駆動部	・ベルトの摩耗、損傷の確認 ・モータ周辺にほこりがないか確認	1年/1回
22	排水口	・排水弁動作確認 ・排水配管のつまりがないか確認 ・ドラム下部のエアトラップ部の確認	1年/1回
23	給気口	・給気口にほこり等でつまりがないか確認	1年/1回

10

保証とアフターサービス

- ご不明な点や修理に関するご相談
 - ・修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点はお買い上げの販売店にご相談ください。
- 保証書（別添）
 - ・保証書は別途添付しております。必要事項を記入の上、弊社まで返送ください。
 - ・保証書は必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取って頂き内容を良くお読みになった後、大切に保管してください。
 - ・本機の保証期間はお買い上げ頂いた日から1年です。
その他、詳しくは保証書をご覧ください。
- 補修用性能部品の保有期間
 - ・本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後「13年」です。
 - ・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理を依頼されるときは
 - ・異常があるときは、お使いになるのをやめ、電源を切りましてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中

- ・保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎている場合

- ・保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

《免責事項について》

- ・地震、雷、火災、第三者の行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な障害（事業利益の中断による損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・海外で使用した場合当社は一切の責任を負いません。

《労働安全衛生法・火災予防条例について》

- ・本機は労働安全衛生法の「遠心機械」および「乾燥設備」に該当します。
「1年に1回の自主定期検査」が必要です。
- ・また、その記録を3年間保管するよう義務付けられております。
（労働安全衛生法 第45条1項、労働安全衛生規則 第141条3項、第299条）
- ・本機は『火災予防条例準則第44条、第6号』に該当します。
所管の消防署に届出をしてください。

10 《お願い》

- ・機械を安全に操作し良好な状態に保つため、適切に使用し、適時清掃・点検を行ってください。
つきましては、サービスマンの定期保守点検サービス（有償）をご利用くださるようお勧めします。

アフターサービスについて

- ご使用中に異常が生じたときは、使用をやめ電源プラグを抜いてお買い上げの販売店または当社サービス店までご相談ください。
なお、その際に洗濯乾燥機の型式名、製造No.およびお買い上げ時期をお知らせください。

販売店様名：

TEL：() -

購入年月日： 年 月 日

本取扱説明書において掲載されているすべての内容の著作権は、株式会社 TOSEI（以下当社といいます）に帰属しています。

著作権法および関連法律、条約により、私的使用など明示的に認められる範囲を超えて、本取扱説明書の掲載内容（文章、画像、映像、プログラムなど）の一部およびすべてについて、事前の許諾なく無断で複製、転載、送信、放送、配布、貸与、翻訳、変造することは、著作権侵害となり、法的に罰せられることがあります。

このため、当社の許可無く、掲載内容の一部およびすべてを複製、転載、または配布、印刷など、第三者の利用に供することを禁止します。

株式会社 TOSEI

本社・工場	〒 410-2325 静岡県伊豆の国市中島 244	(0120)557-338
東京支社	〒 141-0022 東京都品川区東五反田 1-24-2	(03)6422-7290(代)
中部支店	〒 465-0032 愛知県名古屋市名東区藤が丘 141	(052)772-3988(代)
関西支店	〒 564-0051 大阪府吹田市豊津町 30-28	(06)6338-9601(代)
九州支店	〒 812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東 2-8-3	(092)482-6613(代)
東北営業所・広島営業所・鹿児島営業所		

●ホームページのアドレス <https://www.tosei-corporation.co.jp/>